

令和5年度 社会福祉法人なでしこ会 事業報告書

《 基本理念 》

明るく誰もが温もりを感じ、夢のある生活の実現

社会福祉法人なでしこ会は、地域住民の自主的な福祉活動、保健活動等のための場を提供し、誰もが日常的に相互に支えあい、住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられる地域社会の実現に寄与して参りました。

《 経営基本方針 》

3 S (スリーエス)

SMILE (スマイル)	笑顔にあふれたアットホームなサービスを提供します。
SPACE (スペース)	快適な環境作りに努めます。
SERVICE (サービス)	利用者の立場になって生活を支援します。

《 経営施設・実施事業 》

・法人本部

横浜市市営住宅等生活援助員派遣事業

・特別養護老人ホーム夢の里(介護保険指定事業所番号 1470600121)

介護老人福祉施設

短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

横浜市高齢者食事サービス事業

・横浜市岩崎地域ケアプラザ(介護保険指定事業所番号 1470600063・1490600019)

通所介護事業・介護予防通所介護

居宅介護支援事業

介護予防支援事業

地域包括支援事業

地域活動・交流事業

生活支援体制整備事業

・横浜市常盤台地域ケアプラザ(介護保険指定事業所番号 1470601400・1490600085・1490600093)

通所介護事業・介護予防通所介護

認知症対応型通所介護

居宅介護支援事業

介護予防支援

地域包括支援事業

地域活動・交流事業

生活支援体制整備事業

- ・横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザ（介護保険事業指定事業所番号 1470602812・1400600076）
 - 居宅介護支援事業
 - 介護予防支援
 - 地域包括支援事業
 - 地域活動・交流事業
 - 生活支援体制整備事業

以上の基本理念、経営基本方針をもって、下記のことを推進していきます。

記

事業項目

1) 利用者へのサービス提供

自立と主体性を尊重し、利用者本位のサービスを目指しました。

集団生活という生活環境の中で、利用者一人ひとりの生活づくりに努めました。

役職員をはじめ、家族、親近者等が協同のパートナーとして利用者の援助に取り組みました。

利用者の心身両面の維持向上のため、必要な援助を絶えず追及していきました。

安全に継続的にサービス提供がなされるよう万が一に備え、日常的な防災予防を図るとともに、定期的な訓練等の実施により、防災対策に万全を期して参りました。

社会福祉施設の一つの重要な役割として、人材育成の観点から実習生や中学校の総合学習の一環としての介護体験、高校におけるインターシップ等の受け入れを実施して参りました。また見学者やボランティアにつきましても、引き続き積極的に受け入れて参りました。

2) 地域福祉の推進

子供から高齢者まで、地域福祉の多様なニーズに応えられるよう総合福祉施設の機能を充実させ、子育て支援や在宅高齢者福祉の推進及び福祉教育等、地域福祉の拠点としての役割に努めました。

隣接法人である学校法人聖ヶ丘学園には、付属育和幼稚園及びひかりの風保育園が開園されております。新型コロナウイルス感染予防により園児や学生との日常的な交流はありませんが、今後も法人が経営、運営する施設及び事業を積極的に活用して頂けるようにしてまいります。

施設、各種学校、地元自治会、民生委員、児童委員協議会、地区社会福祉協議会、老人クラブ及び各種学校等との交流を深めることに努めました。

災害非常時には災害弱者などに対する地域の緊急避難場所としての役割を果たせるよう、体制及び非常災害用備蓄を整えて参りました。

3) 法令・規程規則等の遵守

役職員は社会福祉法人として求められている「社会的責任」「社会貢献」を自覚し、専門職として職務倫理を身につけ、法律及び関係法令等並びに法人定款、規程を理解しつつ遵守し、社会規範を尊重して日常の業務を適正に遂行して参りました。

中長期計画

施設系サービスや在宅系サービスが各施設の近くに多く設立されている現状において、法人経営を安定的また継続的に行うため、体制の整備及び制度設計を中期計画（平成26年4月からの5年間）に位置づけ、実施いたしました。令和元年度から5年間の中期計画についても、ビジョン・内容等を大きく変えることなく、前中期計画で実現できなかったことを重点に実施して参りました。

長期計画（平成26年4月からの10年間・財務状況の安定化及び施設の修繕計画長期計画）についても、中間期として修繕・設備入替計画の見直し等を行い、残りの5年間の目標と計画を設定いたしました。

中長期計画を策定するうえでの考え方

法人理念に基づき、

【誰もが】 ご利用者・地域・職員のすべて

【明るく・温もりを感じて生活できる】 にはどうするのか

項目	ビジョン	中期計画	長期計画
ご利用者様 地 域	サービスの充実と サービス水準の向上	満足感のあるサービスを提供 家族・地域住民の方が気楽に来所できる施設として、その地域のニーズに基づいた特色をつくる。 利用者に合った施設・設備の提供 職員スキルの向上	
職 員	職員満足度の向上 ↓ サービス水準の向上	働き甲斐のある環境整備 ・安定した経営、組織、運営 ・多様な働き方への対応 ・現有施設のリフォーム ・安定した職員の確保 組織 ・組織体制と役割分担の明確化 ・定期的な人事異動の実施 ・情報の開示 ・法令、規則遵守の推進 個人情報保護の意識向上の取組 資質向上の機会の確保 ・研修計画の策定 研修体制の整備、実施 ・法人、施設内外の研修参加の推奨 ・人事考課制度の実施 制度設計	
事 業	新規事業の展開	保土ヶ谷駅東口に開設予定の地域ケア プラザへの対応	
資金計画	事業収入目標 6億円 最終収支差額目標 収入の3%以上	余剰金を本部へ集約、資金の一元管理・確保し、余剰資金の効果的な利用を図る。（社会福祉充実残高への対応） 介護報酬改定されても事業収入6億円を確保するような事業の運営・展開及び・拡大を行う。 年間1,000万円を現有施設のリフォームへ	

夢の里修繕計画実施状況

1) 設備更新

	設置年月	概算見積額	期間	備 考
ボイラー	開所時	8,880,000 円	中	
エレベーター	"	25,000,000 円	長	
自動ドア	"	850,000 円	長	
ナースコール	"	5,600,000 円	長	
冷暖房設備(旧)	"	11,000,000 円	中	H29～30 年度 実施済
クーリングタワー撤去	"	3,850,000 円	長	
業務用洗濯脱水機	平成7年9月	2,200,000 円	長	R03 年度 実施済
業務用乾燥機	平成6年7月	2,200,000 円	長	R02 年度 実施済
機械浴槽	開所時	8,800,000 円	短	H28 年度 実施済
自家発電機(非常用)	"	7,480,000 円	長	
合 計		75,860,000 円		

2) リフォーム

	設置年月	概算見積額	期間	備 考
2Fリフォーム	開所時	30,855,000 円	中	
内) クロス張替		6,435,000 円		
内) Pタイル張替		3,300,000 円		
内) 天井張替		2,970,000 円		
内) ベッド入替		18,150,000 円		
LED改修工事	開所時	8,000,000 円	短	令和元年度 実施済
合 計		38,855,000 円		

3) 外観

	設置年月	概算見積額	期間	備 考
外壁躯体・タイル	開所時	12,412,000 円	中	横浜市補助事業対象予定 (防水は除く) 仮設・監督費・諸経費 込み
シーリング工事	"	7,900,000 円		
鉄部・外壁塗装	"	9,000,000 円		
防水	H20年6月	15,188,000 円		
合 計		44,500,000 円		

修繕計画 合計 159,215,000 円

内) 実施済 実額 22,636,280 円

修繕計画残額 127,015,000 円

役職員報告

役職員の資質向上のため、自己啓発を促して行く事はもとより、各種研究会、研修会へ積極的に参加していくこととしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、法人内外の研修会の中止や研修会参加の自粛をまいりました。新しい研修体制として、オンライン研修への参加申込を推奨していくとともに、感染予防を念頭に置きながら、研修体制の構築を下半期も図って参ります。

1) 理事・監事

定 数	理事 6 名以上 7 名以下	監事 2 名
任 期	令和 7 年 6 月	定時評議員会まで
理 事 長	佐瀬 一裕	
常務理事	町田 貴宏	
理 事	石井 和男	関 寛 瀬戸 謙一 古城 高之 亀山 貢
監 事	荻原 信吾	
	飯塚 忠孝	(令和 5 年 6 月 2 0 日 評議員会終了後まで)
	山本 みや子	(令和 5 年 6 月 2 0 日 評議員会終了後から)
開催実績	5 月 1 9 日	監事監査 (令和 4 年度事業報告、決算報告)
	2 4 日	事業報告、決算報告 等
	6 月 9 日	監事交代について (書面決議)
	2 0 日	理事長及び常務理事互選
	8 月 2 3 日	令和 5 年第 1 四半期収支報告について 等
	1 1 月 9 日	上半期事業報告、決算報告 等
	3 月 2 6 日	令和 6 年度事業計画 (案) 当初予算 (案) 等

2) 評議員

定 数	7 名以上 8 名以下
任 期	令和 6 年 6 月 定時評議員会まで
評 議 員	浅野 高嶺 石川 源七 中島 良行 橋本 文伸 廣田 智可子 原 正子 渡邊 慶信
開催実績	6 月 2 0 日 (定時) 事業報告、決算報告、理事監事改選 等
	1 1 月 2 1 日 上半期事業報告、決算報告 等

3) 評議員選任・解任委員会

定 数	3 名
任 期	令和 6 年 6 月 定時委員会まで
委 員 長	山口 和秀 : 委 員 小川 浩之、荻原 信吾 (監事兼務)
開催実績	開催実績なし

4) 法人本部会議の開催について

概ね月 2 回、通算 1 9 回本部会議を開催し、主に法人、各施設及びサービスにおける運営や実績等の話し合いを行いました。

出席者：佐瀬理事長、町田常務理事、石井理事、関理事、古城所長、瀬戸施設長、亀山所長

令和5年	4月11日	主な議題	令和5年度組織体制について
	26日	〃	各施設事業報告・会計報告
	5月10日	〃	各拠点報告
	6月14日	〃	評議員会について
	7月12日	〃	常盤台C P借入金にかかる保証人の変更について
	8月9日	〃	経営指標自己診断チェックシートについて
	9月13日	〃	規程改訂について（給与規程 給与表）
	27日	〃	各施設事業報告、会計報告
	10月11日	〃	収支報告、役員報酬改訂について
	30日	〃	各施設事業報告、会計報告
	12月13日	〃	人事考課評価分布について、電子申請登録について
	27日	〃	各施設事業報告、会計報告
令和6年	1月10日	〃	カスハラ行動指針について
	（臨時）10日	〃	介護支援専門員証有効期限切れに伴う返還事案
	24日	〃	各施設事業報告、会計報告
	（臨時）2月8日	〃	介護支援専門員証有効期限切れに伴う返還事案
	14日	〃	次期中長期計画の検討について
	28日	〃	各施設事業報告、会計報告
	3月12日	〃	令和6年度事業計画（案）について
			令和6年度常盤台C P包括人員配置について

令和5年度財務実績

1) 目標

法人全体の収支状況の改善

補助金申請状況	合 計	5,771,000円
物価高騰支援対策支援金（横浜市）	夢の里	3,705,000円
	岩崎	546,000円
	常盤台	774,000円
	保土ヶ谷	84,000円
介護サービス提供体制確保事業	夢の里	662,000円

2) 改修・修繕実績

夢の里厨房床改修工事	見積額	1,518,000円	未実施
------------	-----	------------	-----

3) 固定資産及びリース物品購入実績

特別養護老人ホーム夢の里	食品庫設置エアコン入替	205,700円
横浜市常盤台地域ケアプラザ	食品庫設置エアコン入替	182,600円
横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザ	50cc バイク	205,139円

4) 建設時借入金償還状況

建 物	横浜市常盤台地域ケアプラザ				
借 入 先	独) 福祉医療機構 借入年月日 (平成 21 年 12 月 18 日)		社福) 横浜市社会福祉協議会 借入年月日 (平成 21 年 9 月 4 日)		合 計
内 訳	元 金	利 子	元 金	利 子	
貸付金額	20,000 千円	3,320 千円	40,000 千円	----	63,320 千円
償還済額	13,000 千円	2,872 千円	26,000 千円	----	41,872 千円
当期予定額	1,000 千円	112 千円	2,000 千円	----	3,112 千円
残 額	6,000 千円	336 千円	12,000 千円	----	18,336 千円
令和 5 年度 返 済 額	1,000 千円 内) 補助額 750 千円 内) 法人負担額 250 千円	112 千円 内) 補助額 112 千円 内) 法人負担額 0 千円	2,000 千円 内) 補助額 1,500 千円 内) 法人負担額 500 千円	----	3,112 千円 内) 補助額 2,362 千円 内) 法人負担額 750 千円

法人事務局

平成 26 年度から各施設より独立した役割・機能、事務手続きの集約を進めております。また、夢の里の事務所兼務や生活援助員派遣事業、高齢者食事サービス事業など、多岐に渡り多くの業務を行っております。

令和 5 年 4 月から横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザが開所し、拠点数が 4 拠点となったことで増える業務に対応するため、事務業務の効率化や業務見直しを行いました。

1) 重点項目

事務作業等の負担軽減

勤怠管理のクラウド化について

平成 26 年度より夢の里にて部分導入していたタイムカードの電子化について、岩崎・常盤台・保土ヶ谷の各ケアプラザにおいても、クラウドを利用した勤怠管理システムを 4～5 月にかけて導入、7 月から本格稼働をいたしました。

一定期間手集計との併用但也有ありますが、本部にて勤怠データから給与システムへ、一括してデータ取り込みが可能となり、作業の効率化につながっております。

インターネットバンキングの利用

今年度よりすべての拠点においてインターネットバンキングでの振込を可能といたしました。

インターネットバンキングの利用を実施することにより、従来の振込処理（業者及び職員給与等の大量に振込処理を行うにあたり、手書きにて専用の振込用紙に記入したのち、FAX と電話にて振込を行う）が一定程度軽減されております。

2) 実施・担当事業

横浜市生活援助員派遣事業

高齢者自らが望む生活を実現するために、生活援助員の役割である 1.居住形態に配慮しながら、居住者のニーズに対し適切な機関につなげるコーディネート 2.関係機関・専門職、地域コミュニティとの連携。3.日常的に行う安否の確認・緊急対応 を行いながら、各住宅につき週2回づつ派遣し、居住者の状態像や住宅形態に応じて居住継続のサポートを行いました。

また、新型コロナウイルスの対応について、昨年度に引き続き援助員の体調に充分気をつけ、保健衛生物品（マスク・アルコール消毒液）が不足しないよう各相談室へ配布を行いつつ、事業を継続して参りました。ただし、安否確認時の自宅への訪問については、極力インターホン越しに声かけを行うなど、緊急時以外において援助員と入居者様の接触を控えるよう配慮し事業を行いました。令和5年度も引き続きワクチン接種にかかる相談が数多く寄せられたため、横浜市からのワクチン情報を法人にて印刷し各住戸へその都度配布し、また、電話及びインターネットを使った予約申込みのサポートを行いました。

住宅名	3月末世帯数	要介護状態	新入居	安否確認 延べ件数	相談 延べ件数
			退 去		
岩崎町住宅 対象戸数 27戸	二世帯 1戸 単身世帯 22戸	要支援 1名 要介護 4名	1名	1,137件	72件
			3名		
ミカーサ横浜 対象戸数 21戸	二世帯 1戸 単身世帯 18戸	要支援 2名 要介護 2名	2名	819件	43件
			0名		
シャイニング 横浜 対象戸数 36戸	二世帯 1戸 単身世帯 27戸	要支援 3名 要介護 7名	1名	1,364件	112件
			5名		
ライブリー さくら 対象戸数 18個	二世帯 1戸 単身世帯 15戸	要支援 1名 要介護 3名	0名	753件	22件
			0名		
桜ヶ丘 グリーンハイツ 対象戸数 30戸	二世帯 6戸 単身世帯 22戸	要支援 2名 要介護 3名	0名	1,372件	42件
			1名		

以上

令和5年度 特別養護老人ホーム夢の里 事業報告書

・実施事業

- ・介護老人福祉施設 定員 57名 (平成31年3月1日より50名より変更)
- ・短期入所生活介護事業 定員 8名 (平成31年3月1日より15名より変更)
- ・高齢者食事サービス事業 (横浜市委託事業)

・令和5年度事業報告

1. 総括

(1) 特養・短期入所の稼働率実績

令和5年度の稼働率といたしましては、95.5%・62.07名(特養96.9%・55.23名 短期入所85.6%・6.84名)となり、目標稼働率98.5%・64名(特養99%・56.5名 短期入所93.3%・7.5名)を達成することが出来ませんでした。

上半期の7月17日より8月4日までの18日間、新型コロナウイルスへの感染により、ご利用者(特養・短期入所)の受入対応が出来なかったこと、年間を通じて体調不良により複数名の入院者がおり稼働率に影響が有りました。入退所につきましては、15名の退所と17名の入所となりましたが、調査済み待機者が複数名確保されておりスムーズな受け入れ対応が図れました。

調査済み待機者の確保2~3名の目標に関しては入退所者の偏りがあり厳しい月もありましたが常時1~2名を確保できました。又、退所後より入所までの空床期間は年平均20日となり昨年度より短縮いたしました。次年度はより空床期間の短縮を目標に稼働率の改善に努めます。

短期入所につきましても、7月~8月にかけての新型コロナウイルスへの感染により受入停止したことが影響し、月平均稼働率が平均5.8名まで低下いたしました。本入所を希望され調査済みの待機者にも短期入所のご提案をさせていただき複数名の方にご利用して頂きました効果もあり稼働率が向上いたしました。次年度につきましても登録者を増やす為に、本入所の入所調査時に短期入所のご案内と居宅介護支援事業所への空床情報の提供を継続するとともに、緊急の依頼にも積極的に受け入れを行ってまいります。

(2) 感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ)等に関する対応

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症は5類へ移行いたしました。施設内での対応につきましては、「高齢者施設における感染症対策マニュアル改訂版」に基づき感染予防に努めるとともに、令和2年2月より実施中の、全職員出勤時・業者来所時の体温確認、手指消毒、マスク着用の推進、健康チェックを行い感染症持込予防対策を継続実施しております。

令和5年7月17日より8月4日までの18日間で24名(ご利用者様18名職員6名)が新型コロナウイルスへ感染いたしました。施設協力医・保土ヶ谷区保健所の指導の下、蔓延防止対策を実施するとともに、職員はかなり厳しい勤務体制となりましたが職員一丸となり必要なサービス提供を維持することが出来ました。

施設内での感染を減らすためにも、新型コロナウイルスワクチン接種(5月 11月)・インフルエンザ予防接種(10~12月)を入所者及び職員を対象に実施いたしました。

(3) 新規加算の取得

褥瘡マネジメント加算・排せつ支援加算につきましては令和6年7月より算定するために、令和6年4月より家族様へ計画書を配布し算定が出来るよう準備をしております。

(4) 介護職員の人材確保と資質向上

昨年度は受入の窓口である相談員を2名の常勤職員配置にすべく対応いたしましたが、今年度の人事異動により1名体制にて対応することといたしました。

今年度は介護職員の採用実績はありませんでしたが、退職者2名(常勤1名・非常勤1名)おり、早期に介護職員不足を解消する為に継続的な求人(学校求人・ハローワーク・新聞折込・電子媒体など)・紹介・派遣会社を活用してまいります。また、産前産後休業・育児休業取得者2名のうち1名は5月より時短勤務にて復職いたしました

職員の資質向上を目的にした研修につきましては、昨年度同様に新型コロナウイルスの流行による感染予防対策として外部研修への参加を見合わせました。内部研修についても多数職員が参加となるため中止いたしました。研修による自己啓発も必要となるため今後につきましては、ウエーブ研修を実施、外部研修については、ウエーブにて開催される研修は参加出来るよう体制を構築してまいります。

令和6年度以降、無資格の介護職員については、認知症介護基礎研修の受講が義務となります。今年度は無資格の介護職員には「認知症介護基礎研修 e ラーニング」で研修を受講して頂きました、次年度より無資格での採用される介護職員はこの研修を受講して頂き認知症介護の資質向上に努めてまいります。

2. 行事等活動報告

(1) 主な行事計画

安全で楽しく、またご家族様にも一緒に楽しんでいただける行事を計画いたしましたが、本年度は新型コロナウイルス感染予防のため、誕生会・敬老会以外の行事は中止と致しました。その為、季節ごとの行事を少しでも感じて頂けるよう、行事食を提供させていただきました。

- 4月 誕生会(19日)・
- 5月 八十八夜(2日)・菖蒲湯(3・4・5日)端午の節句(5日)・誕生会(17日)
- 6月 誕生会(21日)
- 7月 七夕(7日)・誕生会(19日)
- 8月 誕生会(16日)・夏祭り(28日)
- 9月 敬老祝賀会(18日)・誕生会(20日)
- 10月 運動会(22日)・誕生会(20日)
- 11月 常盤台北部自治会合同防災訓練中止・誕生会(15日)
- 12月 誕生会&餅つき(20日)・クリスマス会(24日)・ゆず湯(19~21日)
- 1月 新年祝賀会(1日)・七草粥(7日)・鏡開き、お汁粉(11日)・誕生会(17日)
- 2月 節分(3日)・誕生会(21日)
- 3月 ひな祭り(3日)・誕生会(20日)

(2) クラブ活動

昨年度は新型コロナウイルス感染予防のため活動を休止いたしましたが、今年度は一部再開いたします。

- 書道クラブ・・・1回(6月)
- 生け花クラブ・・・3回(6・7・8月)

(3) 地域交流及びボランティア

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため、ボランティア活動は中止といたしました。

< 聖ヶ丘学園 >

聖ヶ丘教育福祉専門学校専攻科の廃止に伴い実習は中止となりました。

学生のボランティア活動は受け入れてまいりますが、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

< 育和幼稚園 >

11月の交流会はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

< ひかりの風保育園 >

例年は、散歩の途中で窓越しに手を振り合うなどの交流を行ってまいりましたが、本年度もインフルエンザ・新型コロナウイルス感染予防のため交流はありませんでした。

< 中学校体験学習 >

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。

< 大学生教員免許取得の為の実習受入 >

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため受入を中止といたしました。

< 横浜市新任職員福祉活動実習受入 >

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため横浜市より依頼の辞退がありました。

< ボランティアの受け入れ >

本年度はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染予防のため受入を中止といたしました。

< 夏休みボランティア体験（ちょいボラ） >

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため受入を中止といたしました。

< 介護相談員派遣事業受け入れ >

毎年、区役所より派遣された介護相談員2名により、入居されている方・ご家族様からサービスに関する疑問・不満等を聴取していただき、施設との橋渡しを行って頂いておりますが、本年度も新型コロナウイルス感染予防のため活動を休止しております。

< 家族会 >

新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

役員会については6回開催し近況報告を行いました。

< 部屋貸し >

新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

3. 医務

(1) 健康管理

ご利用者様の個々のニーズに的確に関わる看護を目指し、嘱託医と協力し、介護度が改善・安定できるような看護を目指すため、以下の取り組みを行いました。

- 1 看護と介護の連携を密に協力し、24時間態勢にて生活の援助に努めました。
- 2 体調の変化に常に重点をおき、急変時のバイタル測定、主治医への報告、処方薬の服薬介助などの的確な対応をいたしました。
- 3 必要時の受診の対応、援助をいたしました。
- 4 6月の老人健診は新型コロナウイルス感染症予防対策を行い実施いたしました。
- 5 体調の変化の目安とするため、毎月体重測定と毎週血圧の測定を行いました。
- 6 10月から11月にご利用者様及び職員へインフルエンザの予防接種を行いました。
- 7 新型コロナウイルスワクチン接種を行いました。6回目(6月)・7回目(11月)

(2) 感染症・食中毒防止

1年を通じて、感染症や食中毒の予防及び万一の発生時には蔓延の防止に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症に関しましては、令和5年7月17日より8月4日までの18日間で24名(ご利用者様18名職員6名)が新型コロナウイルスへ感染いたしました。施設協力医・保土ヶ谷区保健所の指導の下、蔓延防止対策を実施するとともに、職員はかなり厳しい勤務体制となりましたが職員一丸となり必要なサービス提供を維持することが出来ました。

1 インフルエンザ対策

ご利用者様及び職員に対して嘱託医と協力し、10月にご利用者様・職員に予防接種を実施いたしました。また、11月より手洗い、うがい等の啓蒙、施設入り口には来所者用のマスクとアルコール消毒液を常備し予防策の援助を行いました。また、職員の出勤時に体温測定を実施し体調チェック表への記入をする事により自己の体調管理及び啓発を行いました。

10月～3月の期間は、全居室での加湿器の使用と、カウンター前の加湿器及びインフルエンザ感染者専用部屋の加湿器には塩素系の消毒液を入れ対応いたしました。

インフルエンザまん延予防対策として、施設内でインフルエンザ罹患者が確認された場合は、ご利用者様及び職員に対して予防薬を7日間服用することと継続いたしました。

職員の同居家族で罹患が発生した場合も、施設内への蔓延予防対策として予防薬を実施いたしました。

2 ノロウイルス対策

看護、介護、栄養士及び調理師がお互いに協力し、ノロウイルスの発生が多い10月～3月まで、使用した食器を塩素消毒する等の予防対策を実施しました。また、万一嘔吐や下痢、発熱などの症状のあるご利用者様がでた場合のために、汚物処理の方法や施設内の消毒方法などの研修を全職員対象に実施し、まん延予防対策の徹底も図りました。

3 新型コロナウイルス対策

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症は5類へ移行いたしました。当施設は高齢者施設としての対応が求められており、「高齢者施設における感染症対策マニュアル改訂版」に基づき感染予防に努めるとともに、令和2年2月より実施中の、全職員出勤時・出入業者来所時の体温確認、手指消毒、マスク着用の推進、健康チェックを行い感染症持込予防対策を継続実施いたしました。

感染症対策で使用する物品(マスク・グローブ・消毒用アルコール・ガウン)は通常時より在庫を増やし感染症対策が行なえるよう対応しています。また、横浜市より支給された抗原検査キットを、施設内での検査にて使用するほか、発熱時等自宅で検査が実施できるよう、全職員にも配布いたしました。

ご利用者様への対応として、1)熱発者は施設協力医の判断により検査(抗原検査・PCR検査等)を迅速に実施 2)短期入所ご利用者様より新型コロナウイルスの施設へ持ち込みがないよう、入所前の検温体調確認の協力依頼等の対応をいたしました。

面会につきましては、事前予約制とし1Fロビーにて実施しております。感染予防対策として居住スペースへの立ち入りについては、現在でもご遠慮いただいております。

新型コロナウイルス感染症は、現在でも一定数の感染者が発生しています。今後も国、横浜市からの通知を確認しながら感染予防対策を検討してまいります。

(3) 褥瘡対策

褥瘡はご利用者様にとって身体的、精神的にとっても負担の大きいものです。褥瘡ゼロを目指し嘱託医、看護、介護、栄養士及び調理師がお互いに協力し褥瘡予防を積極的に取り組みました。

また、数件ですが褥瘡の発症・初期状態の発赤・表皮剥離の発症がありましたが、主治医との連携のもと、体位交換皮膚の清潔保持や栄養管理などの確な処置により早期治癒いたしました。

全利用者様を3グループに分け3月に一回調査を行い多職種で状況確認を行いました。

(4) A D L向上に向けて

嚥下体操、口腔ケア、リハビリなど個人にあったケアを取り入れて継続的に実施いたしました。

昼食前またはおやつの前後に、身体機能の維持を目的に看護師を中心に実施いたしました。

(5) 感染症・食中毒施設内研修実績

令和5年7月17日 新型コロナウイルス・ノロ対応蔓延予防等研修 ・ 実技研修

(6) 横浜市民間特別養護老人ホーム医療対応促進助成の活用

助成の対象となる医療依存度の高い方の入所受入を継続しサービス提供を行ってまいります。

4. 厨房

(1) 食事管理

ご利用者様の個々の状態に合わせた食事の形態や適正なカロリー、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、美味しく安全な食事を提供いたしました。

嚥下困難な方へのトロミ剤の使用方法及び適正な濃度について統一濃度で提供できる体制を整え職員への周知を行い、ご利用者様に合わせたトロミ形態で提供を行いました。

(2) 行事食

その月の行事や季節の催し物に因んだ行事食や月1回の誕生会の昼食を行事食とし美味しくまた、見た目にも楽しめる食事を提供いたしました。

(3) クラブ活動

クラブ活動(料理クラブ)を通じて、その季節の催し物にあったおやつをご利用者自身が作るにより、季節感と食との繋がりを大事にして参ります。

お楽しみクラブでは、鍋パーティーや鉄板焼きなど普段の食事とは異なる食事を提供していくとともに、利用者自身が自分で作って食べることでできるメニューを検討して参ります。

(4) 経口維持加算の算定

摂食機能障害のあるご利用者様が、自分の口からの安全に食事の摂取が維持できるよう多職種が連携して経口維持計画書を作成し支援をいたしました。

(5) 栄養ケア計画の継続実施

ご利用者様が、自分の口からの食事摂取・栄養状態の改善できるよう多職種が連携して栄養ケア計画を作成し支援をいたしました。

5. 横浜市高齢者食事サービス事業

食事サービス事業を通して、居宅生活者の安全と安心を見守り、併せて、食生活の改善を促進し健康な生活をサポートいたしました。令和5年度実績は前年度と比べ1,183食の増加、1日平均では15.8個(前年度12.5個 1日平均+3.3個)となりました。

令和5年6月より横浜市常盤台地域ケアプラザと協力して、横浜市常盤台地域ケアプラザの通所介護サービスをご利用されている方を対象に、横浜市の補助事業を受けずに利用できる持ち帰り型食事サービスを試行的に開始し、概ね50食/月ほどご利用いただいております。

また、令和5年度の新規ご利用者様は12名、中止となったご利用者様は9名となりましたが、コロナに罹患された方やご利用中の方の利用日以外でのスポット配達を行うことにより、配達個数を増やしてまいりました。

令和6年度につきましても、通常事業の営業に加え、スポット利用を積極的に受け入れていくとともに、高齢者以外の重度障害者への範囲拡大などを実施し、引き続きより多くのご利用者様にサービス提供できるよう、事業を実施してまいります。

令和5年度配達実施地域

保土ヶ谷区：常盤台、峰沢町、岡沢町、鎌谷町、宮田町、岩間町、西久保町（ＪＲ線以北のみ）、
神戸町、天王町、川辺町、和田町、釜台町、上星川町、峰岡町、星川町、桜ヶ丘
月見台、霞台、帷子町、岩崎町、明神台

神奈川区：羽沢南

[横浜市常盤台地域ケアプラザ：通所介護ご利用者様向けお持ち帰り弁当](#)

6. 防災・防火

1 利用者・職員及び地元自治会の人命安全、被害防止のため防災計画・地元自治会との防災協定及び特定避難場所の協定に基づいた非常災害対策の適切な実施を今後も継続してまいります。

- ・非常災害時の緊急連絡網、関係機関への通報及び連携体制構築の確認。
- ・職員に対する防災計画及び連絡体制の周知。
- ・消防設備点検 依頼業者により年2回 4月・10月に実施いたしました。
自主点検は年2回 7月・1月に担当職員にて実施いたしました。
- ・新任（現任）職員対象に消防計画の説明及び消火設備・放水訓練を実施いたしました。
- ・避難訓練を年2回実施いたしました。

6月26日 昼間想定 通報・消火・避難誘導訓練・新任職員研修

3月25日 夜間想定 地震対応・通報・消火・避難誘導訓練・新任職員研修

常盤台北部自治会合同防災訓練は新型コロナ感染予防の為に中止いたしました。

- ・非常食の備蓄 900食（100名×3食×3日分）
夢の里利用者分として65名分の非常食3日分備蓄しています。
夢の里職員分として15名分の非常食3日分備蓄しています。
特定避難場所として20名分の非常食3日分備蓄しています。

- ・消防署 査察関係

消防・警防査察 令和5年5月23日 実施

2 火災対策として、以下の火災予防策・防火安全体制の再確認、指導の徹底をして参ります。

- ・喫煙等の火気管理の徹底。
- ・暖房機器や厨房機器等の火気使用設備・器具の管理。
- ・階段、通路などの避難経路及び防火戸、防火区画の管理。
- ・寝具・布張り家具（ソファ等）に防火性能及び着火防止性能を有する製品の使用。

. 令和5年度稼働実績

施設サービス稼働実績

単位：人 稼働率：%

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養	定員	1,710	1,767	1,710	1,767	1,767	1,710	1,767	1,710	1,767	1,767	1,653	1,767
	利用延べ	1,595	1,705	1,680	1,718	1,659	1,644	1,745	1,697	1,747	1,706	1,588	1,730
	人数空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1,595	1,705	1,680	1,718	1,659	1,644	1,745	1,697	1,747	1,706	1,588	1,730
	稼働率	93.3	96.5	98.2	97.2	93.9	96.1	98.8	99.2	98.9	96.5	96.1	97.9
	日平均	53.17	55.00	56.00	55.42	53.52	54.80	56.29	53.57	56.35	55.03	54.76	55.81
短期	定員	240	248	240	248	248	240	248	240	248	248	232	248
	利用延べ	229	207	198	180	185	208	216	220	217	239	200	206
	人数予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数自費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	229	207	198	180	185	208	216	220	217	239	200	206
	稼働率	95.4	83.5	82.5	72.6	74.6	86.7	87.1	91.7	87.5	96.4	86.2	83.1
	日平均	7.63	6.68	6.60	5.81	5.97	6.93	6.97	7.33	7.00	7.71	6.90	6.65
利用総計		1,824	1,912	1,878	1,898	1,844	1,852	1,961	1,917	1,964	1,945	1,788	1,936
総計稼働率		93.5	94.9	96.3	94.2	91.5	95.0	97.3	98.3	97.5	96.5	94.9	96.1
日平均		60.80	61.68	62.60	61.23	59.48	61.73	63.26	63.90	63.35	62.74	61.66	62.45

実績人数

満床人数

令和5年度 稼働率 (全体) 22,719 ÷ 23,790名 = 95.5% 62.07名
(特養) 20,214 ÷ 20,862名 = 96.9% 55.23名
(短期) 2,505 ÷ 2,928名 = 85.6% 6.84名

参考 令和4年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養 人数	1,647	1,722	1,609	1,736	1,749	1,681	1,753	1,631	1,687	1,689	1,539	1,679
稼働率	96.3	97.5	94.1	98.2	99.0	98.3	99.2	95.4	95.5	95.6	96.4	95.0
	54.90	55.55	53.63	56.00	56.42	56.03	56.55	54.37	54.42	54.48	54.96	54.16
短期 人数	161	164	153	136	147	219	211	194	216	223	178	196
稼働率	67.1	66.1	63.8	54.8	59.3	91.3	85.1	80.8	87.1	89.9	79.5	79.0
	5.37	5.29	5.10	4.39	4.74	7.30	6.81	6.47	6.97	7.19	6.36	6.32
利用者 総計	1,808	1,886	1,762	1,872	1,896	1,900	1,964	1,825	1,903	1,912	1,717	1,875
総計 稼働率	92.7	93.6	90.4	92.9	94.1	97.4	97.5	93.6	94.4	94.9	94.3	93.1
	60.27	60.84	58.73	60.39	61.16	63.33	63.35	60.83	61.39	61.68	61.32	60.48

令和4年度 稼働率 (全体) 94.1% 61.15名
(特養) 96.7% 55.13名 (短期) 75.3% 6.02名

入所状況（令和5年度 月別集計）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	男	1	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	6
	女	0	1	0	0	0	1	2	2	2	1	2	0	11
合計		1	3	0	0	2	1	2	2	2	1	2	1	17

入所前状況

在宅からの入所 9名 老人保健施設入所者 4名

病院からの入所 2名 小規模多機能 1名 有料老人ホーム 1名

入所待機者状況

3月現在 75名（男性 40名 女性 35名）

退所状況（令和5年度 月別集計）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退所	男	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4
	女	1	0	0	0	1	0	2	4	0	2	1	0	11
合計		2	1	0	1	1	0	2	4	0	2	2	0	15

医療機関への入院 3名

施設での看取り 12名

介護度状況（令和6年3月31日 現在）

単位：人

		介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
介護度	男	0	0	5	8	3	16
	女	0	0	5	20	16	41
合計		0	0	10	28	19	57
割合		0%	0%	18%	49%	33%	

平均介護度 全体 4.16 男性 3.88

女性 4.27

年齢状況（令和6年3月31日 現在）

単位：人

		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100以上	合計
年齢	男	1	3	2	1	1	6	2	0	0	16
	女	1	0	0	4	8	10	11	5	2	41
合計		2	3	2	5	9	16	13	5	2	57

平均年齢 全体 85.49歳 男性 79.50歳

女性 87.83歳

高齢者食事サービス稼働実績

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
昼食	食数	82	91	88	112	94	99	118	123	119	104	119	118
	平均	2.7	2.9	2.9	3.6	3.0	3.3	3.8	4.1	3.9	3.7	4.2	3.8
夕食	食数	237	281	342	365	368	424	443	441	419	351	370	429
	平均	7.9	9.0	11.4	11.7	11.8	14.1	14.2	14.7	13.6	12.5	13.2	13.8
合計	食数	319	372	430	477	462	523	561	564	538	455	489	547
	平均	10.6	11.9	14.3	15.3	14.8	17.4	18.0	18.8	17.5	16.2	17.4	17.6
昨年	食数	425	440	469	396	371	375	378	329	344	318	330	379
	平均	14.1	14.1	15.6	12.6	11.8	12.4	12.1	10.9	11.2	11.3	11.7	12.2

令和 5年度 平均 5,737食 ÷ 363日 = 15.8食

令和 4年度 平均 4,554食 ÷ 362日 = 12.5食

・医務

来受診状況 (令和5年度 月別集計)

単位：人

	内科	外科	整形外科	歯科 (往診含)	眼科	皮膚科	脳外科	精神科	その他	合計
4月	7	0	1	38	0	13	0	16	8	83
5月	3	2	0	39	0	11	0	16	1	72
6月	1	0	0	46	0	17	0	16	1	81
7月	1	0	1	18	1	5	2	16	1	44
8月	5	0	4	37	0	16	4	13	0	79
9月	8	3	0	37	1	11	2	14	2	78
10月	4	0	3	26	0	13	2	14	3	65
11月	2	0	3	36	0	9	0	13	2	65
12月	9	1	4	48	0	14	2	11	4	93
1月	8	0	4	33	0	13	1	9	4	72
2月	6	0	1	34	1	19	2	10	6	79
3月	17	0	3	45	0	11	1	10	5	92
合計	71	6	24	437	3	151	16	158	37	903

人健診及び職員検診の実施

老人健診 令和5年 6月 9日に実施。 60名(本入所56名 短期入所4名)

職員健診 令和5年 6月 9日に実施 12名(夜勤対応職員対象)

令和5年11月10日に実施 52名(全職員対象)

新型コロナワクチン予防接種

5・6月実施(6回目) 入所者 51名 職員 22名

11月 実施(7回目) 入所者 47名 職員 9名 令和5年11月15日実施

インフルエンザ 予防接種 入所者 52名 職員 35名

令和6年10月10日～12月末日まで実施しました。

入退院状況 (令和5年度 月別集計)(入退院日は日数から除く)

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	2	0	0	0	4	2	0	0	1	1	1	2	13
退院	2	0	0	0	3	2	1	0	0	0	3	0	11
延べ日数	43	0	0	0	47	53	5	0	3	40	58	33	282
昨年	39	14	45	31	18	0	8	20	22	0	11	66	274

・ 厨房

行事食

	行事食(昼食・おやつ)メニュー
4月	19日 誕生会
5月	1日 開所記念 ・ 2日 八十八夜 ・ 5日端午の節句 ・ 17日 誕生会
6月	21日 誕生会
7月	7日 七夕 ・ 19日 誕生会 ・ 30日 土用の丑
8月	16日 誕生会 ・ 28日 お祭り献立
9月	18日 敬老会 ・ 20日 誕生会 ・ 29日 十五夜 ・ 23日 彼岸おはぎ
10月	20日 誕生会・22日運動会
11月	15 誕生会
12月	20 誕生会&餅つき ・ 22日 冬至 ・ 25日 クリスマス ・ 31日 年越しそば
1月	1日 新年祝賀会 ・ 7日 七草粥 ・ 11日 鏡開き ・ 15日 小正月 ・ 17 誕生会 ・ 31日 晦日正月
2月	3日 節分 ・ 14日 バレンタイン ・ 21日 誕生会
3月	3日 ひなまつり ・ 20日 誕生会 ・ 20日 春分の日

以 上

令和5年度 横浜市岩崎地域ケアプラザ事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

<基本理念>

- (1) 地域における市民の自主的な福祉活動、保健活動等のための場を提供し、市民の誰もが日常的に相互に支えあい、住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられる地域社会の実現に資する。
- (2) 地域住民の方が、生活に関する相談全般について「まずプラザで相談してみよう。」と思われる施設となりたい。

<運営方針>

- (1) 利用者を主体としたサービスの提供と生活支援。
- (2) 快適な環境作り。
- (3) 笑顔のもと明るくてきばきとした応対。
- (4) 地域福祉の拠点となるため、自治会・ボランティア団体・学校・社会福祉協議会等との連携、協力をすすめる。
- (5) 地域住民をはじめとした実習生、介護体験、見学者、ボランティアの受け入れを通じて当施設の理解の増進および人材育成の役割を担います。

<施設全体としての～振り返り～>

- (1) 横浜型地域包括ケアシステムの実現に向けた、多職種の協働による個別ケースの地域ケア会議の実施と地域包括地域ケア会議の実施による地域課題の把握と新たな社会資源の創設に取り組みました。
- (2) 地域の乳幼児から高齢者等に対して、総合相談・支援事業の実施をはじめ、各関係機関との支援ネットワーク構築や関係団体との連携強化、協働作業等の環境づくりを積極的に推進に努めました。
- (3) 地域支えあい推進として、地域のインフォーマルサービスの整備と新たな自主事業を展開し、様々な担い手づくり、子育て支援の環境づくり、地域資源の活用に取り組みました。
- (4) 地域にプラザを再周知すると共に、必要な情報が届けられるよう、様々な媒体の取組みを実施し必要な人に的確に支援が届くよう地域との連携・協議の場を拡充し福祉保健活動拠点としての役割に努めました。
- (5) 人材不足の課題解決に向け、地域福祉を推進するための環境づくりや課題解決へ向けた人材確保と育成を図り職員がやりがいをもって業務を行うことができるよう、今まで以上に職場環境の改善に努めました。
- (6) 今後、ますますケアプラザ機能に求められる業務拡大の対応として、ケアプラザ内での協働・密接な連携が図れる組織体制の構築と機能強化を図り、特に職種間連携に努めました。
- (7) 様々な感染症の感染拡大防止に向けた正しい認識をもつとともに、感染症対策マニュアルを通して日頃の備え、感染防止の基本等を含めた共通理解に取り組みました。

<令和6年度に向けた課題>

- (1) 横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた保土ヶ谷区アクションプランの推進と社会資源創設に努めます。
- (2) 関係団体との連携強化、協働作業等の環境作りを積極的に推進していきます。
- (3) 様々な世代へ新たな自主事業を展開し、担い手の発掘と地域資源の活用を進めていきます。
- (4) 福祉保健活動拠点として地域へ必要な支援が十分に届けられるよう役割を拡充していきます。
- (5) 全職員が働きやすい労働環境整備と人材の育成・確保に努めていきます。
- (6) 組織体制のさらなる強化と個々のスキルアップを図っていきます。
- (7) BCPを通して、新型コロナウイルス感染症や大地震などの災害発生時に向けた正しい認識をもつとともに、日頃から災害時の対応方法等を含めた共通理解に取り組んでいきます。

I. 地域包括支援事業 事業報告

令和6年3月末現在

地域包括支援センターは、高齢者の皆様が住み慣れた地域でいつまでも充実した毎日を過ごして頂くために総合的な相談・支援を行う機関であり、3職種・介護予防プランナーにてお互いに連携して日常生活の支援や様々な相談に応じています。事業内容は総合相談支援・権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント、自主事業を実施している。各事業毎の実績は以下の通りである。

1. 総合相談・支援事業 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

地域の高齢者等に対して面接、電話等による相談を実施し、必要な支援内容を把握するとともに、地域における適切な機関、制度、サービスの利用に繋げる等の支援を行うほか、相談者からの依頼を受けて必要がある場合に、相談者の自宅等を訪問し、安否確認、情報提供、各種福祉保健サービスの申請受付等に努めている。

相談事業実績 合計 587 件 前年度(3月末日) 1295 件

利用方法別

分 類		手 段			時 間 帯	
新規	継続	面接	電話	FAX・その他	9～17	17～21
250	337	100	483	4	584	3
合計	587 件	合計 587 件			合計	587 件

対象者別 合計 587 件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
11	0	138	160	268	2	8

相談者別 合計 623 件 (重複有り)

本人	家族	地域住民	サービス事業者	施設・医療	区役所	区社協	他のケアプラザ	その他
111	323	30	56	56	29	0	5	13

相談内容別 合計 774 件 (重複有り)

介護保険	介護予防事業	包括支援事業	行政サービス	インフォーマルサービス	介護医療	施設入所入院	日常生活課題	苦情	成年後見	虐待	その他
383	8	0	10	10	111	26	167	7	14	4	34

訪問事業実績 合計 131 件 前年度(3月末日) 379 件

利用方法別

分 類		訪 問 先			時 間 帯	
新規	継続	家庭	病院・施設	その他	9～17	17～21
7	124				131	0
合計	131 件	合計 0 件			合計	131 件

対象者別 合計 131 件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
1	0	26	42	60	1	1

援助内容別 合計 215 件 (重複有り)

安否確認 状況確認	介護・保健等 指導助言	申請受付		他機関等との サービス調整	情報提供	その他
		介護保険	行政サービス			
10	52	49	0	60	38	6

2. 地域ケア会議 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

多職種による個別事例の検討を通じ、高齢者の自立に資するケアプランにつなげていくとともに、個別事例の検討を積み重ねることにより、地域課題を発見し、新たな資源開発につなげていく。

個別地域ケア会議 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

開催月	内 容	参加人数
合計	0回	0人

3. 権利擁護事業 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

福祉保健関係者とのネットワークを構築し、支援を要する方を早期発見し相談に繋げられるように体制を整備すると共に、研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。また、地域の方へ情報を提供している。

認知症連絡会・虐待担当者会議・成年後見サポートネット会議(保土ヶ谷区)

開催月	内 容	参加人数
6月15日	成年後見サポートネット専門職会議・全体会	29人
8月21日	保土ヶ谷区高齢者虐待防止に関する医療機関との連絡会	26人
9月21日	成年後見サポートネット専門職会議・全体会	26人
11月17日	成年後見サポートネット分科会	28人
12月14日	成年後見サポートネット専門職会議・全体会	25人
12月18日	令和5年度認知症高齢者等SOSネットワーク連絡会	28人
3月14日	成年後見サポートネット専門職会議	18人
3月12日	令和5年度保土ヶ谷区認知症初期集中支援チーム検討委員会	25人
合計	8回	205人

認知症・権利擁護関係研修

職員が研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。

開催月	内 容	参加人数
5月11日	令和5年度 認知症関連事業基礎研修	1人
6月1日	令和5年度 在宅高齢者虐待防止事業 基礎研修(対応編)	1人
6月30日	令和5年度在宅高齢者虐待防止事業 基礎研修(法律編)	1人
6月14日	令和5年度 もの忘れ検診とMCI支援に関わる事業説明会	1人
8月4日	令和5年度相談支援機関向け研修「権利擁護支援・地域連携ネットワークの実践」	1人
8月22日	生活困窮者自立支援制度説明会	3人
8月29日	令和5年度 認知症キャラバン・メイト養成研修	1人
9月11日	令和5年度保土ヶ谷区高齢者虐待防止研修	1人
11月29日	令和5年度老年期の妄想について考える	1人
12月21日	令和5年度家族支援研修	1人
2月19日	令和5年度 高齢者虐待研修	1人
合計	11回	13人

権利擁護講座・相談会

事業所、地域の方への情報提供、普及啓発、利用促進のための事業。

開催月	内 容	参加人数
5月18日	エンディングノートをかいてみよう	10人
7月20日	くらしの法律相談	2人
7月20日	連絡ノート	2人
9月5日	権利擁護相談会	1人
9月15日	権利擁護相談会	1人
9月21日	くらしの相談会	1人
9月21日	消費者被害について	3人
11月16日	くらしの法律相談	0人
1月18日	くらしの相談会	2人
3月21日	くらしの法律相談	3人

3月21日	権利擁護相談会	1人
合計	11回	26人

介護者のつどい

地域の方々を対象に介護に関する情報提供や医療に関する勉強会を開催し在宅生活の安定を図る。

開催月	内 容	参加人数
5月18日	もくようびのすまいる	18人
7月20日	もくようびのすまいる	14人
7月20日	福祉用具体験会	12人
9月21日	もくようびのすまいる	7人
11月16日	もくようびのすまいる	7人
11月16日	介護者のつどい	2人
1月18日	もくようびのすまいる	10人
3月21日	もくようびのすまいる	24人
合計	8回	94人

4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

地域における包括ケア体制の構築のために地域の介護支援専門員を対象とした専門家との相談会、研修会・意見交換会(ケアマネ連絡会、合同ケアマネ連絡会、地域ケア会議)を実施している。また、地域の方々へ情報発信とは別に介護・医療セミナーを開催している。

ケアマネ連絡会

開催月	内 容	参加人数
5月17日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「在宅医療相談室との事例検討会」	30人
6月15日	ほどがやケアマネット 令和5年度第1回研修会「カスタマーハラスメントについて」	24人
6月21日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「リハビリ職の専門性について学ぼう」	28人
9月20日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「生活保護のイロハ」	45人
10月26日	ほどがやケアマネット研修会「ケアマネジャーは何をするひとですか」	26人
11月28日	岩崎地域ケアプラザ ケアマネ連絡会	7人
11月15日	多職種連携部会全体会	99人
11月15日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「成年後見制度実際の利用について」	52人
12月14日	区内8包括合同主任ケアマネジャー研修「地域包括ケアシステムから地域資源を考える」	13人
12月20日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「人工透析の知識をみにつけよう」	40人
12月19日	岩崎地域ケアプラザ ケアマネ連絡会	6人
1月23日	岩崎地域ケアプラザ ケアマネ連絡会	8人
合計	12回	378人

サービス担当学会議の開催支援や抱えている困難事例等への相談支援の実施。また新任・就労予定のケアマネジャーが円滑に業務が進められるよう、区単位で実習の受入調整・支援を実施している。

ケアマネジャー相談支援

	相談件数	相談内容														対応										
		介護保険制度 政サービス情報関連 行	地域情報関連 ケアプランの作成・内容等	支援困難事例への内訳												地域情報の提供 ケアプラン・ケアマネジメントの助言・指導	対応・他機関との調整							同行訪問	その他	
				認知症	精神疾患	ターミナル	医療的支援	独居・高齢世帯介護力不足	サービス・支援拒否	家族の対応・支援	経済的問題	虐待	成年後見制度・費者被害	その他	制度・行政サービス等の説明・情報提供		ケアプラン・事業者等	居宅サービス事業者等	インフォーマルサービス	在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）	施設・医療機関	区役所	その他			
4月	2人	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0			
5月	8人	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	3	0	3	0	0	0	0	0	1	2	3
6月	3人	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	
7月	11人	1	0	5	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	5	0	0	0	0	3	3	1	2

8月	5人	0	1	1	2	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3	1
9月	1人	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
10月	9人	1	0	4	3	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	4	
11月	10人	1	0	4	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	3	1	0	0	0	1	0	3	3
12月	4人	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0
1月	1人	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
2月	1人	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	3人	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	58人	7人	1人	18人	11人	2人	0人	0人	2人	1人	9人	4人	3人	7人	4人	6人	2人	21人	3人	0人	0人	1人	6人	6人	15人	15人

新任・就労予定ケアマネジャー研修

	内 容	参加人数
第1日目	9/29行政サービス・かるがも会・あんしんセンター・予防プラン・生活保護・精神保健業務・ふれあい収集について	13人
第2日目	実習(同行訪問)	0人
第3日目	11/21施設紹介、反町福祉機器センター見学及び「在宅リハビリテーション事業」「住環境整備事業」について講義	13人
合計	3回	26人

地域密着型サービス運営推進会議他

地域密着型サービスの運営推進会議参加。運営状況等確認、アドバイス。

開催月	内 容	参加人数
5月10日	小規模多機能型居宅介護 われもこう	3人
5月10日	グループホーム 若草の丘	7人
5月10日	保土ヶ谷区在宅医療相談室	35人
7月12日	グループホーム若草の丘	5人
7月12日	小規模多機能型居宅介護 われもこう	3人
9月13日	小規模多機能型居宅介護 われもこう	2人
9月13日	グループホーム 若草の丘	6人
10月21日	ツクイ横浜グループホーム	9人
10月23日	グループホーム ひばり苑	5人
12月15日	ツクイ横浜グループホーム	8人
1月10日	小規模多機能型居宅介護 われもこう	2人
1月10日	グループホーム 若草の丘	7人
2月16日	ツクイ横浜グループホーム	6人
2月12日	グループホーム ひばり苑	2人
3月15日	小規模多機能型居宅介護 われもこう	3人
3月15日	グループホーム 若草の丘	7人
合計	16回	110人

5. 介護予防事業

(令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

地域において自主的な介護予防に資する活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が自主的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防に関する活動の普及・啓発と育成・支援を実施している。

介護予防事業実績

介護予防普及啓発事業 合計 156人

開催日	事業名	種別	参加人数
5月18日	健康測定:フレイルについての概論	介護予防普及啓発	8人
7月20日	健康教室:フレイル予防の基礎知識と体操	介護予防普及啓発	12人
9月21日	健康教室:フレイル予防と口腔	介護予防普及啓発	4人
11月16日	健康教室:フレイル予防と栄養	介護予防普及啓発	3人
2月14日	いきいき健康教室初音ヶ丘:運動	介護予防普及啓発	22人
2月20日	いきいき健康教室初音ヶ丘:口腔	介護予防普及啓発	18人
2月29日	いきいき健康教室初音ヶ丘:栄養	介護予防普及啓発	28人

2月15日	桜ヶ丘自治会 健康講座	介護予防普及啓発	22人
3月9日	保土ヶ谷東部地区社協 健康講座	介護予防普及啓発	39人
合計	9回		156人

介護予防活動支援事業 合計 49人

開催日	事業名	種別	参加人数
4月27日	Gスマイル 体力測定会	介護予防活動支援	6人
7月28日	さくらコスモス会 体力測定会	介護予防活動支援	13人
11月12日	芝桜の会 健康講座	介護予防活動支援	17人
12月10日	芝桜の会 健康講座	介護予防活動支援	13人
合計	4回		49人

6. 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

「要支援1」「要支援2」に認定された方の介護予防支援サービス・支援計画書の作成を実施している。また、業務の一部を居宅介護支援事業者の介護支援専門員に委託できることとなっており、介護予防支援サービス・支援計画書作成委託契約の上、介護予防支援、介護予防ケアマネジメントをお願いし、管理・実施をしている。

介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業実績

指定居宅介護支援事業所に委託している件数 延合計 1815人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	委託利用者数
新規	4	4	2	5	8	2	3	10	8	7	4	4	61
継続	153	152	148	143	146	151	142	138	143	145	147	146	1754
合計	157	156	150	148	154	153	145	148	151	152	151	150	1815

	直 接				委 託				直接	委託	合計
	要支援1		要支援2		要支援1		要支援2				
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続			
4月	0	0	0	1	3	45	1	108	1	157	158
5月	0	0	0	1	3	46	1	106	1	156	157
6月	0	0	0	1	2	42	0	106	1	150	151
7月	0	0	0	1	2	42	3	101	1	148	149
8月	0	0	0	1	4	42	4	104	1	154	155
9月	0	0	0	1	1	45	1	106	1	153	154
10月	0	0	0	1	0	40	3	102	1	145	146
11月	0	0	0	1	3	37	7	101	1	148	149
12月	0	0	0	1	3	39	5	104	1	151	152
1月	0	0	0	1	1	39	6	106	1	152	153
2月	0	0	0	1	0	35	4	112	1	151	152
3月	0	0	0	1	1	30	3	116	1	150	151
合計	0	0	0	12	23	482	38	1272	12	1815	1827

7. 協力医による相談

無料医療相談

月に1～3回程度ケアプラザへ来所して頂き、地域活動交流・地域包括支援センター事業に関する協力を実施する。現在は、無料医療相談会・医療的な講義を実施している。

開催日	区分	相談内容等	相談人数
合計		0回	0人

8. 自主事業 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

キャラバン・メイト連絡会→(仮)認知症交流会へ今年度より変更

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民（認知症サポーター）を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための連絡会と講座を開催する。

開催日	内 容	参加人数
4月10日	活動目的等の共有	1人
5月15日	活動について、コトコト初音ヶ丘S講座打ち合わせ	2人
6月12日	認知症サポーター養成講座について	2人
9月11日	活動内容の検討	3人
10月16日	活動内容の検討	3人
11月13日	活動内容の検討	2人
12月11日	認知症に関するアンケート・連携づくり	2人
1月15日	認知症事業についての意見交換	2人
合計	8回	17人

認知症サポーター養成講座

開催日	場 所	参加人数
6月20日	地域密着型通所介護コトコト初音ヶ丘（通所介護職員向け）	18人
9月26日	岩崎地域ケアプラザ多目的ホール（地域住民向け）	8人
合計	2回	26人

出張講座

地域で行っているサロン等に参加し、ケアプラザが身近な存在であることを理解して頂く。
地域包括支援センターの役割を理解して頂き、介護保険制度・介護予防の必要性や取り組み方等、いざに備え安心して生活を送っていただくことを目的に実施している。

開催日	内 容	場 所	参加人数
6月15日	岩美会「介護保険制度について」	市営岩崎住宅集会所	12人
合計	1回		12人

情報啓発等

介護予防、介護保険制度、権利擁護の周知、啓発等
来所が難しい地域住民に対して健康相談、生活相談等を受け、必要な制度資源につなげる。

開催日	内 容	場 所	参加人数
合計			0人

Ⅱ. 地域活動・交流事業 事業報告

令和6年3月末現在

地域活動・交流事業は、子どもや高齢者、障害者等、地域に暮らす全ての人たちが孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせるように地域特性に合った住民主体の地域づくりを、関係機関と連携し事業を展開しました。

また昨年度に引き続き第4期地域福祉保健計画の推進をベースとし、今まで構築してきた地域の関連機関・団体との関係をより深め、関係機関同士が相互に顔の見える関係作りから協働体制の構築が出来るように努めました。

令和5年度より保土ヶ谷地域ケアプラザ開所に伴い、担当する地域が分割され3連合地区と変更になり、今までよりもより深く連携が図れるようになり、地域包括支援課・地域生活支援課と密な連携・協働にて各地域の状況やニーズ把握に努め、地域住民と地域の目指す姿を共有できるよう努めました。

今後の自主事業の実施にあたり、地域ケアプラザ内のみならず、アウトリーチの視点を大切にし、地域に出向いた形での事業を積極的に実施していきます。

(1) 地区支援取組状況

第4期地域福祉保健計画地区別計画の推進に向けて、所長および地域包括支援課、地域生活支援課と協働し区役所、区社会福祉協議会とともに各地域の状況やニーズ把握に努めています。

地域住民主体の活動を後押しできるよう、地域住民と地域の目指す姿を共有し、住民主体の地域づくりが更に推進するよう努めています。

地 区	頻 度	参 加	内 容
保土ヶ谷地区	2ヶ月に1回 (その他必要に応じ随時)	13回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・保土ヶ谷地区ほっとなまちづくり実行委員会 (地区社会福祉協議会定例会) ・地区民生委員児童委員協議会定例会・あんしん訪問員研修 ・みんなでキッチンスタッフ会議・ご近助隊かりばスタッフ会議
保土ヶ谷中地区	3ヶ月に1回 (その他必要に応じ随時)	9回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・地区民生委員児童委員協議会 ・保土ヶ谷中地区ほっとなまちづくり実行委員会
保土ヶ谷東部地区	2ヶ月に1回 (その他必要に応じ随時)	14回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会役員会 ・ほっとなまちづくり委員会 ・地区民生委員児童委員協議会定例会 ・あんしん訪問員研修

(2) ネットワーク関係

○岩崎サポートネットワーク(ボランティア連絡会・CM連絡会・介護予防連絡会)

話し合いの場を持ち、問題を解決する方法を模索していくための連絡会です。

開催回数 0 回 参加者 0 名

○子育て支援連絡会全体会

全体会は区域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げたり、他のエリアの事例を聞き勉強し、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数 1 回 参加者 50 名

○ほどがやこどもニコニコフェスタ

誰もが安心して子育てしやすいまちづくりを推進することを目的に開催しています。

～保育士さんとあそぼうくちよっと早いクリスマス会～

開催回数 1 回 参加者 7 組

○岩崎エリア子育て支援連絡会

子育て支援連絡会は地域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げ、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数 2 回 参加者 54 名

※上記の連絡会に向けての協議や地域状況の共有等を目的とした事務局会議を適宜実施しています。

開催回数 5 回 参加者 46 名

(3) 自主事業(当初計画および状況報告)共催事業含む

計 画 事 業 名	実施日・頻度等	講 師 等	参加者	内 容
こどもランド	毎月第1、第3土曜日 10:00～14:00(全20回)	—	30名	未就園児の子と保護者対象にイベント・フリースペース等親子の集いの場、近隣保育園等との交流
ほっとフレンズ夏	7月30日	—	14名	横浜探検という目的で、親子で参加者を募り、区内コーディネーターと関係機関及びボランティアが参加者と一緒にグループを組んでヨコハマエアキャビンへ搭乗し、カップヌードルミュージアムでマイカップヌードルの作成体験行う外出企画
ほっとフレンズ春	3月21日	—	12名	ほっとフレンズ実行委員会での共同開催。区内に在住・在学のハンディのある小学生～高校生の子と保護者を対象に和太鼓体験、玉ねぎ染め体験
もくようびのすまいる	5月18日	行政書士(高橋光宏・新井秀之) コスモス成年後見サポートセンター	18名	健康測定・権利擁護事業と相談会・認知症講座
	7月20日	福祉用具(サクラサービス) 区在宅医療相談室(宮原・石原)	14名	福祉用具体験、くらしの法律相談、連絡ノート
	9月21日	司法書士(中西健太) 消費生活専門相談員(大道不二子)	7名	健康教室、くらしの相談、消費者被害に関する講座
	11月16日	司法書士(浜田咲智) 管理栄養士(森田千雅子)	7名	健康教室、くらしの相談
	1月18日	行政書士(長谷川成人) 住まい相談センター(甘粕弘志)他2名	10名	くらしの相談、高齢者の上手な住まいの探し方
	3月21日	司法書士(浜田咲智) フラダンス講師(米谷なおみ)他3名	24名	くらしの相談、おむつの無料配布。体験フラダンス
リズムあそび	毎月第1水曜日	柿崎 美也子	現在 休止中	リトミックを取り入れた音楽遊びと親子の居場所づくり デイサービスでの世代間交流
ちくちくサロン	毎月第3水曜日	—	現在 休止中	雑巾やアクリルたわしなどを作成し、近隣の施設等へ寄付する社会貢献参加型のオープンサロン

※現在、所内会議およびコーディネーター会議にてコロナによる影響で休止中の事業を早期に再開が出来るよう協議・検討を重ねています。

(4) 他ケアプラザ、関係機関等との共催事業(当初計画および状況報告)

計 画 事 業 名	実施日・実施予定日	参加者	内 容
幼稚園ママにきいちゃおう	未実施	-	保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころ共催事業、先輩幼稚園ママに入園に対する助言や日頃の生活のアドバイスや意見交換を実施

(5) 後方支援事業

自主事業等から発足した団体等の後方支援を行い、活動団体運営の安定化を図っております。

事 業 名	実 施 日	頻 度	内 容
肉体美改造計画	毎月第4金曜日	随時	介護予防普及・啓発 玄米ダンベルを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進
さくら会 コスモス会	さくら会 第2・4金曜日 コスモス会 第1・3金曜日	随時	介護予防普及・啓発 脳トレやリボンを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進 助成金申請方法や団体継続のアドバイスや相談等 必要に応じて体力測定等を実施
Gスマイル	毎月第2・4木曜日	随時	介護予防普及・啓発 椅子に座ったままできる体操の実施及びメンバー間の交流促進、団体継続や活動のアドバイスや相談等
認知症交流会	定例会 毎月第2月曜日	月1回	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民(認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための交流会を実施
アシスト岩崎	定例会 毎月第4金曜日	随時	生活支援ボランティア 団体継続や活動のアドバイスや相談等

(6) 広報誌の発行

発行回数 毎月発行 発行部数 2,000部/月
自主事業のパンフレットは、近隣自治会の掲示板にも掲示。

(7) 貸し館状況

今後ますます進展する超高齢社会において、地域ケアプラザを中心とした横浜型地域包括ケアシステムの構築と近年相談件数が大きく増加している地域ケアプラザの日中の相談支援の充実・強化を図るため、地域ケアプラザの夜間利用方法を変更しています。これまで夜間時間帯に勤務していた職員を、この変更により可能な範囲で日中勤務とすることで、高齢者の介護相談・生活相談の充実や、地域の自治会町内会、民生委員・児童委員、医療・福祉施設の皆様との連携強化など、地域支援の充実を図る目的に令和5年4月より地域ケアプラザ夜間開閉館施設として以下の対応を取らせて頂いております。

・ 月～土:9～21時(※) 日・祝:9～17時(年末年始及び月1回の施設点検日は休館)

※ 18～21時に施設予約がない場合は18時に閉館(予約のある日は21時まで開館)

・件数実績(R5.4-R6.3)

期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
多目的ホール	89件	87件	100件	100件	376件
調理室	12件	7件	14件	7件	40件
ボランティア室	2件	3件	3件	3件	11件
地域ケアルーム	28件	25件	38件	21件	112件
合計	131件	122件	155件	131件	539件

88日

89日

85日

262日

・利用率(R5.4-R6.3)/利用可能日数

別	多目的ホール	調理室	ボランティア室	地域ケアルーム
9-12時	70%	5%	2%	6%
12-15時	32%	5%	5%	9%
15-18時	4%	1%	1%	5%
18-21時	0%	0%	0%	0%

・前年度件数実績(R4.4-R5.3)

部屋別	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
多目的ホール	89件	72件	89件	93件	343件
調理室	10件	3件	9件	3件	25件
ボランティア室	9件	5件	8件	2件	24件
地域ケアルーム	21件	15件	30件	20件	86件
合計	129件	95件	136件	118件	478件

・前年度利用率(R4.4-R5.3)/利用可能日数

時間帯	多目的ホール	調理室	ボランティア室	地域ケアルーム
9-12時	53%	2%	2%	7%
12-15時	17%	2%	1%	5%
15-18時	5%	1%	1%	3%
18-21時	0%	0%	0%	0%

※小数点以下四捨五入

(8) ボランティア関係

団体名	内容	登録者数	実施回数
きさらぎの会	中途障害者の居場所づくり	11人	16回
アシスト岩崎	高齢者等のお宅の草刈、修繕、手伝いなど	10人	20回
認知症交流会	認知症サポーター養成講座の開催、打ち合わせ	3人	9回
さくら会	高齢者の健康と体力の維持・増進	20人	20回
コスモス会	高齢者の健康と体力の維持・増進	20人	23回
ご近助隊かりば	生活支援ボランティア団体	20人	30回
すぎなの会	高齢者の健康と体力の維持・増進	14人	22回
りぼんクラブ	手芸やクラフトを通しての地域交流や居場所づくり	10人	12回
桜の木体操クラブ	高齢者の健康と体力の維持・増進	20人	18回
スポーツ愛好会	高齢者の健康と体力の維持・増進	14人	13回

(9) その他

項目名	頻度	実施	内容
地域活動・交流CO連絡会	毎月1回	12回	区内他地域ケアプラザコーディネーターとの情報共有、共催事業についての協議・検討、研修会等の実施
保土ケ谷区障害者地域自立支援協議会 代表者会議全体会	随時	2回	分野・業種を問わず顔の見える関係性の構築を目指すとともに、区自立協における運営状況の共有を行う機会として実施
保土ケ谷区障害者地域自立支援協議会 こども余暇部会事務局会議	随時	-	保土ケ谷区内の障害のある児童・生徒やそのご家族が地域で安心して暮らして行くために関係機関で意見交換や課題検討を実施
アクションポート横浜連携事業	随時	-	学生と地域とつなぐアクションポート横浜と連携を図り、学生が地域の取組に参加することにより地域の活性化を図る

Ⅲ. 生活支援体制整備事業 事業報告

令和6年3月末現在

地域のインフォーマルサービスの整備や担い手の発掘、地域の基盤整備等地域の様々な活動把握を行い、ニーズに応じて運営をしております。
地域の発展やニーズに応えるため、出張講座や地域の取組への参加、介護保険事業所や民間企業との連携、協議体、自主事業等を行っております。
また、地域の見守りについて強化を図る為、担当の3地区に全てにおいて共有する機会を設け、地域と民間企業、地域ケアプラザが繋がるきっかけづくりを行っております。
地域の活動団体の継続を目標とし、継続に対するノウハウを伝えたり、共に考えることで、地域と一緒に動くことを念頭に置き支援しております。また、オンラインでの研修開催や、地域への発信方法の変更検討を重ね、地域との信頼関係が継続できるように努めております。

(1) 自主事業(生活支援課共催事業【他事業所共催含】)

事業名	実施日	講師など	参加者	内 容	開催
もくようびのすまいる	5月18日	行政書士(高橋光宏・新井秀之) コスモス成年後見サポートセンター	18名	地域住民を対象とした権利擁護相談やミニ講座、介護者のつどい、展示物による情報発信を行う。	地域包括共催
もくようびのすまいる	7月20日	福祉用具(サクラサービス) 区在宅医療相談室(宮原・石原)	14名	地域住民を対象とした権利擁護相談やミニ講座、介護者のつどい、展示物による情報発信を行う。	地域包括共催
もくようびのすまいる	9月21日	司法書士(中西健太) 消費生活専門相談員(大道不二子)	7名	地域住民を対象とした権利擁護相談やミニ講座、介護者のつどい、展示物による情報発信を行う。	地域包括共催
もくようびのすまいる	11月16日	司法書士(浜田咲智) 管理栄養士(森田千雅子)	7名	地域住民を対象とした権利擁護相談やミニ講座、介護者のつどい、展示物による情報発信を行う。	地域包括共催
もくようびのすまいる	1月18日	行政書士(長谷川成人) 住まい相談センター(甘粕弘志)他2名	10名	地域住民を対象とした権利擁護相談やミニ講座、介護者のつどい、展示物による情報発信を行う。	地域包括共催
もくようびのすまいる	3月21日	司法書士(浜田咲智) フラダンス講師(米谷なおみ)他3名	24名	地域住民を対象とした権利擁護相談やミニ講座、介護者のつどい、展示物による情報発信を行う。	地域包括共催

(2) 地域活動・団体立ち上げ・継続支援・後方支援(岩崎CP以外での活動等)

団体・活動名	地区	運営	対象	内 容	支援
ご近助隊かりば	保土ケ谷地区	保土ケ谷地区 社会福祉協議会	保土ケ谷 地区	生活支援ボランティア団体の設立・運営 (草刈り・家事・家具移動等)	運営支援
みんなでキッチン	保土ケ谷地区	保土ケ谷地区 社会福祉協議会	保土ケ谷 地区	地域食堂(狩場町東部自治会館を使用) 子供が遊べるスペースの確保・子供、高齢者限らず地域の方なら誰でも対象カレーやジャンボリアの食事を提供	後方支援

(3) 後方支援事業

岩崎地域ケアプラザ自主事業から発足した団体の後方支援を行い、団体の安定化を図っております。

事業名	実施日	頻度	内 容
肉体美改造計画	毎月第4 金曜日	随時	介護予防普及・啓発 玄米ダンベルを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進 助成金申請方法や団体継続のアドバイスや相談等
さくら会コスモス会	さくら会第2・4金 曜日 コスモス 会第1・3金曜日	随時	介護予防普及・啓発 脳トレやリボンを用いた体操の実施及びメンバー間の交流促進 助成金申請方法や団体継続のアドバイスや相談等

Gスマイル	毎月第2,4 木曜日	随時	介護予防普及・啓発 椅子に座ったままできる体操の実施及びメンバー間の交流促進 団体継続や活動のアドバイスや相談等
認知症交流会	毎月第2月曜日	月1回	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民 (認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知 症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構 築するための連絡会を実施
アシスト岩崎	定例会毎月第 4金曜日	随時	生活支援ボランティア 団体継続や活動のアドバイスや相談等

(4) 地区支援取組状況

担当する6地区の会議等に参加し、地域のニーズや目指す方向性の確認、検討を行っております。

地 区	頻度	参 加	内 容
保土ケ谷地区	定例会は 2ヶ月に1回 (その他必要 に応じ随時)	13回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・保土ケ谷地区ほっとなまちづくり実行委員会 (地区社会福祉協議会定例会) ・地区民生委員児童委員協議会定例会・あんしん訪問員研修 ・みんなでキッチンスタッフ会議・ご近助隊かりばスタッフ会議
保土ケ谷中地区	定例会は 3ヶ月に1回 (その他必要 に応じ随時)	9回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・地区民生委員児童委員協議会 ・保土ケ谷中地区ほっとなまちづくり実行委員会
保土ケ谷東部地区	役員会は 2ヶ月に1回 (その他必要 に応じて参加)	14回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会役員会 ・ほっとなまちづくり委員会 ・地区民生委員児童委員協議会定例会 ・あんしん訪問員研修

(5) 生活支援取組状況

生活支援関係のニーズ把握や、地域との関係作りの為、下記の取組を行って参りました。
地域包括支援センター、地域活動交流事業と連携を図り、地域からの講座依頼等には、積極的に参加や協力をしております。

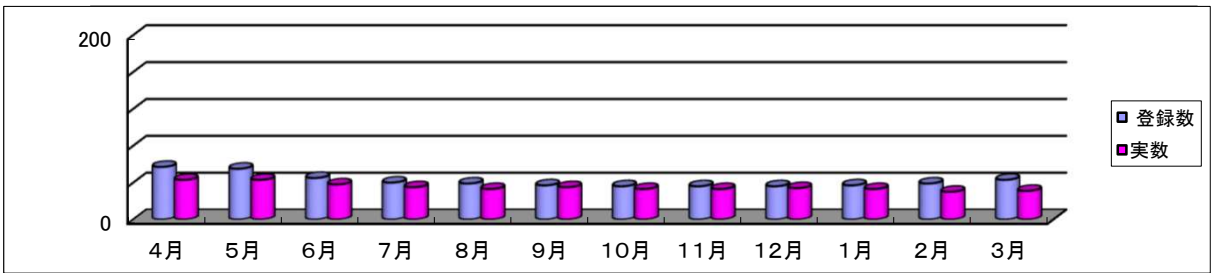
参加項目名	内容	頻度	参加
生活支援Co連絡会の開催	区版指針の作成、他のコーディネーターの取組の共有、研修報告、勉強会等の実施	毎月1回	12回
地域の取組への参加	福祉教育、防災訓練、交流会、民生委員会、お祭り等への参加及び生支援体制整備事業の周知	随時開催	5回
生活支援関係研修への参加	生活支援コーディネーター研修・共通研修、介護予防研修(情報交換、Ayamu、勉強会)	随時開催	9回
所内5職種会議への参加	地域包括・地域活動・生活支援での合同会議により、各課の情報共有と業務の進捗状況の把握	毎月1回	12回
地区別データの分析	各地区の高齢化率、人口、インフォーマルサービス等を一覧として整理し、分析を行う		
地域包括支援課総合相談表分析	地域包括支援課総合相談票より、課題ニーズの把握と分析(生活支援の部分を中心に)		

Ⅳ.居宅介護支援事業 事業報告

令和6年3月末現在

1. サービス利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	57	55	45	40	39	37	36	36	36	37	39	43	500
実数	43	43	38	35	33	35	33	33	34	33	30	31	421
割合	75.4%	78.2%	84.4%	87.5%	84.6%	94.6%	91.7%	91.7%	94.4%	89.2%	76.9%	72.1%	84.2%
前年実数	62	63	62	62	60	60	58	55	57	55	55	56	705

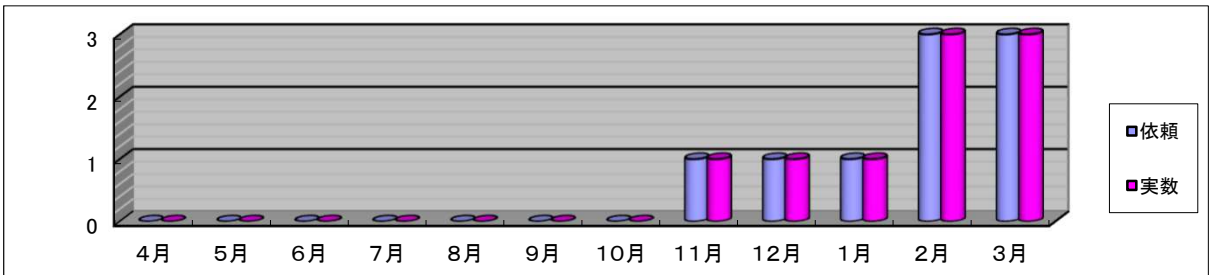


2. 新規サービス開始

令和6年3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
依頼	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	4	10
実数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	4	10
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	30.0%	40.0%	100.0%

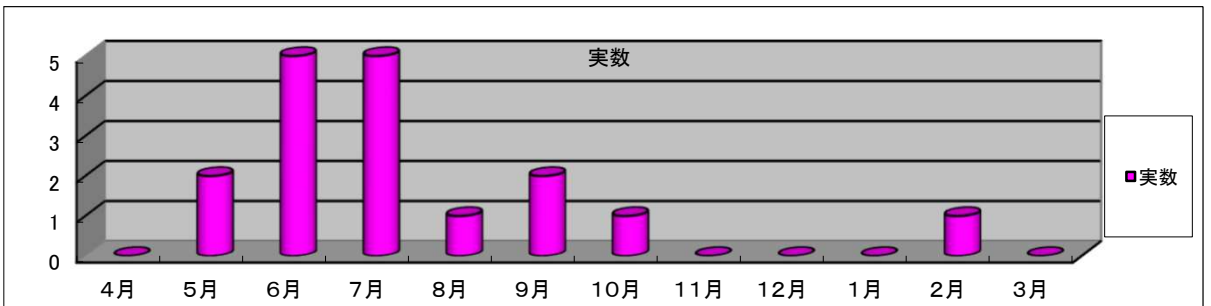
担当件数は、介護給付35件、予防給付8件とする。入院・入所者等の状況に合わせて件数を調整する。



3. サービス利用中止

令和6年3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	57	55	45	40	39	37	36	36	36	37	39	43	500
実数	0	2	10	5	1	2	1	0	0	0	1	0	22

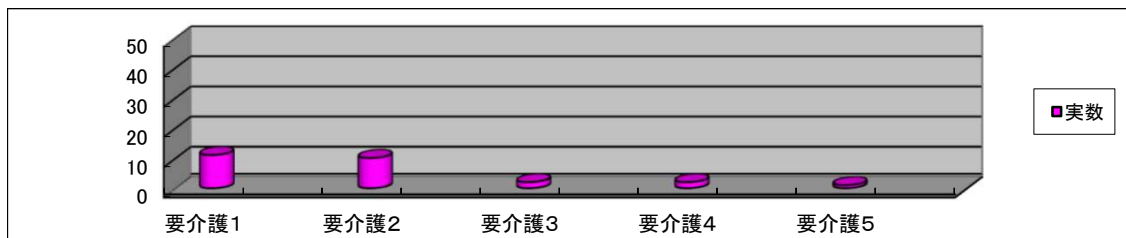


4. 介護度別実績

令和6年3月末現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実数	12	11	3	3	2	31

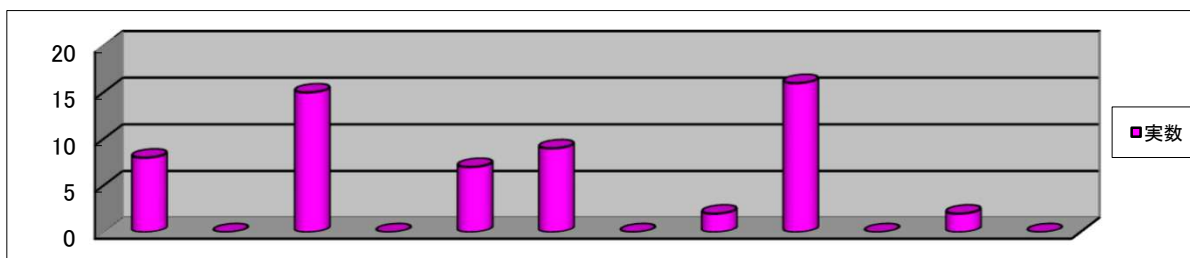
※月末日において認定結果が出ていない方は除いています。



5. サービス種類別分布

令和6年3月末現在

	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通所介護	通所地域	通所認知	通所リハ	福祉用具	療養管理	短期入所生活介護	短期入所療養介護	合計
業者数	5	0	8	0	2	6	0	1	7	0	2	0	31
実数	8	0	15	0	7	9	0	2	16	0	2	0	59
割合	13.6%	0.0%	25.4%	0.0%	11.9%	15.3%	0.0%	3.4%	27.1%	0.0%	3.4%	0.0%	100.0%

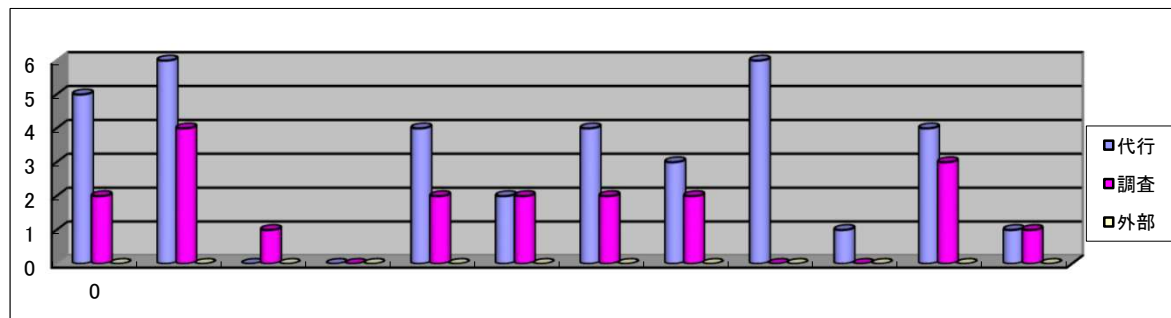


6. 認定調査申請代行件数・認定調査(調査:通常 外部:市外等)実施件数

令和6年3月末現在

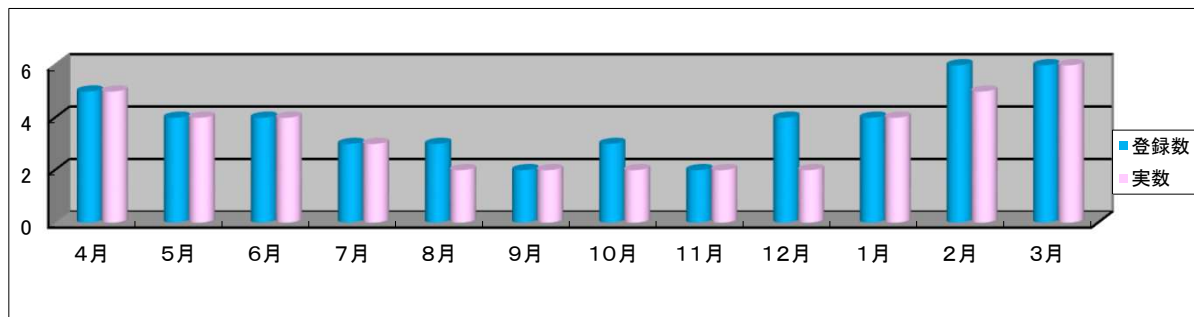
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
代行	5	6	0	0	4	2	4	3	6	1	4	1	36
調査	2	4	1	0	2	2	2	2	0	0	3	1	19
外部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

申請代行は、担当している件数。認定調査は、担当者分＋地域包括支援課からの依頼分含む。



7. 介護予防利用者実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	5	4	4	3	3	2	3	2	4	4	6	6	46
実数	5	4	4	3	2	2	2	2	2	4	5	6	41
割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%	50.0%	100.0%	83.3%	100.0%	89.1%
前年実数	13	12	12	13	13	15	14	14	14	13	14	15	162



8. まとめ

令和5年4月1日に横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザの開所に伴う人事異動、また定年退職による介護支援専門員の人数が減少(2名)することにより、利用者数が激減しました。

令和5年10月1日に新任職員が入職するも経験がなく少数人数から進めていくので収支が厳しい状況である。(目標は月に4件以上のペースで実施予定)

また主任介護支援専門員の有資格者が減り、特定事業所加算の算定もできず、収支にも大きく影響している状況である。

現在の要介護度別利用割合は要介護1 38.71% 要介護2 35.48% 要介護3 9.68%
要介護4 9.68% 要介護5 6.45%となっています。

V.通所介護事業 事業報告

令和6年3月末現在

今年度も、引き続きコロナウイルス感染症予防対策を行いながら、レクレーションや生活リハビリの個別化、送迎範囲を広げより多くの方にご利用していただけるように、様々な事業展開を行ってまいりました。身体を動かす機会がない方に簡単で分かり易い体操を考案し楽しみながら自然に体を動かしてもらいました。ゆったりと思い思いの時間を過ごしていただけるように楽しい雰囲気作りを目指し、介護支援専門員と相談しながらサービス提供を行いました。

1 利用実績 (令和5年 4月 1日 ~ 令和6年 3月31日までの実績)

	予防	介護	全体
総利用人数	1193名	6672名	7865名
総可動日数	359日	359日	359日
平均利用者人数	3.3名	18.5名	21.9名

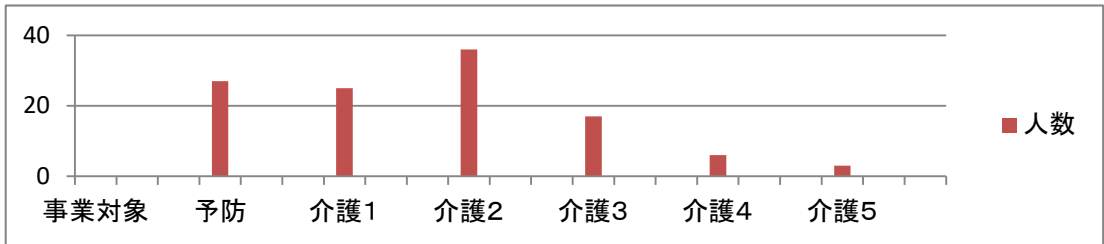
2 申し込み状況 (延べ件数)

申し込み件数 29 件 開始件数 19 件 中止 38 件

中止理由 ① 死亡 8件 ③ 入院 1件 ⑤ 体調不良 3件 ⑦ 転居 2件
 ② 入所 15件 ④ 不希望 4件 ⑥ 他施設利用 5件 ⑧ その他 0件

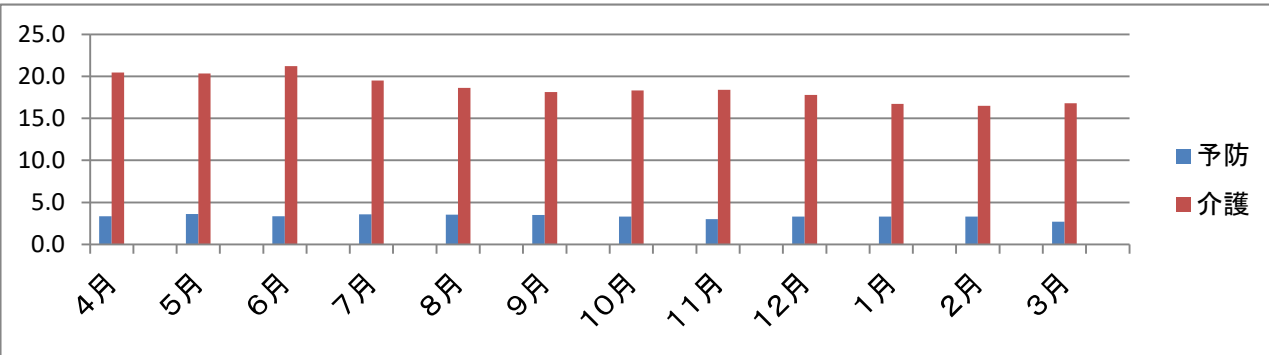
3 要介護度別利用人数と割合

	事業対象	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
登録	0名	14名	12名	38名	15名	9名	6名	94名
実数	0名	14名	12名	34名	15名	7名	6名	88名
%	0.0%	15.9%	13.6%	38.6%	17.0%	8.0%	6.8%	100.0%



4 月別利用人数と平均

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
予防	101	112	100	111	110	105	103	91	92	92	92	84	1193 名	予防
介護	614	630	636	605	577	544	568	551	497	468	461	521	6672 名	介護
全体	715	742	736	716	687	649	671	642	589	560	553	605	7865 名	全体
日	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359 日	日
予防	3.4	3.6	3.3	3.6	3.5	3.5	3.3	3.0	3.3	3.3	3.3	2.7	3.32 名	予防
介護	20.5	20.3	21.2	19.5	18.6	18.1	18.3	18.4	17.8	16.7	16.5	16.8	18.58 名	介護
全体	23.8	23.9	24.5	23.1	22.2	21.6	21.6	21.4	21.0	20.0	19.8	19.5	21.908 名	全体
前年人数	783	799	748	729	689	768	750	784	656	675	676	766	8823 名	全体

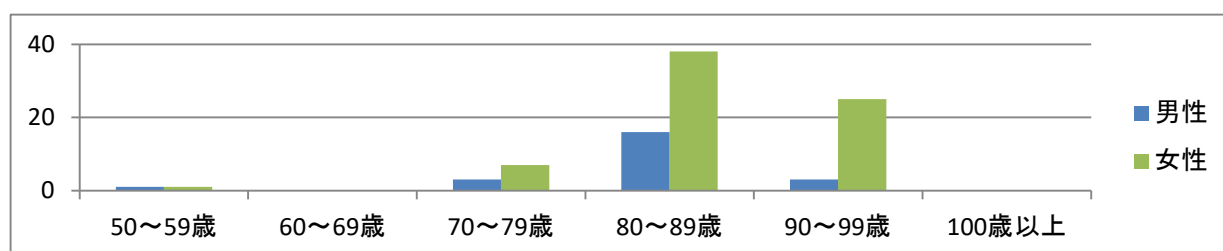


5 町別利用者数 (登録者94名の内訳)

1	岩井町	7名	7	神戸町	1名	13	初音ヶ丘	11名	19	保土ヶ谷	3名
2	岩崎町	15名	8	桜ヶ丘	10名	14	花見台	2名	20	峰岡	0名
3	岩間町	5名	9	瀬戸ヶ谷	6名	15	藤塚町	0名	21	明神台	2名
4	霞台	12名	10	月見台	3名	16	仏向町	1名	22	狩場	7名
5	帷子町	3名	11	天王町	0名	17	法泉	1名	23	その他	1名
6	川辺町	1名	12	西久保	3名	18	星川	0名	24		
										合計	94名

6 利用者平均年齢

	男性	女性		男性	女性
最高年齢	95歳	98歳	50～59歳	1名	1名
最低年齢	58歳	57歳	60～69歳	0名	0名
平均年齢	83.1歳	86.7歳	70～79歳	3名	7名
全体の平均	85.8歳		80～89歳	16名	38名
人数構成	23名	71名	90～99歳	3名	25名
			100歳以上	0名	0名



7 依頼居宅支援事業者 (総件数 94件の内訳)

他事業所	88件 (26事業所)	自事業所	6件 (包0件)
------	---------------	------	----------

8 年間行事

4月	10月	避難訓練 (1週間)
5月	11月	
6月	12月	クリスマス会
7月	1月	
8月	2月	
9月	3月	節分レクリエーション

9 まとめ

令和5年度の月間目標平均人数は、24.3名と設定しておりますが、令和5年4月から令和6年3月までの月の平均人数は21.9名となり、目標を2.4名少ない結果となりました。

入所される方が多く、登録者数が減っている状況です。新規利用者を確保するも、利用拒否等あり、利用に繋がっていない現状です。

今後、登録者数を増やし安定した利用ができるよう、他事業所や介護支援専門員との連携強化をより一層行って参ります。また、新規利用者の柔軟かつ早急な受け入れ態勢を整え、利用者・家族のニーズに合わせたサービスの提供が出来るように内容の見直し検討を行って参ります。

今後も、安定した運営ができるよう詳細な部分も考慮するとともに、臨時利用、欠席の振り替えを積極的に行い、利用者及びご家族様により安心したサービス提供できるように努めてまいります。

また、認知症加算が取れるように、職員の研修を実施してまいります。

個別機能訓練やニーズに合わせたプログラムの提案、送迎範囲の検討、パンフレットの配布、事業所の挨拶周り、他部署との連携等、他事業所との関係づくりを積極的に行い、利用者のニーズに応えられるようにサービスを提供して参ります。

令和5年度 横浜市常盤台地域ケアプラザ事業報告

＜施設理念＞

- (1) 明るく誰もが温もりを感じることでできる施設運営の実現
- (2) 地域住民主体で夢のあるコミュニティづくりの支援
社会福祉法人なでしこ会は、福祉保健サービスを必要とされる方に対して、個々のニーズに即した積極的な援助を行っていきます。

＜事業目的＞

- (1) 地域ケアプラザの果たすべき役割である「地域における市民の健康で安心・安全な生活」の実現に向けて、横浜市と連携・協働して活動します。
- (2) 福祉・保健の拠点として地域に根差し、「地域包括ケア」推進機関として、また各種自主事業実施施設として具体的な目標設定をして事業運営を行います。
- (3) 介護保険事業に関しては、介護保険法の運営基準に従いながら、ご利用者様満足度の高いサービスの実現を図ります。

＜施設全体として～振り返り～＞

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、手指消毒、体温計測等基本的な感染予防対策を任意でお願いいたしました。
- (2) 第4期地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり)の推進に向けて、連合町内会毎に、支援チームの一員として地区懇談会にケアプラザ職員が参加し、地区別計画推進の一助を担いました。
- (3) 横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた『保土ケ谷区アクションプラン』を踏まえた『地域包括ケア』関連事業として、介護予防、認知症支援、ケアマネジャー支援、権利擁護等を実施しました。
- (4) 横浜国立大学(常盤台まちづくり応援団)と協働でワークショップを企画し、『遊べる椅子づくり』をテーマに6回開催しました。小中学生も交えて椅子づくりを製作しました。
- (5) コミュニティハウスとの共催イベント『秋の利用者発表会』『桜バザー』を開催しました。
- (6) 7月『七夕コンサート』を横浜国立大学吹奏楽団のアンサンブルグループによる演奏で開催致しました。
- (7) 常盤台小学校3年生の社会学習施設見学を3年ぶりに実施しました。
- (8) チームオレンジのモデル事業を受託して、認知症カフェを実施しました。
- (9) 地域包括支援センターは人員欠員がありましたが、所長及び4職種でカバーしながら事業実施に努めました。
- (10) デイサービスは新規利用者獲得に向けた営業活動を実施しました。また、個別機能訓練加算の算定を始めました。
- (11) 事故・苦情については、10月、居宅介護支援事業管理者の介護支援専門員証有効期限切れが判明したため、管理者の交代及び介護報酬返還額の積算を行いました。
介護報酬返還については横浜市の精査、返還額確定後に実施いたします。(令和6年度中)
- (12) 昨年度から継続して経営改善計画を実施しました。支出削減効果はみられましたが、大幅な収入増には及びませんでした。

＜令和6年度に向けた課題＞

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策の継続。
- (2) 『横浜型地域包括ケアシステムの構築』を踏まえた『地域包括ケア』関連事業の継続推進。
(地域ケア会議、多職種連携、介護予防、認知症支援(チームオレンジ等)、ケアマネジャー支援、権利擁護等)
- (3) 第4期 保土ケ谷区地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり)の推進。
- (4) 高齢者だけでなく、子育て世代や障がい者も含めた多様な地域住民に向けた事業展開。
- (5) 生活支援の充実。地域アセスメントに基づく見守り・支え合いの仕組みづくり。
- (6) ボランティアの発掘・育成と活動範囲の拡充。
- (7) 5職種連携の推進と地域課題の共有。
- (8) 『羽沢横浜国大駅』周辺地域におけるまちづくりの提案。
- (9) コンプライアンス対策の推進。苦情をきっかけとした施設運営の改善。資格証の有効期限確認の徹底。
- (10) 経営状況の改善。収入増につながる利用率の向上と経営収支の改善を目指す。
- (11) 自然災害及び感染症拡大に対応する業務継続計画(BCP計画)の推進及び訓練の実施。

I. 地域包括支援事業 事業報告

令和6年3月末現在

地域包括支援センターは、高齢者の皆様が住み慣れた地域でいつまでも充実した毎日を過ごすために総合的な相談・支援を行う機関であり、3職種・介護予防プランナーにてお互いに連携して日常生活の支援や様々な相談に応じています。事業内容は総合相談支援・権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント、自主事業を実施している。

各事業毎の実績は以下の通りである。

1. 総合相談・支援事業 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

地域の高齢者等に対して面接、電話等による相談を実施し、必要な支援内容を把握するとともに、地域における適切な機関、制度、サービスの利用に繋げる等の支援を行うほか、相談者からの依頼を受けて必要がある場合に、相談者の自宅等を訪問し、安否確認、情報提供、各種福祉保健サービスの申請受付等に努めている。

相談事業実績 合計 756 件 前年度(3月末日) 1485 件

利用方法別

分 類		手 段			時 間 帯	
新規	継続	面接	電話	FAX・その他	9～17	17～21
223	533	109	645	2	754	2
合計	756 件	合計	756 件	合計	756 件	

対象者別 合計 188 件 ※ 把握出来ている対象者のみ

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
1	0	140	175	0	17	0

相談者別 合計 774 件 (重複有り)

本人	家族	地域住民	サービス事業者	施設・医療	区役所	区社協	他のケアプラザ	その他
99	369	27	145	67	54	1	8	4

相談内容別 合計 870 件 (重複有り)

介護保険	介護予防事業	包括支援事業	行政サービス	インフォーマル	介護医療	施設入所入院	日常生活課題	苦情	成年後見	虐待	その他
557	9	0	5	15	37	54	109	13	17	17	37

訪問事業実績 合計 10 件 前年度(3月末日) 21 件

利用方法別

分 類		訪 問 先			時 間 帯	
新規	継続	家庭	病院・施設	その他	9～17	17～21
8	2	10	0	0	10	0
合計	10 件	合計	10 件	合計	10 件	

対象者別 合計 10 件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
0	0	0	0	10	0	0

援助内容別 合計 18 件 (重複有り)

安否確認状況確認	介護・保健等指導助言	申請受付		他機関等とのサービス調整	情報提供	その他
		介護保険	行政サービス			
10	2	2	0	4	0	0

2. 地域ケア会議

多職種による個別事例の検討を通じ、高齢者の自立に資するケアプランにつなげていくとともに、個別事例の検討を積み重ねることによって、地域課題を発見し、新たな資源開発につなげていく。

個別地域ケア会議

(令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

開催月	内 容	参加人数
5月	認知症独居高齢者の生活支援についての地域住民との連携	14人
合計	1回	14人

3. 権利擁護事業

(令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

福祉保健関係者とのネットワークを構築し、支援を要する方を早期発見し相談に繋がられるように体制を整備すると共に、研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。また、地域の方へ情報を提供している。

認知症連絡会・虐待担当者会議(保土)

開催月	内 容	参加人数
4月	認知症担当者部会	15人
6月	認知症担当者部会	16人
8月	認知症担当者部会	13人
10月	認知症担当者部会	13人
12月	認知症担当者部会	15人
2月	認知症担当者部会	14人
合計	6回	86人

認知症・権利擁護関係研修

職員が研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めている。

開催月	内 容	参加人数
7月	チームオレンジ研修	1人
合計	1回	1人

4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

地域における包括ケア体制の構築のために地域の介護支援専門員を対象とした専門家との相談会、研修会・意見交換会(ケアマネ連絡会、合同ケアマネ連絡会、地域ケア会議)を実施している。また、地域の方々へ情報発信とは別に介護・医療セミナーを開催している。

ケアマネ連絡会

開催月	内 容	参加人数
5月	合同ケアマネ連絡会「医療連携が必要なケースの事例検討会」	40人
5月	ときわの輪「脳血管疾患のリハビリテーション」	34人
6月	合同ケアマネ連絡会「リハビリ職の専門性を学ぼう」	39人
7月	ときわの輪「ヤングケアラーの現状」	15人
9月	ときわの輪「事例検討」	15人
9月	合同ケアマネ連絡会「生活保護のイロハ」	55人
11月	合同ケアマネ連絡会「成年後見制度・実際の利用について」	50人
11月	ときわの輪「難病ケアマネジメント」	10人
12月	主任ケアマネジャー対象「地域包括ケアシステムから地域資源を考える」	14人
12月	合同ケアマネ連絡会「人工透析の知識を身につけよう」	40人
1月	ときわの輪「ケアマネジャーに求められる地域包括ケアの視点」	15人
2月	合同ケアマネ連絡会「訪問診療との連携」	62人
3月	ときわの輪「栄養ケアマネジメント」	17人
合計		406人

サービス担当者会議の開催支援や抱えている困難事例等への相談支援の実施。また新任・就労予定のケアマネジャーが円滑に業務が進められるよう、区単位で実習の受入調整・支援を実施している。

ケアマネジャー相談支援

	相談件数	相談内容														対応										
		行政サービス情報関連	地域情報関連	ケアプランの作成・内容等	支援困難事例への内訳										制度・行政サービス等の説明・情報提供 地域情報の提供 言・指導	対応・他機関との調整							同行訪問	その他		
					認知症	精神疾患	ターミナル	医療的支援	独居・高齢世帯介護力不足	サービスの支援拒否	家族の対応・支援	経済的問題	虐待	費用被害		成年後見制度・消	その他	居宅サービス事業者等	インフォーマルサービス	在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）	施設・医療機関	区役所			その他	
4月	3人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
5月	11人	0	0	1	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0	7	0	1	0	0	1	0	0	1	2	0	9
6月	8人	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	5

7月	11人	0	0	0	1	1	0	1	1	0	4	2	1	0	4	1	0	0	2	0	0	0	2	1	0	6
8月	11人	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2	0	0	5	0	0	0	2	1	0	0	3	1	0	5
9月	3人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
10月	3人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
11月	0人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	10人	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	3	0	3	2	3	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0
1月	7人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人
2月	13人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	4人	1人	0人	0人	3人	0人	0人	0人	3人	1人	0人	0人	2人	0人	0人	0人
3月	8人	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	88人	0人	0人	1人	6人	1人	0人	1人	6人	4人	23人	12人	3人	4人	33人	7人	1人	0人	8人	3人	1人	0人	0人	5人	0人	36人

新任・就労予定ケアマネジャー研修

開催月	内 容	参加人数
9月	横浜市一般行政サービス・社会福祉協議会・資源循環局サービス等座学	12人
11月	個々の課題に向けて(介護予防プランを中心に)個人指導	2人
合計		14人

地域密着型サービス運営推進会議他

地域密着型サービスの運営推進会議参加。運営状況等確認、アドバイス。

開催月	内 容	参加人数
4月	小規模多機能型居宅介護(うの花)	5人
5月	認知症対応型共同生活介護(セントケアホーム)	4人
5月	認知症対応型共同生活介護(みんなの家横浜三ツ沢公園)	6人
9月	地域密着型通所介護(ボンジュール)	0人
9月	地域密着型通所介護(fureai和田町)	4人
9月	小規模多機能型居宅介護(メープル岡沢館)	5人
10月	デイサービス ふるさと和田町	3人
10月	デイサービス 輝きライフ 保土ケ谷	3人
1月	合同運営推進会議(15事業所)	24人
1月	ラポール三ツ沢	7人
合計	10回	61人

5. 介護予防事業

(令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

介護予防の普及啓発活動や地域からの情報提供、本人・家族からの相談等、様々な経路から情報収集を行い、要介護状態になる可能性が高い高齢者を早期に把握するよう努めている。新型コロナウイルス感染症予防を継続しながら、自主化を目指した講座の開催や、フレイル予防のための居場所として新規事業を立ち上げ、介護予防に対する取り組みを行っている。コロナ禍の影響を受けて活動意欲や参加者が減少している既存の活動グループの支援を行いながら事業を展開していく。

介護予防事業実績

介護予防普及啓発事業 合計

開催日	事業名	内容	参加人数
4月～	健康講座～生活習慣病予防シリーズ～	動脈硬化の予防、脱水・熱中症予防・動悸・不整脈となる生活習慣を	70人
4月～9月	サロンドウ きらめき	高齢者の居場所づくり。手芸や脳トレ、体操、消費者被害防止など内容	27人
4月～9月 月1回(第3火)	シャキトレ!	生活に取り入れられるロコモ予防の運動	49人
4月～9月 月1回(第2水)	コーヒー講座(男性かがやき塾)	おいしいコーヒーの淹れかたの知識と実践	32人
4月～9月 月2回(第2・4)	ゆるのび運動(夏期は休会)	貯筋運動、わがまち保土ヶ谷体操、脳トレなど	7人
6月5日	ゆうゆうサロン	体力測定	10人
6月6日	ノルディックウォーキングin新横浜公園	講師の指導の下、ノルディックウォーキングを行う	15人
6月21日	きらきら長寿ときめき塾inつながりサロン①	フレイル総論、ロコモ・フレイル予防＋口腔機能向上	10人
6月26日・7月24日	きらきら長寿ときめき塾inたまり場(2回)	口腔機能向上(オーラルフレイル)・ロコモ予防・脳トレ	53人
6月22日・7月3日	きらきら長寿ときめき塾(3回)	コグニサイズで転倒予防・脳トレ、栄養講座、口腔機能向上	34人
9月14日	チームオレンジ(峰沢団地)	介護予防体操・脳トレを自主的に実施していくポイントを学ぶ	14人
8月17日	尿漏れ講座inふらっと109	花王の講師による尿漏れ講座	26人
10月～3月	サロンドウ きらめき	高齢者の居場所づくり。手芸や脳トレ、体操、消費者被害防止など内容	30人
10月～3月 月1回(第2水)	コーヒー講座(男性かがやき塾)	おいしいコーヒーの淹れかたの知識と実践	42人
10月～3月	ゆるのび運動	貯筋運動、わがまち保土ヶ谷体操、脳トレなど	12人
10月～3月	シャキトレ!	生活に取り入れられるロコモ予防の運動	23人
1月31日	アートde脳トレ	手先を使い固定概念にとらわれない創作活動(クレパスでの描画)	15人
2月21日	きらきら長寿ときめき塾inつながりサロン	ロコモ予防・脳トレ	15人
2月22日	音楽de脳トレ	音楽で心と体と頭を使う。	10人
合計	38回		494人

介護予防活動支援事業 合計

開催日	事業名	内容	参加人数
4月5日～(毎水曜)	ときもり倶楽部	わがまち保土ヶ谷体操・脳トレ	44人
6月10日	ときわステップ会	スクエアステップ	14人
5月22日	常盤台北部サロン	フレイル予防について	13人
7月19日・8月16日	プルメリア	フラダンスを楽しみながら体力作り	18人

9月7日	グループリーダー連絡会(運動系)	理学療法士より体力測定の方法、体操の指導	24人
10月11日・2月13日	ときわの森体操教室	理学療法士より体力測定の方法、体操の指導	13人
10月16日	グループリーダー連絡会	理学療法士より体力測定の方法、体操の指導	13人
10月20日・11月1日	ときわステップ会	運営に関する後方支援	8人
12月6日	スクエアステップリーダー連絡会	運営に関する後方支援、スキルアップ	11人
1月17日	プルメリア	きらりシニア塾認定	10人
1月18日	レンガ坂	理学療法士より体力測定の方法、体操の指導	14人
2月15日	ふらっと109	理学療法士より体力測定の方法、体操の指導	21人
3月25日	常盤台北部サロン	フレイル予防について啓発	18人
合計			221人

6. 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業

(令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

「要支援1」「要支援2」に認定された方の介護予防支援サービス・支援計画書の作成を実施している。

また、業務の一部を居宅介護支援事業者の介護支援専門員に委託できることとなっており、介護予防支援サービス・支援計画書作成委託契約の上、介護予防支援、介護予防ケアマネジメントをお願いし、管理・実施をしている。

介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業実績

指定居宅介護支援事業所に委託している件数 延合計 2893人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	委託利用者数
新規	15	7	9	19	7	8	9	8	4	10	7	6	109
継続	227	232	238	214	224	229	235	245	239	240	231	230	2784
合計	242	239	247	233	231	237	244	253	243	250	238	236	2893

	直 接				委 託				直接	委託	合計
	要支援1		要支援2		要支援1		要支援2				
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続			
4月	0	4	0	5	4	81	11	146	9	242	251
5月	0	2	0	6	3	77	44	155	8	239	247
6月	0	3	0	6	5	89	4	149	8	247	255
7月	0	3	0	4	11	67	8	147	7	233	240
8月	0	3	0	4	5	84	4	145	7	231	238
9月	0	3	0	4	5	84	4	145	7	237	244
10月	0	3	0	4	4	82	5	153	7	244	251
11月	0	3	0	4	4	86	4	159	7	253	260
12月	0	3	0	4	3	84	1	155	7	243	250
1月	0	3	0	4	7	84	3	156	7	250	257
2月	0	3	0	4	4	86	3	145	7	238	245

3月	0	3	0	4	2	83	4	147	7	236	243
合計	0	36	0	53	57	987	95	1802	88	2893	2981

7. 協力医による活動

無料医療相談、その他

定期的にケアプラザへ来所して頂き、地域活動交流・地域包括支援センター事業に関する協力をしていただく。
新型コロナウイルス感染症により依頼が困難な状況は続いているが、今後も協力を求めている。

開催日	区 分	相談内容等	相談人数
5月11日	ケアプラザ	個別地域ケア会議	14名
6月28日	ケアプラザ	運営協議会	23名
10月25日	ケアプラザ	運営協議会	25名
10月26日	ケアプラザ	地域住民の相談	2名
合計		4回	64名

8. 自主事業

(令和5年4月～令和6年3月末まで)

キャラバン・メイト連絡会

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民(認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための連絡会と講座を開催する。

開催日	内 容	参加人数
7月20日	保土ヶ谷区キャラバンメイト連絡会	40人
合計	1回	

認知症サポーター養成講座

開催日	場 所	参加人数
7月6日	常盤台地域ケアプラザ(常盤台小学校3年生)	28人
7月13日	常盤台地域ケアプラザ(常盤台小学校3年生)	28人
7月14日	常盤台地域ケアプラザ(常盤台小学校3年生)	27人
6月15日	スターバックス天王町(スターバックススタッフ)	10人
11月22日	横浜国立大学「都市科学部」	54人
12月20日	上星川地区社会福祉協議会「つながりサロン」	21人
1月26日	中央東部地区地域住民(岡沢町自治会館)	13人
2月28日	中央東部地区地域住民(峰沢町岡沢町自治会館)	29人
合計	8回	210人

出張講座

地域ケアプラザ並びに地域包括支援センターの役割や、介護予防、各種制度の周知等に加えて、地域の高齢者の実態把握を目的に実施している。また、地域の希望に応じて介護予防普及啓発の講座や健康講座も実施している。

今後も状況を確認しながら感染対策を実施し、短時間での開催など実施方法についても検討していく。

開催日	内 容	場 所	参加人数
3月6日	エンディングノートの活用について	ラポール三ツ沢(桜台ハイツ住民)	23人
3月4日	消費者被害防止について	ゆうゆうサロン	15人
合計	2回		38人

情報啓発等

介護予防、介護保険制度、権利擁護の周知、啓発等

来所が難しい地域住民に対して健康相談、生活相談等を受け、必要な制度資源につなげる。

開催日	内 容	場 所	参加人数
8月18日	常盤台民児協定例会(介護保険制度について)	常盤台地域ケアプラザ 多目的ホール	13人
合計	1回		13人

チームオレンジ

認知症サポーターの近隣チームを、認知症の人や家族に繋ぎ、生活面の早期からの支援等を行います。

今年度は以下のような取り組みが行われました。

開催日	内 容	場 所	参加人数
7月6日、8月18日、	Nカフェinイオン天王町スターバックス	天王町スターバックス	22人
6月15日	イオン天王町スターバックスステップアップ講座	天王町スターバックス	10人
9月14日	フォローアップ研修	峰沢団地	14人
11月2日	オレンジガーデン 花の植え替え	常盤台地域ケアプラザ	———
11月2.3日	ときわ祭(アンケート・周知活動)	横浜国立大学キャンパス	273人
11月5日	峰沢団地子供会芋ほり畑でクイズ大会	峰沢団地近隣の畑	26人
11月27日	高齢者疑似体験「年を取るってどういうこと？」	常盤台地域ケアプラザ	6人
11月22日	横浜国立大学認知症ステップアップ講座	横浜国立大学構内	54人
12月20日	つながりサロン ステップアップ研修	上星川東部自治会館	21人
3月2日	「オレンジランプ」上映会&若年性認知症当事者の話	常盤台地域ケアプラザ	30人
3月10日	さくらバザー オリジナルチャーム販売・周知活動	常盤台地域ケアプラザ	70人
合計	11回		526人

Ⅱ. 地域活動・交流事業 事業報告

令和6年3月末現在

地域活動事業は、子どもや高齢者、障がい者等、地域に暮らす全ての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせる地域づくりを推進できるよう努めています。住民主体の地域づくりが推進するよう、地域福祉保健計画を軸とした事業展開を行い、子育て、障がい、高齢、ボランティア等の福祉に関する事業を実施します。

ケアプラザは4連合地区を担当している為、ケアプラザでの実施だけではなく地域に出向いた形での出張講座をケアプラザ主催もしくは関係機関等と共催にて実施し、様々な交流の場を提供致します。

また、福祉保健活動拠点としての役割を更に活かすため、地域のボランティア団体・自治会との連携を図り、活動団体団体へ向けた部屋利用促進も図っています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、コロナ禍の状況でも地域活動を後押しすることができる取組等の検討を区役所および区社会福祉協議会と重ね、地域との信頼関係が継続できるように努めております。

(1) 地区支援取組状況

第4期地区別計画策定・推進に向けて、所長および地域包括支援課、地域生活支援課と協働し、区役所、区社会福祉協議会とともに各地域の状況やニーズ把握に努めています。

地域住民主体の活動を後押しできるよう、地域住民と地域の目指す姿を共有し、住民主体の地域づくりが更に推進するよう努めています。

地 区	頻度	参 加	内 容
常盤台地区	毎月第1金曜日	12回	羽沢横国まちづくり協議会 広報部会での「地域まちづくりニュース」の作成
生活支援体制整備事業(4)を参照			

(2) ネットワーク関係

○子育て支援連絡会全体会

全体会は区域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げたり、他のエリアの事例を聞き勉強し、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数 1 回 参加者 90 名

○常盤台エリア子育て支援連絡会

子育て支援連絡会は地域で子育て支援を行っている施設や団体、個人の子育て支援を広げていくために開催され

ています。一例として公園マップを作成し完成しました。又、関係機関とのネットワークをを広げていくための情報交換の場として開催されています。

開催回数 2 回 参加者 32 名

・6月8日：子育て情報発信および受取についての整理・共有について(24名)

※上記の連絡会に向けての協議や地域状況の共有等を目的とした事務局会議を適宜実施しています。

開催回数 4 回 参加者 23 名

・2023/4/20・5/23・6/23・2024/2/1常盤台地区子育て支援事務局会議

・2023/6/29・9/8 常盤台地区支援チーム会議

・2023/7/6・13・14 常盤台小学校認知症サポーター養成講座へ参加

(3) 自主事業(当初計画および状況報告)

計 画 事 業 名	実 施 日・頻 度	講 師 な ど	参 加 者	内 容
ときわの森 子育て広場	毎月第4 木曜日	佐藤 亜紀氏 緑川真紀子氏	138名	4月絵具でらくがきしてあそぼう(手形アート作り),5月「音とリズム遊び」&小物づくり,6月音楽に合わせて親子で楽しくおどろう,9月秋のミニ運動会&乳児期の歯磨きについて,10月「音とリズム遊び」～ハロウィンパーティーだよ!,11月音楽に合わせて親子で楽しくおどろう,R6年1月わくわくお話し会&おやつ試食会(ヘルスメイト),2月ミニコンサート(手遊び歌など)作り楽器でみんなで歌おうと地域見守る認知症についての紙芝居を開催。
ときわの森 らくらくストレッチ体操教室	毎月1回 末頃	緑川真紀子氏	100名	無理なく安全に椅子に座って行うストレッチ体操。講師の楽しい会話を交えながら分かりやすい動きで進める。令和5年4/22,5/23,6/29,7/31,9/29,10/31,11/30,令和6年1/23,2/29,3/23全10回を開催しました。

ときわの森 美と健康体操	毎月第1、3水 曜日	仲保裕美子氏	289名	ストレッチ・体幹トレーニング・筋力アップ・骨盤調整など少しづつ取り入れて、身体状況を見ながら上記の内容の運動プログラムを組み合わせ開催していく。毎月第1、3水曜日祝日を含み全23回を開催しました。
ときわの森 音と音楽で遊ぼう	毎月第1 水曜日	有富正子氏	37名	音楽療法の講師を招いて、発達の統合調整を行う。ピアノに合わせて他に楽器演奏などして利用者発表会へ参加した。毎月第1水曜日に10回開催した。
園芸ボランティア活動	毎月第2 月曜日	常盤台コミュニティハウス 共催	58名	2階の共有部分の中庭や花壇の整備をボランティアが中心となっていく。季節の花などをみどりの協会より定期的に購入して植えていく。イベントで花の販売も行った。原則第2月曜日に開催しました。
ときわの森 おもちゃ病院	毎月第2 土曜日	おもちゃ病院ボランティ ア	79名	こわれたおもちゃをボランティアのおもちゃドクターが診断修理する。修理代は無料(部品代がかかる場合は自己負担)。原則第2土曜日に全11回開催しました。
保育園パパ・ママに 聞いちゃおう！	R6年2月3日	子育て支援拠点こっ ろ	8名	保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころが近隣の保育園に通わせている母親や父親に声をして協力してもらい、これから保育園へ入園するための準備としての情報交換会を行う。
ときわの森子育て広場水遊び 親子でサマーパーティー	R5年7月20・ 27日	子育てボランティア	36名	ケアプラザ外庭で水遊びをする。親子参加で噴水シャワー・金魚すくい・シャボン玉・水てっぽうなどで楽しむ。
秋の利用者発表会&作品展	R5年11月12 日	利用団体	180名	・利用者発表会 ケアプラザを利用している登録団体が日頃の活動の成果を順番に披露していただく。・作品展 ケアプラザを利用している登録団体の4団体が作品を一週間、情報ラウンジと2階ロビーに手芸・編み物・習字などの作品を展示し、来館者に観ていただく。・おもちゃ病院を開催し、来ていただいた若い世代の方々に発表会を観ていただきました。・コーヒー隊は淹れたてコーヒーを販売する。・花販売・国大生の野菜販売・ペットボトル飲料の販売を行う。
ときわの森親子で楽しむ クリスマス会	R5年12月9日	佐藤亜紀	28名	「音とリズム遊び クリスマスパーティ」として親子で楽しむクリスマス会。サンタより参加者へ手作りのプレゼントを渡す。ボランティアと一緒に会場の設営を行いました。
第12回桜バザー	R6年3月10 日	コーヒーボランティア 園芸ボランティア 青少年指導員 民生委員	293名	令和6年3月10日に地域住民より不要になった品物を集めて多目的ホールと集会室でバザーを開催した。・園芸ボランティアによる花の販売・コーヒー隊のコーヒー販売・パン販売(白根学園麦の丘)・チームオレンジの啓発・手作りクッキー販売・外にカフェを設置・飲み物・やさそば・豚汁・フランクフルトを地域の青少年指導員やボランティアに作成してもらい販売しました。又同時におもちゃ病院も開催。
無料食品配布会	偶数月 第2金曜日	NPO法人ちゃっと NPO法人ぎんがむら	560名	NPO法人の協力や地域の方の寄付により食品や日用品を4・5点まとめて、地域の方々に無料で大人・子ども合わせて約100袋配布する。広報紙や自主事業のチラシも配布してケアプラザ事業を周知する。偶数月第2金曜日に6回開催しました。
ときわ図書	閉館日以外 毎日		71冊	常盤台地域ケアプラザの情報ラウンジにリサイクル本の貸し出しコーナーを設置して、地域の方々に読書を楽しんでいただきました。
貸室お掃除大作戦	R5年12月	利用団体	171名	団体登録をして、部屋利用している団体にご協力いただき、利用後に貸室の大掃除をしていただく。12月中の各団体活動日に実施しました。
歌声サロン	毎月第1 火曜日	工藤 圭 氏	227名	昔なつかしい思い出の歌をピアノ伴奏でみんなで歌う。
ときわの森七夕コンサート	R5年7月1日	横浜国立大学吹奏楽団	61名	横浜国立大学吹奏楽団による器楽演奏コンサート。
アーティフィシャルフラワー アレンジメント	R5年12月8日	横澤千佳子 氏	14名	講師より、アーティフィシャルフラワーアレンジメントを指導してもらいながらしめ縄飾り作りを作成しました。

(4) 他ケアプラザ、関係機関等との共催事業(当初計画および状況報告)

計 画 事 業 名	実施日・実施予定日	参 加 者	内 容
ほっとフレンズ2023夏	7月30日	31名	保土ケ谷区学齢障がい児支援事業として、保土ケ谷区在住・在学のハンディのある小学校から高校生までの子と保護者が一緒に外出企画としてヨコハマエアキャビンに搭乗しカップヌードルミュージアムでの体験を行いました。
ボランティア研修	7月19日	7名	障がい児の特性について、保土ケ谷区基幹相談支援センターの講義を川島地域ケアプラザで開催しました。
ほっとフレンズ2024春	R6年3月24日	12名	和太鼓体験と玉ねぎ染を上菅田地域ケアプラザで開催しました。
ボランティア研修	3月9日	6名	上菅田特別支援学校の先生より障がい児の特性についての講義と車椅子での移動体験を行いました。

(5) 後方支援事業

自主事業等から発足した団体等の後方支援を行い、活動団体運営の安定化を図っております。

事 業 名	実 施 日	実施回数	内 容
だいこんくらぶ料理教室		休止中	毎月1回ケアプラザにて料理教室を開催しイベント時のボランティア活動につなげている。新型コロナウイルス感染拡大の影響で今年度は休止している。
手作りパン教室の会	奇数月第2土曜日	5回	自主事業で開催していたパン&和菓子教室が自主的に手作りパン教室をとして隔月で開催する。今後イベント時のボランティア活動に参加していただく予定
お楽しみ手芸教室	第4土曜日	7回	ボランティアの協力のもと木目込み人形作成している自主グループ、利用者発表会での作品展示に参加。新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月～8月は開催なし。
韓国語教室・じゃんけんぽん	第2・4木曜日	47回	第1回韓国語講座からの自主グループ。横浜国立大学留学生講師に招いて韓国語を学ぶ。
韓国語教室・アンニョン	第1・3火曜日	21回	第2回韓国語講座からの自主グループ。横浜国立大学留学生講師に招いて韓国語を学ぶ。
ダンスクラブ	第1・3木曜日	23回	ケアプラザ事業から発展して自主グループとなりジャズダンスを練習、イベントやデイサービスでのボランティア活動につながっている。
ヨガ教室	第1・3金曜日	23回	ヨガの基本的なポーズとストレッチを専門講師の指導のもと年代を問わず無理なく運動を進めていく。

(6) 広報誌の発行

発行回数 毎月発行 発行部数 1000部/月

主な自主事業のチラシは、自治会の掲示板にも掲示。

又、事業参加者募集に関しては、ホームページにも掲載依頼を行っております。

(7) 貸し館状況

・件数実績(R5.4-R6.3) 今年度

部屋別	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
多目的ホール	156件	141件	135件	154件	586件
調理室	13件	11件	26件	20件	70件
ボランティア室	57件	40件	54件	46件	197件
地域ケアルーム	64件	65件	71件	81件	281件
合計	290件	257件	286件	301件	1134件

・前年件数実績(R4.4-R5.3)

部屋別	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
多目的ホール	123件	145件	165件	144件	577件
調理室	10件	8件	22件	18件	58件
ボランティア室	53件	61件	59件	58件	231件
地域ケアルーム	62件	64件	67件	67件	260件
合計	248件	278件	313件	287件	1126件

・利用率(R5.4-R6.3) 今年度

時間帯	部屋別	多目的ホール	調理室	ボランティア室	地域ケアルーム
9-12時		39%	8%	16%	25%
12-15時		62%	8%	17%	16%
15-18時		46%	5%	10%	11%
18-21時		19%	3%	10%	6%

前年利用率(R4.4-R5.3)

時間帯	部屋別	多目的ホール	調理室	ボランティア室	地域ケアルーム
9-12時		41%	6%	16%	30%
12-15時		54%	6%	14%	15%
15-18時		40%	3%	9%	7%
18-21時		17%	2%	7%	4%

※横浜市の通知に基づき、感染症の感染予防に留意した施設運営を行っています。

社会情勢により都度の利用内容の変更が伴うこともありますが、貸室団体とのコミュニケーションを図りながら、感染防止対策を徹底し、より多くの皆様にプラザを活用していただけるよう、引き続き努めていきます。

(8) ボランティア関係

団体名	内容	登録者数	実施回数
子育て広場 (水遊び・含む)	未就園児の自主事業内の見守り	4名	12回
ときもり倶楽部	高齢者対象のサロン	2名	12回
ノルディックウォーキング	中高年のウォーキング	1名	12回
園芸ボランティア	ケアプラザ・コミュニティハウス内の庭の整備、花植え 利用者発表会・桜バザーでの花の販売	8名	11回
おもちゃ病院	壊れたおもちゃを修理する 利用者発表会・桜バザーでのおもちゃ修理	1名	11回
手作りパン教室	桜バザーでの調理の手伝い	1名	2回
音と音楽で遊ぼう	発達にかたよりがある小中学生の余暇支援の見守り	1名	8回
デイサービスボランティア	常盤台デイサービスレクリエーションの補助など	2名	52回

※現在、自主的に活動を休止している団体さんもございます。

既に活動を段階的に再開している団体さんもございますが、今後も引き続き活動が円滑に実施できるよう地域包括支援、地域生活支援と協働し支援を行っていただけるよう、努めていきます。

(9) その他 取組状況

項目名	頻度	参加回数	内容
地域活動・交流CO連絡会	毎月1回	11回	区内他ケアプラザコーディネーターとの情報共有、共催事業についての協議・検討、研修会等の実施。
保土ヶ谷区子育て支援連絡会事務局会議	年3回	4月20日 5月23日 6月23日 R6年2月1日	エリア別子育て支援連絡会が、各エリア別の地域福祉保健計画と連動して運営できるよう各エリアの課題などを共有し、区と関係機関と一緒に取組むことを目的に実施。
ケアプラザ・コミュニティハウス会議	毎月1回	12回	各自主事業、共催事業、や施設管理の情報と共有打合せを行うことで施設間のコミュニケーションを図る。
ほっとフレンズ実行委員会	開催日まで	10回	保土ヶ谷区学齢障がい児余暇支援事業としてほっとフレンズの事業にむけて区内ケアプラザのコーディネーターと関係機関、区役所、社会福祉協議会が参加して開催した。

Ⅲ. 生活支援体制整備事業 事業報告

令和6年3月末現在

地域のインフォーマルサービスの整備や担い手の発掘、地域の基盤整備等地域の様々な活動把握を行い、ニーズに応じて運営をしております。
地域の発展やニーズに応えるため、出張講座や地域の取組への参加、介護保険事業所や民間企業との連携、協議体、自主事業等を行っております。
また、地域の見守りについて強化を図る為、担当の4地区に全てにおいて共有する機会を設け、地域と民間企業、地域ケアプラザが繋がるきっかけづくりを行っております。
今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域の活動団体が減少する傾向にあります。地域の活動団体の継続を目標とし、継続に対するノウハウを伝えたり、共に考えることで、地域と一緒に頑張って動くことを念頭に置き支援しております。

(1) 自主事業(生活支援課共催事業【他事業所共催含】)

事業名	実施日	講師など	参加者	内 容	開催
ワークショップ	5/20、7/15、 8/26、9/16、 11/11、2/17	横浜国立大学 大原一興氏	248名	地域住民と学生が話し合い、住みやすいまちづくりについて検討する。「遊べるイス」をテーマに、地域に置く「イスづくり」に取り組んだ。	横浜国立大学 (常盤台まちづくり応援団)共催
男性かがやき塾 ～コーヒー編～	月1回(一部喫茶 ときわだい、8月 は休み) 基本 第2水曜	杉山 輝義氏	47名	シニア男性、またはご夫婦を対象に、コーヒーの淹れ方を学ぶ講座。男性の居場所づくり、活躍へのきっかけづくり。	地域包括共催
喫茶ときわだい	6/14、 12/13、2/14	杉山 輝義氏	60名	シニア男性ボランティアが技術を活かしドリップコーヒーを地域住民に提供する。	地域包括共催
シャキトレ！	月1回 (8月は休み) 基本第1木曜	福吉 良子氏	100名	講師に学びながら、ロコモ予防の体操を行う。また、生活に取り入れられる運動を学ぶ。	地域包括共催
ゆるのび運動	月2回 基本第2・4木曜 (他事業と調整し 開催)	講師無し	20名	生活に取り入れられる体操を学び、楽しみながら実践する運動。	地域包括共催
サロン ドゥ きらめき	月2回 第2・4火曜	講師無し	59名	高齢者が人と交流し、認知症予防をしながら、生きがいとなる居場所づくりを行う。手芸や、脳トレ、体操、消費者被害予防など、参加者と相談しながら、サロンでやることを決めて実施。	地域包括共催
スマートフォン講座	7月26日、 8月21日、 9月29日	西村 実貴氏	41名	スマートフォンの注意点・基本的な操作方法、LINEアプリの基本的な機能・操作方法等を学ぶ。	地域活動・地域 包括共催
地域活動 グループリーダー連絡会	9/7、10/16、 1/18、2/14、 2/15、3/14、	林野 翔太氏 山下 皓司氏	92名	運動系のグループにはPTより体力測定や体操を、サロン・食事会のグループにはSTより口腔機能の維持向上等の説明を行った。また、希望のあった活動グループに講師派遣し、直接体操や体力測定を実施した。	地域包括共催
スクエアステップリーダー・ フォローアップ講座	11月9日	村井 キヌエ氏	11名	講師からスクエアステップの楽しさを学ぶと共に、グループに生かす方法やリーダーの役割を指導する。また、グループリーダー同士の交流の場として活用する。	地域包括共催
楽しくコグニサイズ	10/26、11/9 12/1	高垣 茂子氏	42名	楽しみながら健康づくりや仲間づくりができるよう、コグニサイズの普及・啓発を行う。	地域包括共催
アーティフィシャルフラワー アレンジメント講座	45634	横澤 千佳子氏	14名	地域住民に改めてケアプラザを知ってもらう機会づくり、多世代交流の場。五感を使うことで認知症予防。	地域活動・地域 包括共催
春のフラワーアレンジメント	3月6日	小川 洋子氏	16名	生花のフラワーアレンジメントを作成。認知症予防についても説明を行う。	地域活動・地域 包括共催

(2) 地域活動・団体立ち上げ・継続支援(常盤台CP以外での活動等)

団体・活動名	地区	運営	対象	内 容	支援
常盤台ささえあいネットワーク「ありが隊」	常盤台地区	常盤台地区社会福祉協議会	常盤台地区	生活支援ボランティア団体の運営(窓口等)	運営支援 継続支援
羽沢横国まちづくり協議会	常盤台地区	羽沢横国まちづくり協議会	羽沢地区・常盤台地区	「地域まちづくりプラン」の策定のため協議を行う。横浜国立大学と共催で行うワークショップと連動している。ケアプラザは事務局を務めており、連絡・調整を行う。	運営支援
ときもり倶楽部	常盤台地区	ときもり倶楽部	主に常盤台地区の方	体操・歌等を行う活動グループの継続支援	継続支援
ときわステップ会	常盤台地区	ときわステップ会	どなたでも	スクエアステップを行う活動グループの継続支援	継続支援
つながりサロン	上星川地区	上星川地区社会福祉協議会	上星川地区	住民同士がつながり、フレイル予防に取り組む活動グループの立ち上げ支援	立ち上げ支援

(3) 後方支援事業

常盤台地域ケアプラザ自主事業から発足した団体の後方支援を行い、団体の安定化を図っております。

事業名	実施日	実施回数	内 容
フラサークル プルメリア	4月19日	1回	フラダンスを行う活動グループの継続支援 自主化に伴う団体継続のアドバイスや相談等

(4) 地区支援取組状況

担当する4地区の会議等に参加し、地域のニーズや目指す方向性の確認、検討を行っております。

地 区	頻度	参 加	内 容
常盤台地区	随時	43回	・常盤台地区連合町内会定例役員会議 ・常盤台地区社会福祉協議会定例役員会 ・羽沢横国まちづくり協議会・地区社協モルック打合せ(協議体) ・常盤台ささえあいボランティアありが隊運営会議(協議体) ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 等
和田・釜台地区	定例会は2ヶ月に1回(その他必要に応じ随時)	18回	・たまり場/HO運営委員会(協議体) ・みんなの食堂準備委員会(協議体) ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 等
中央東部地区	定例会は2ヶ月に1回(その他必要に応じ随時)	14回	・中央東部地区懇談会 ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 等
上星川地区	必要に応じ随時	14回	・上星川地区社会福祉協議会定例役員会 ・地区社協つながりサロン打合せ(協議体) ・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 等

(5) 生活支援取組状況

生活支援関係のニーズ把握や、地域との関係作りの為、下記の取組を行って参りました。
また、地域包括支援センター、地域活動交流事業と連携を図り、地域からの講座依頼等には、積極的に参加や協力をしております。4地区担当をメリットと捉え、他地区の情報や知識を活かしながら、活動しております。

参加項目名	内容	頻度	参加
生活支援Co連絡会の参加	区版指針の作成、他のコーディネーターの取組の共有、研修報告、勉強会等の実施。	毎月1回	12回
地域の取組への参加	福祉教育、防災訓練、交流会、お祭り等への参加及び生支援体制整備事業の周知	随時開催	14回
生活支援関係研修・講演会への参加	生活支援コーディネーター研修、介護予防研修、地域フォーラム等の研修・講演会への参加	随時開催	9回
地区別データの分析	各地区の高齢化率、人口、インフォーマルサービス等を一覧として整理し、分析を行う		

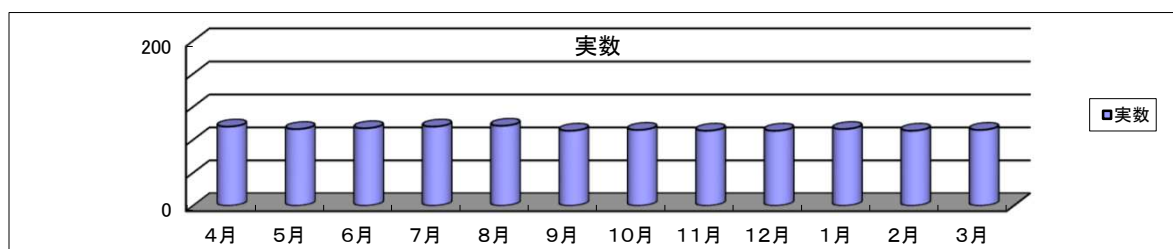
区役所・区社会福祉協議会との 合同カンファレンス	地域包括支援課3職種、地域活動・交流Co, 生活支援Co、区役所、区社協と生活支援についての合同カンファレンス	毎月1回	12回
所内5職種会議への参加	地域包括・地域活動・生活支援での合同会議により、各課の情報共有と業務の進捗状況の把握	毎月1回	12回
Ayamu(ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ)の入力・編集・公開作業	地域で活動するグループ等の情報の更新、ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビでの公開作業を行う		
Ayamu(ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ)、きらしニアマップの周知	民生ケアマネ連絡会やケアマネジャーの事例検討会の場で、ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビやきらしニアマップの説明を行う		
チームオレンジの活動	横浜市のモデル事業として、認知症の方が安心して自分らしく暮らせる地域づくりに5職種で連携し取り組んでいる。上半期にはチームオレンジの普及啓発活動や、スターバックスの協力を得て認知症の方などの交流の場となる「Nカフェ」の立ち上げ等に取り組んだ。下半期には「Nカフェ」の定期開催、多世代の方への普及啓発としてイベント時にパンフレットの配布やアンケートの実施等を行った。		

IV. 居宅介護支援事業 事業報告

令和6年3月末現在

1. サービス利用者数

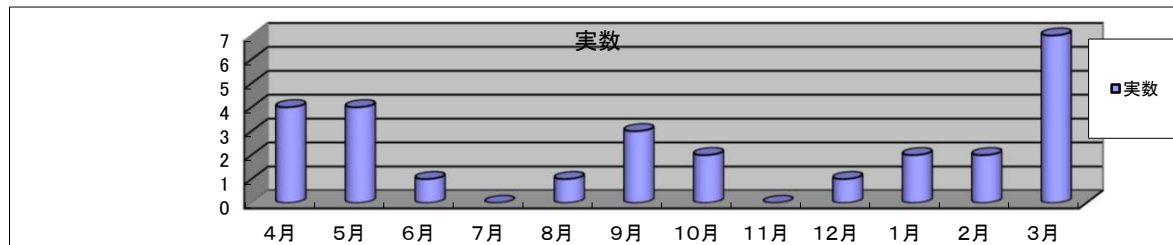
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	96	93	94	96	97	91	92	91	91	93	91	92	1117
実数	86	86	86	84	86	87	87	83	85	86	84	91	1031
割合	89.6%	92.5%	91.5%	87.5%	88.7%	95.6%	94.6%	91.2%	93.4%	92.5%	92.3%	98.9%	92.3%
前年実数	82	84	87	88	89	92	89	87	87	85	84	86	1040



2. 新規サービス開始

令和6年3月末現在

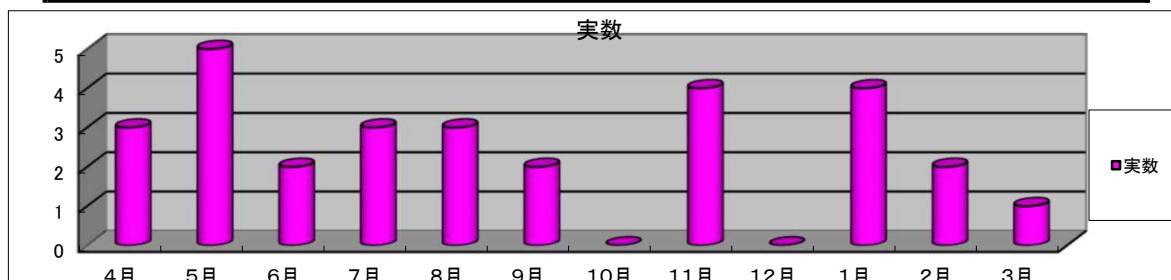
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
依頼	2	3	3	4	2	0	0	0	2	5	5	6	32
実数	4	4	1	0	1	3	2	0	1	2	2	7	27
割合	16.7%	10.0%	10.0%	20.0%	16.7%	10.0%	0.0%	3.3%	3.3%	3.3%	0.0%	6.7%	100.0%



3. サービス利用中止

令和6年3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	96	93	94	96	97	91	92	91	91	93	91	92	1117
実数	3	5	2	3	3	2	0	4	0	4	2	1	29

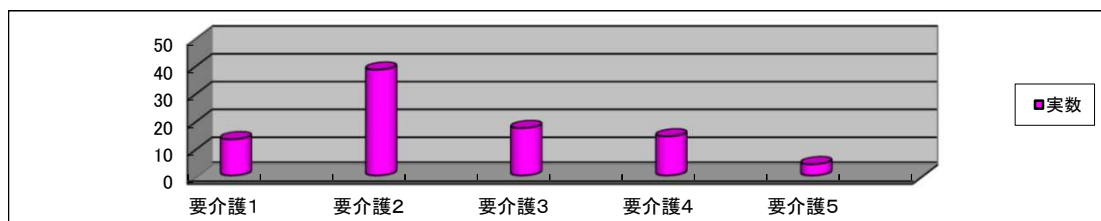


4. 介護度別実績

令和6年3月末現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実数	14	39	18	15	5	91

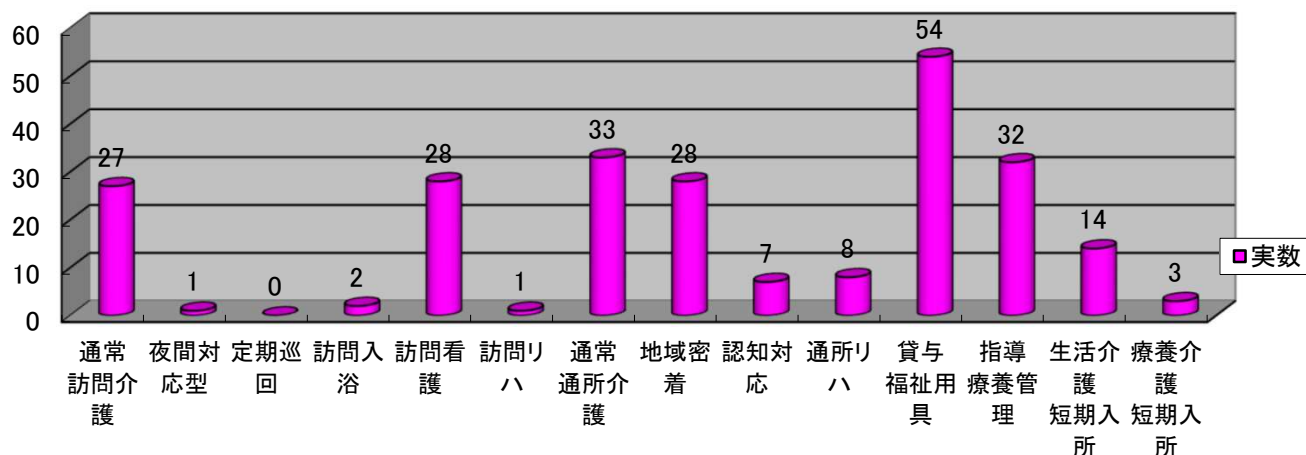
※月末日において認定結果が出ていない方は除いています。



5. サービス種類別分布

令和6年3月末現在

	訪問介護						通所介護				福祉用具貸与	療養管理指導	短期入所生活介護	短期入所療養介護	合計
	通常	夜間対応型	定期巡回	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通常	地域密着	認知対応	通所リハ					
業者数	7	1	0	1	13	1	8	11	4	4	19	20	7	2	98
人数	27	1	0	2	28	1	33	28	7	8	54	32	14	3	238
割合	11.3%	0.4%	0.0%	0.8%	11.8%	0.4%	13.9%	11.8%	2.9%	3.4%	22.7%	13.4%	5.9%	1.3%	100.0%

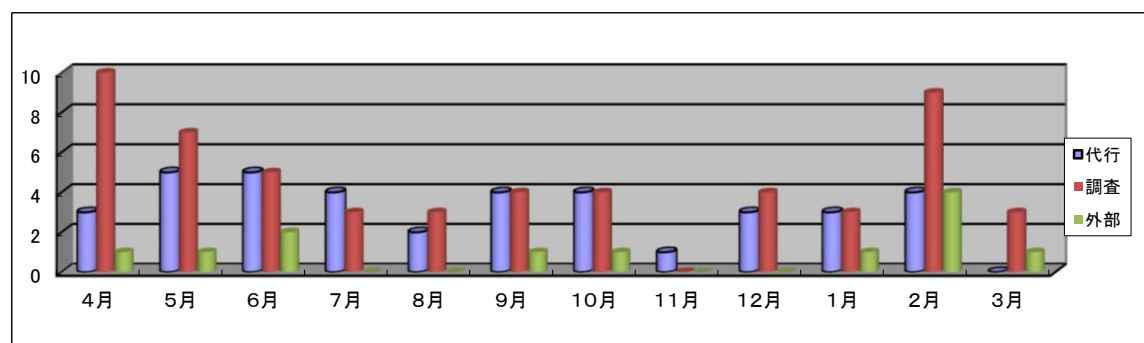


6. 認定調査申請代行件数・認定調査(調査:通常 外部:市外等)実施件数

令和6年3月末現在

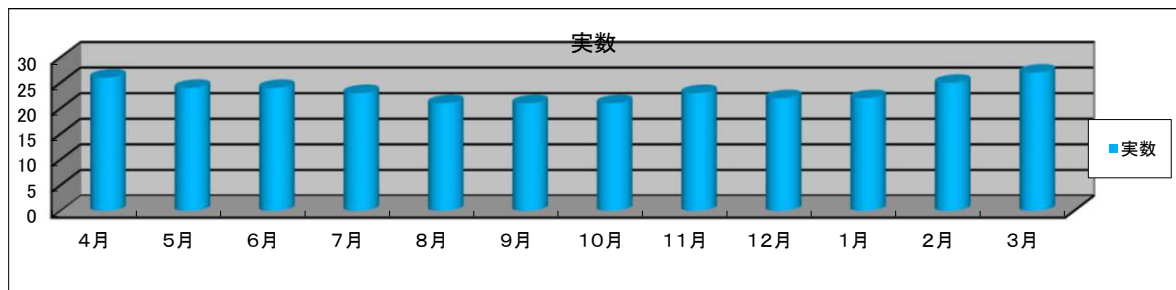
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
代行	3	5	5	4	2	4	4	1	3	3	4	0	38
調査	10	7	5	3	3	4	4	0	4	3	9	3	55
外部	1	1	2	0	0	1	1	0	0	1	4	1	12

申請代行は、担当している件数。認定調査は、担当者分＋地域包括支援課からの依頼分含む。



7. 介護予防利用者実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	29	27	27	25	24	22	22	23	23	22	27	27	298
実数	26	24	24	23	21	21	21	23	22	22	25	27	279
割合	89.7%	88.9%	88.9%	92.0%	87.5%	95.5%	95.5%	100.0%	95.7%	100.0%	92.6%	100.0%	93.6%
前年実数	27	28	26	27	28	27	28	28	27	28	27	25	326



8. まとめ

- 利用者数は介護利用者が前年対比0.9%減少、予防利用者は14.5%減少致しました。
- 管理者の介護支援専門員証有効期限切れが判明したため、介護報酬の返還(4月～9月担当者4名分、および4月～9月特定事業所加算)を実施致します。また10月16日付けで管理者を変更致しました。
- 次年度R6年5月1日付け人事異動を予定しています。ご利用者様に対する支援体制を円滑に引き継ぐため同行訪問、情報共有を行っています。

Va. 通所介護事業 事業報告

令和6年3月末現在

本年度は、利用者一人ひとりに合わせたきめ細かいケアの実現と、レクリエーションや機能訓練のプログラムの充実を目標に事業運営を行いました。
通所介護事業所として、介護予防の対象の方には、これからも要介護状態にならないように又、要介護状態の方にも、今の身体状態を維持・向上できるように援助するとともに、地域に居住している高齢者としての交流の場・ゆとりのある入浴・きめ細やかな食事の提供・住み慣れた地域の中でいつまでも自分らしく生活できるように、介護支援専門員との調整を行いサービス提供を行いました。

1 利用実績 (令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日までの実績)

	予防	介護	全体
総利用人数	832名	5356名	6196名
総可動日数	308日	308日	308日
平均利用者人数	2.7名	17.4名	20.1名

2 申し込み状況 (延べ件数)

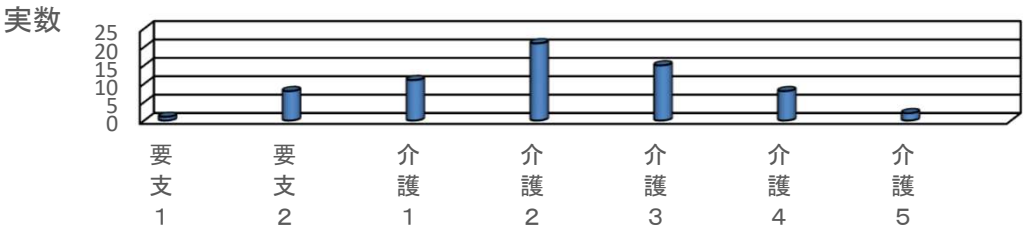
申し込み件数 29件 (内訳:介護 21件 予防 8件) R4.23件

中止件数 32件 (内訳:介護 31件 予防 1件) R4.18件

理由 ①入所 14件 ②逝去 7件 ③私用 8件 ④体調不良 3件

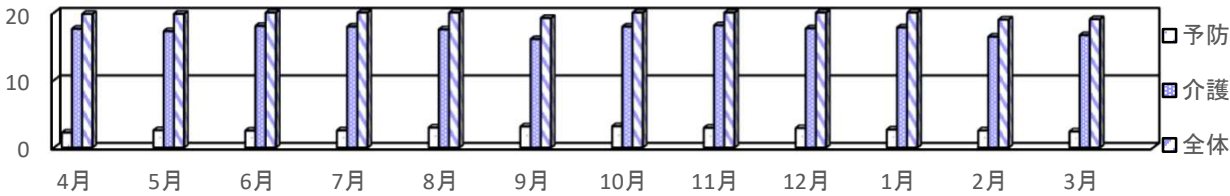
3 要介護度別利用人数と割合

	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
登録	3名	11名	15名	19名	7名	9名	2名	66名
実数	3名	8名	15名	19名	7名	9名	2名	63名
%	4.8%	12.7%	23.8%	30.2%	11.1%	14.3%	3.2%	100.0%



4 月別利用人数と平均

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
予防	55	69	65	66	80	81	82	76	69	64	63	62	832名	予防
介護	440	466	469	466	473	418	466	471	424	427	411	433	5364名	介護
全体	495	535	534	532	553	499	548	547	493	491	474	495	6196名	全体
日	25	27	26	26	27	26	26	26	24	24	25	26	308日	日
予防	2.2	2.6	2.5	2.5	3.0	3.1	3.2	2.9	2.9	2.7	2.5	2.4	2.70名	1日平均
介護	17.6	17.3	18.0	17.9	17.5	16.1	17.9	18.1	17.7	17.8	16.4	16.7	17.4名	1日平均
全体	19.8	19.8	20.5	20.5	20.5	19.2	21.1	21.0	20.5	20.5	19.0	19.0	20.1名	1日平均
前年人数	505	510	529	525	515	429	504	488	457	443	443	533	5881名	全体

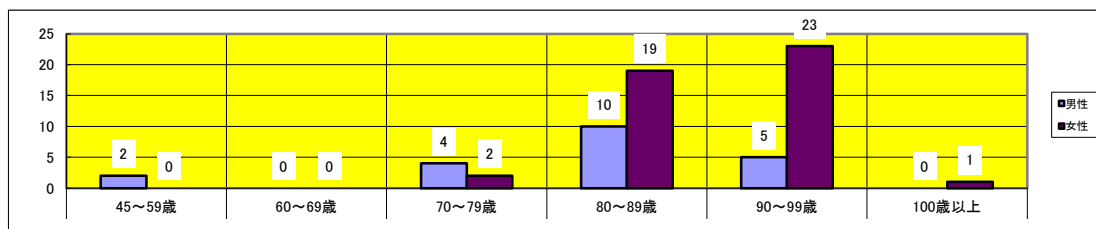


5 町別利用者数 (登録者66名の内訳)

1	峰沢	12名	7	羽沢南	4名	13			名
2	常盤台	11名	8	鎌谷町	4名	14			名
3	和田町	9名	9	峰岡	3名	15			名
4	釜台	9名	10	坂本	3名	16			名
5	上星川	6名	11		0名	17			名
6	岡沢	5名	12		0名	合計		66名	

6 利用者平均年齢

	男性	女性		男性	女性
最高年齢	95歳	101歳	45～59歳	2名	0名
最低年齢	55歳	79歳	60～69歳	0名	0名
平均年齢	82.1歳	89.2歳	70～79歳	4名	2名
全体の平均	86.9歳		80～89歳	10名	19名
人数構成	21名	45名	90～99歳	5名	23名
			100歳以上	0名	1名



7 依頼居宅支援事業者 (総件数 66件の内訳)

他事業所 38 (17事業所) 自事業所 28 (包括1件)

8 行事

4月	誕生会・レクリエーション	10月	誕生会・体力測定・常小交流会
5月	誕生会・レクリエーション	11月	誕生会・レクリエーション
6月	誕生会・レクリエーション・音楽ボランティア	12月	誕生会・クリスマスランチ・育和園児交流会
7月	誕生会・七夕コンサート・常小社会科見学・音楽ボランティア	1月	誕生会・正月レク
8月	誕生会・夏祭りレク・音楽ボランティア	2月	誕生会・常小交流会
9月	誕生会・レクリエーション	3月	誕生会・レクリエーション・音楽ボランティア

※6月・7月 ギター&サクソ演奏 8月 三味線演奏 3月 なるこ会

9 まとめ

○令和5年度の延べ利用人数は、前年対比で通所介護は約5.3%増(315名増)。認知症対応型通所介護は約75%減(217名減)となっています。全体としては新規申し込み33件に対して利用中止が35件となっており、月平均2.7名の新規利用受入れに対して月平均2.9名の利用中止となり、利用中止者が若干上回る状況です。新規ご利用者数は前年対比で大幅に改善していますが、利用目標人数には約1,200名不足しており、更に新規ご利用者の獲得に努めて参ります。

○個別機能訓練加算の算定を開始しました。また、プログラム内容を他デイサービス施設を参考にしながら随時見直し致しました。

○7月七夕コンサート、8月夏祭りレクリエーションなど少しづつイベントやボランティア受け入れを再開致しました。

Vb. 認知症対応型通所介護事業 事業報告

令和6年3月末現在

本年度は、利用者一人ひとりに合わせたきめ細かいケアの実現と、レクリエーションや機能訓練のプログラムの充実を目標に事業運営を行いました。
認知症対応型通所介護(みどりデイサービス)については、個別レクリエーションの充実と職員の認知症ケアに対する理解とスキルアップのための研修に力を入れました。

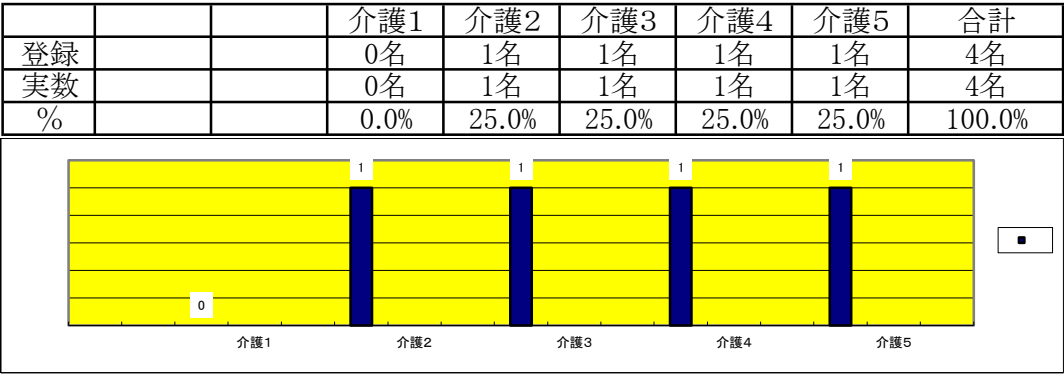
1 利用実績 (令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日までの実績)

	認知
総利用人数	289
総可動日数	308日
平均利用者人数	0.9

2 申し込み状況 (延べ件数)

申し込み件数	4件
中止件数	3件
内訳(入所2名 体調不良1名)	

3 要介護度別利用人数と割合



4 月別利用人数と平均

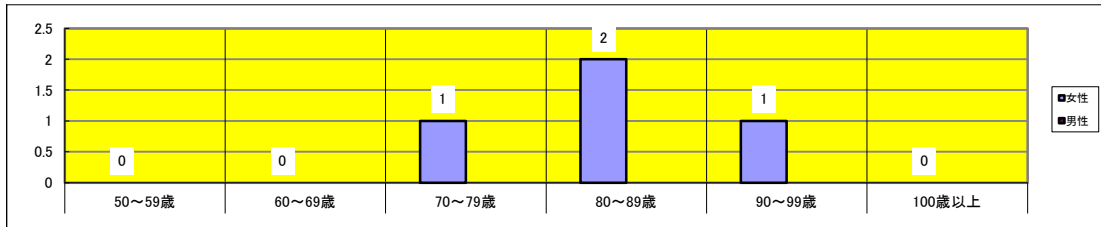


5 町別利用者数 (登録者4名の内訳)

1	峰沢	1名
2	羽沢南	1名
3	鎌谷	1名
4	釜台	1名
5		
6		
合計		4名

6 利用者平均年齢

	男性	女性		男性	女性
最高年齢	0 歳	91 歳	50～59歳	0 名	0 名
最低年齢	0 歳	79 歳	60～69歳	0 名	0 名
平均年齢	0 歳	85.5 歳	70～79歳	0 名	1 名
全体平均		85.5	80～89歳	0 名	2 名
人数構成	0 名	4 名	90～99歳	0 名	1 名
			100歳以上	0 名	0 名



7 依頼居宅支援事業者 (総件数 4件の内訳)

他事業所 0件 (事業所) 自事業所 4件

8 行事

- 4月 誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 5月 誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 6月 誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 7月 誕生会・七夕コンサート・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 8月 誕生会・夏祭りレク・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 9月 誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 10月 誕生会・体力測定・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 11月 誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 12月 誕生会・クリスマスランチ・育和園児交流会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 1月 誕生会・正月レク・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 2月 誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)
- 3月 誕生会・個別レク(読み聞かせ・ことわざ・手作業)

9 個別レクリエーション カラオケ・塗り絵・壁絵作り

10 まとめ

※通所介護のまとめ欄を参照

令和5年度 横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザ事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

＜基本理念＞

- (1) 地域における市民の自主的な福祉活動、保健活動等のための場を提供し、市民の誰もが日常的に相互に支えあい、住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられる地域社会の実現に資する。
- (2) 地域住民の方が、生活に関する相談全般について「まずプラザで相談してみよう。」と思われる施設となりたい。

＜運営方針＞

- (1) 利用者を主体としたサービスの提供と生活支援。
- (2) 快適な環境作り。
- (3) 笑顔のもと明るくてきばきとした応対。
- (4) 地域福祉の拠点となるため、自治会・ボランティア団体・学校・社会福祉協議会等との連携、協力をすすめる。
- (5) 地域住民をはじめとした実習生、介護体験、見学者、ボランティアの受け入れを通じて当施設の理解の増進および人材育成の役割を担います。

＜施設全体としての～振り返り～＞

- (1) 横浜型地域包括ケアシステムの実現に向けた、多職種の協働による個別ケースの地域ケア会議の実施と地域包括地域ケア会議の実施による地域課題の把握と新たな社会資源の創設に取り組みました。
- (2) 地域の乳幼児から高齢者等に対して、総合相談・支援事業の実施をはじめ、各関係機関との支援ネットワーク構築や関係団体との連携強化、協働作業等の環境づくりを積極的に推進することに努めました。
- (3) 地域支えあい推進として、地域のインフォーマルサービスの整備と新たな自主事業を展開し、様々な担い手づくり、子育て支援の環境づくり、地域資源の活用に取り組みました。
- (4) 地域にプラザを再周知すると共に、必要な情報が届けられるよう、様々な媒体の取組みを実施し必要人に的確に支援が届くよう地域との連携・協議の場を拡充し福祉保健活動拠点としての役割に努めました。
- (5) 人材不足の課題解決に向け、地域福祉を推進するための環境づくりや課題解決へ向けた人材確保と育成を図り職員がやりがいをもって業務を行うことができるよう、今まで以上に職場環境の改善に努めました。
- (6) 今後、ますますケアプラザ機能に求められる業務拡大の対応として、ケアプラザ内での協働・密接な連携が図れる組織体制の構築と機能強化を図り、特に職種間連携に努めました。
- (7) 横浜市からの関係通知に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮して自主事業・貸館業務・介護サービス事業等の実施に取り組みました。
- (8) 広報誌の配布先として各自治会長及び関係機関への郵送のみならず、薬局や保育園、まちの休憩所等へ配架することにより周知・啓発に努めました。
- (9) 開設一周年としてリブラ保土ヶ谷全体として記念イベントを実施し、ケアプラザの更なる周知啓発に努めました。
- (10) 関係団体との強化に努め、子育てのみならず、障害者施設や民間企業との取組について検討し、次年度の開催に向けて下準備を進めました。
- (11) リブラ保土ヶ谷1階の地域交流スペースを活用し、建物全体での福祉活動に努めました。

＜令和6年度に向けた課題＞

- (1) 令和5年度に繋がった人材及び関係機関と連携を図り、事業やイベントを実施し、ケアプラザの普及啓発に努めます。
- (2) リブラ保土ヶ谷1階の地域交流スペースを更に活用し、地縁団体及び関係機関との連携強化を図ります。

- (3) 様々な世代へ新たな自主事業を展開し、担い手の発掘と地域資源の活用を進めていきます。
- (4) 福祉保健活動拠点として地域へ必要な支援が十分に届けられるよう役割を拡充していきます。
- (5) 全職員が働きやすい労働環境整備と法人全体としての安定した人材確保及び育成に努めていきます。
- (6) 組織体制のさらなる強化と個々のスキルアップを図っていきます。
- (7) BCPの訓練を実施し、災害等が発生した場合に職員がスムーズに業務に当たれるように努めます。

I. 地域包括支援事業 事業報告

令和6年3月末現在

地域包括支援センターは、高齢者の皆様が住み慣れた地域でいつまでも充実した毎日を過ごして頂くために総合的な相談・支援を行う機関であり、3職種にてお互いに連携して日常生活の支援や様々な相談に応じています。事業内容は総合相談支援・権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント、自主事業を実施しています。各事業毎の実績は以下の通りです。

1. 総合相談・支援事業 (令和5年4月～令和6年3末日迄の実績)

地域の高齢者等に対して面接、電話等による相談を実施し、必要な支援内容を把握するとともに、地域における適切な機関、制度、サービスの利用に繋げる等の支援を行うほか、相談者からの依頼を受けて必要がある場合に、相談者の自宅等を訪問し、安否確認、情報提供、各種福祉保健サービスの申請受付等に努めています。

相談事業実績 合計 1003 件 前年度(3月末日) 0 件
※前年度の実績はありません

利用方法別

分 類		手 段			時 間 帯	
新規	継続	面接	電話	FAX・その他	9～17	17～21
484	519	234	755	14	974	29
合計	1003 件	合計 1003 件			合計	1003 件

対象者別 合計 708 件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
54	0	251	196	185	5	17

相談者別 合計 1044 件 (重複有り)

本人	家族	地域住民	サービス事業者	施設・医療	区役所	区社協	他のケアプラザ	その他
175	460	79	173	74	53	0	6	24

相談内容別 合計 1438 件 (重複有り)

介護保険	介護予防事業	包括支援事業	行政サービス	インフォーマルサービス	介護医療	施設入所入院	日常生活課題	苦情	成年後見	虐待	その他
740	58	0	9	18	169	38	283	5	18	10	90

訪問事業実績 合計 141 件 前年度(3月末日) 0 件
※前年度の実績はありません

利用方法別

分 類		訪 問 先			時 間 帯	
新規	継続	家庭	病院・施設	その他	9～17	17～21
12	129	141	0	0	141	0
合計	141 件	合計 141 件			合計	141 件

対象者別 合計 106 件

65歳以上					40～64歳	
自立	事業対象者	要支援	要介護	その他	要支援・要介護	その他
9	0	48	17	31	0	1

援助内容別 合計 224 件 (重複有り)

安否確認 状況確認	介護・保健等 指導助言	申請受付		他機関等との サービス調整	情報提供	その他
		介護保険	行政サービス			
22	18	35	1	66	74	8

2. 地域ケア会議 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

多職種による個別事例の検討を通じ、高齢者の自立に資するケアプランにつなげていくとともに、個別事例の検討を積み重ねることにより、地域課題を発見し、新たな資源開発につなげていきます。

個別地域ケア会議 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

開催月	内 容	参加人数
2月28日	独居でサービス拒否の方の支援～なぜ、かわりを拒否するようになったのか～	13人
合計	1回	13人

3. 権利擁護事業 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

福祉保健関係者とのネットワークを構築し、支援を要する方を早期発見し相談に繋げられるように体制を整備すると共に、研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めています。また、地域の方へ情報を提供しています。

認知症連絡会・虐待担当者会議(保土ヶ谷区)

開催月	内 容	参加人数
5月12日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	17人
6月13日	認知症講演会打ち合わせ	6人
7月14日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	16人
8月2日	虐待防止事業担当者会議	6人
8月3日	認知症講演会打ち合わせ	8人
8月21日	医療機関との連絡会	26人
9月8日	認知症講演会打ち合わせ	7人
9月8日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	18人
9月11日	高齢者虐待防止研修	24人
9月20日	保土ヶ谷区認知症講演会(区認知症担当者部会)	213人
10月11日	虐待防止事業担当者会議	6人
11月10日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	18人
12月25日	虐待防止事業担当者会議	5人
3月8日	認知症担当者部会(区、包括、区社協)	14人
2月19日	高齢者虐待防止研修	25人
合計	14回	384人

認知症・権利擁護関係研修

職員が研修に参加し業務遂行に必要な実践的知識・情報の習得に努めています。

開催月	内 容	参加人数
9月4日	保土ヶ谷区認知症講演会(区認知症担当者部会)	213人
合計	1回	213人

権利擁護講座・相談会

事業所、地域の方への情報提供、普及啓発、利用促進のための事業です。

開催月	内 容	参加人数
12月11日	特殊詐欺などからご自身やご家族の財産擁護を考える	11人
合計	1回	11人

介護者のつどい

地域の方々を対象に介護に関する情報提供や医療に関する勉強会を開催し在宅生活の安定をります。

開催月	内 容	参加人数
合計	0回	0人

4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

地域における包括ケア体制の構築のために地域の介護支援専門員を対象とした専門家との相談会、研修会・意見交換会(ケアマネ連絡会、合同ケアマネ連絡会、地域ケア会議)を実施しています。また、地域の方々へ情報発信とは別に介護・医療セミナーを開催しています。

ケアマネ連絡会

サービス担当者会議の開催支援や抱えている困難事例等への相談支援の実施。また新任・就労予定のケアマネジャーが円滑に業務が進められるよう、区単位で実習の受入調整・支援を実施しています。

開催月	内 容	参加人数
5月17日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「事例検討会:医療連携が必要なケース」	40人
6月15日	保土ケ谷ケアマネット総会及び「カスタマーハラスメントについて」	27人
6月21日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「リハビリ職の専門性を学ぼう」	39人
7月20日	保土ケ谷地域ケアプラザ福祉用具勉強・体験会	29人
7月20日	保土ケ谷地域ケアプラザ民生ケアマネ連絡会「民生委員とケアマネジャーの連携」	43人
9月8日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「生活保護のイロハ」	54人
9月26日	保土ケ谷地域ケアプラザ「事例検討会:キーパーソンが不在の独居高齢者あんしんセンター、	10人
10月26日	保土ケ谷ケアマネット第2回研修会「ケアマネジャーは何をする人ですか？」	25人
11月15日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「成年後見制度、実際の利用について～事例を交えて～」	52人
11月15日	保土ケ谷区多職種連携会議全体会「～地域で考えるBCP～」	89人
12月14日	区内8包括合同主マネ研修「地域包括システムから地域資源を考える」	12人
12月20日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「人工透析の知識を身につけよう」	38人
1月17日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「横浜市伝達研修・介護予防・介護予防ケアマネジメント業務研修」	48人
2月21日	区内8包括合同ケアマネ連絡会「訪問診療との連携」	62人
3月11日	保土ケ谷地域ケアプラザ民生ケアマネ連絡会「民生委員とケアマネジャーの連携:連絡ノート・もしも手帳紹介」	27人
合計	15回	595人

ケアマネジャー相談支援

	相談件数	相談内容													対応										
		介護保険制度 政サービス情報関連 行	地域情報関連	ケアプランの作成・内容等	支援困難事例への内訳										地域情報の提供	ケアプラン・ケアマネジメントの 言・指導	対応・他機関との調整							同行訪問	その他
					認知症	精神疾患	ターミナル	医療的支援	独居・高齢世帯介護力不足	サービス・支援拒否	家族の対応・支援	経済的問題	虐待	成年後見制度・ 者被害 消費			その他	居宅サービス事業者等	インフォーマル サービス	在宅医療連携拠点（在宅 医療相談室）	施設・医療機関	区役所	その他		
4月	11人	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	6	0	0	0	0	1	1	0	5
5月	11人	0	0	6	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4	1	0	6	1	0	0	0	3	0	1	5
6月	7人	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3
7月	9人	2	0	5	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3	0	5	1	0	0	0	1	0	2	4
8月	18人	1	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	1	7	2	0	0	0	1	2	4	3
9月	13人	0	0	10	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	2	1	6	3	0	0	0	3	0	3	5
10月	10人	2	0	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	6	2	0	1	0	0	0	1	3
11月	8人	1	0	4	1	0	0	1	2	0	2	1	0	0	5	1	4	0	0	0	0	2	0	0	3
12月	5人	0	0	4	0	1	1	1	1	1	0	0	0	2	2	0	3	1	0	0	1	2	2	1	1
1月	16人	1	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	1	10	2	0	0	0	1	0	3	2
2月	22人	2	0	11	1	0	0	0	0	1	0	0	1	3	3	0	12	2	0	0	0	2	1	4	4
3月	5人	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	135人	10人	1人	73人	4人	2人	1人	2人	6人	3人	5人	1人	1人	23人	28人	4人	68人	15人	0人	1人	1人	17人	6人	20人	39人

新任・就労予定ケアマネジャー研修

開催	内 容	参加人数
第1日目	座学(精神保健福祉業務、生活保護制度及び生活困窮者自立支援事業、介護保険外サービスについて等)	12人
第2日目	実習(同行訪問、ケアプラザ(包括支援センター)について)	1人
第3日目	施設紹介及び反町福祉機器センター見学・講義&研修振り返り	12人
合計	3回	25人

地域密着型サービス運営推進会議他

地域密着型サービスの運営推進会議参加、運営状況等確認、アドバイスをを行っています。

開催月	内 容	参加人数
5月10日	保土ヶ谷区在宅医療相談室上半期運営委員会	33人
5月29日	天王町グループホームえん運営推進会議	3人
5月29日	天王町ケアホームえん運営推進会議	3人
7月24日	天王町グループホームえん運営推進会議	4人
7月24日	天王町ケアホームえん運営推進会議	4人
9月25日	天王町グループホームえん運営推進会議	3人
9月25日	天王町ケアホームえん運営推進会議	3人
10月18日	保土ヶ谷区在宅医療相談室下半期運営委員会&第10回連絡ノート検討委員会	36人
11月27日	天王町グループホームえん運営推進会議	3人
11月27日	天王町ケアホームえん運営推進会議	3人
1月29日	天王町グループホームえん運営推進会議	2人
1月29日	天王町ケアホームえん運営推進会議	3人
3月15日	GENKI NEXT横浜天王町運営推進会議	10人
3月25日	天王町グループホームえん運営推進会議	3人
3月25日	天王町ケアホームえん運営推進会議	3人
3月29日	フルライフ保土ヶ谷介護・医療連携推進会議	12人
合計	16回	128人

5. 介護予防事業 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

地域において自主的な介護予防に資する活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が自主的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防に関する活動の普及・啓発と育成・支援を実施しています。

介護予防事業実績

介護予防普及啓発事業 合計 337人

開催日	事業名	種別	参加人数
6月28日	かもめサロン フレイル予防講座	健康教育	26人
7月21日	コグニサイズを楽しもう	介護予防教室	15人
7月28日	コグニサイズを楽しもう	介護予防教室	18人
8月18日	Let's フラ♪	介護予防教室	8人
9月7日	やってみよう！体力測定①	介護予防教室	16人
9月15日	Let's フラ♪	介護予防教室	8人
10月12日	きらっと！輝きニコニコ塾(口腔)	介護予防教室	19人
10月19日	きらっと！輝きニコニコ塾(栄養)	介護予防教室	18人
10月20日	Let's フラ♪	介護予防教室	9人
10月27日	きらっと！輝きニコニコ塾(運動)	介護予防教室	17人
11月9日	やってみよう！体力測定②	介護予防教室	10人
11月17日	Let's フラ♪	介護予防教室	5人
12月15日	Let's フラ♪	介護予防教室	5人
1月10日	みんなが気になる尿もれ予防	健康教育	23人
1月19日	Let's フラ♪	介護予防教室	7人
1月30日	音楽でいきいき脳トレ♪	介護予防教室	20人

2月16日	Let's フラ♪	介護予防教室	6人
2月20日	きらっと！輝きニコニコ塾(霞台・栄養)	介護予防教室	14人
3月9日	霞台東部地区社協健康講座(岩崎CP共催)	健康教育	40人
3月12日	きらっと！輝きニコニコ塾(霞台・口腔)	介護予防教室	14人
3月15日	Let's フラ♪	介護予防教室	7人
3月19日	きらっと！輝きニコニコ塾(霞台・運動)	介護予防教室	13人
3月22日	うきうき♪スリーA講座	介護予防教室	9人
3月29日	うきうき♪スリーA講座	介護予防教室	10人
合計	24回		337人

介護予防活動支援事業 合計 47人

開催日	事業名	種別	参加人数
7月13日	西久保町ほのぼのクラブ 健康講座	グループ活動支援	15人
9月22日	ユーアイグループ フレイル予防講座	グループ活動支援	9人
11月7日	ユーアイグループ フレイル予防講座	グループ活動支援	8人
2月29日	清水ヶ丘セツルメント診療所友の会	グループ活動支援	15人
合計	4回		47人

6. 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

「要支援1」「要支援2」に認定された方の介護予防支援サービス・支援計画書の作成を実施している。また、業務の一部を居宅介護支援事業者の介護支援専門員に委託できることとなっており、介護予防支援サービス・支援計画書作成委託契約の上、介護予防支援、介護予防ケアマネジメントをお願いし、管理・実施をしています。

介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業実績

指定居宅介護支援事業所に委託している件数 延合計 2653人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	委託利用者数
新規	12	9	9	7	3	14	5	7	6	3	14	6	95
継続	199	207	213	213	215	211	219	224	211	215	212	219	2558
合計	211	216	222	220	218	225	224	231	217	218	226	225	2653

	直 接				委 託				直接	委託	合計
	要支援1		要支援2		要支援1		要支援2				
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続			
4月	0	0	0	0	7	57	5	142	0	211	211
5月	0	0	0	0	3	59	6	148	0	216	216
6月	0	0	0	0	2	59	7	154	0	222	222
7月	0	0	0	0	3	59	4	154	0	220	220
8月	0	0	0	0	1	59	2	156	0	218	218
9月	0	0	0	0	3	57	11	154	0	225	225
10月	0	0	0	0	2	60	3	159	0	224	224
11月	0	0	0	0	5	61	2	163	0	231	231
12月	0	0	0	0	2	58	4	153	0	217	217
1月	0	0	0	0	1	59	2	156	0	218	218
2月	0	0	1	0	3	61	7	154	1	225	226
3月	0	0	0	1	2	57	4	161	1	224	225
合計	0	0	1	1	34	706	57	1854	2	2651	2653

7. 協力医による相談 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

無料医療相談

月に1～3回程度ケアプラザへ来所して頂き、地域活動交流事業・生活支援体制整備事業、地域包括支援センター事業に関する協力を予定しています。

開催日	区 分	相談内容等	相談人数
3月11日	包括・地域・生活	医療講座	16人
3月11日	包括・地域・生活	医療相談	3人
合計		2回	19人

8. 自主事業 (令和5年4月～令和6年3月末日迄の実績)

キャラバン・メイト連絡会

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民(認知症サポーター)を一人でも多く増やすための普及啓発活動や認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるサポート体制の構築するための連絡会と講座を開催する予定です。

※令和5年度はエリア内に認知症キャラバンメイトの団体がありませんでしたので、令和6年度は立上げに努めます。

開催日	内 容	参加人数
合計	0回	0人

認知症サポーター養成講座

開催日	場 所	参加人数
9月20日	保土ヶ谷区認知症講演会～認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく～	213人
2月17日	保土ヶ谷地域ケアプラザ認知症サポーター養成講座	43人
合計	2回	256人

出張講座

地域で行っているサロン等に参加し、ケアプラザが身近な存在であることの周知・啓発を行います。地域包括支援センターの役割を理解して頂き、介護保険制度・介護予防の必要性や取り組み方等、いざに備え安心して生活を送っていただくことを目的に実施しています。

開催日	内 容	場 所	参加人数
8月18日	障害・認知症のある人への接し方・ケアプラザが民生委員に求めること	保土ヶ谷地域ケアプラザ多目的ホール	15人
11月19日	「介護保険について」(岩間地区)	保土ヶ谷公会堂1号会議室	50人
11月21日	「ケアプラザ紹介及び介護保険制度について」(岩間地区)	岩間市民プラザ和室	25人
11月22日	「瀬戸ヶ谷小学校・福祉講座」	瀬戸ヶ谷小学校	90人
12月22日	「岩間地区あんしん訪問員研修」	保土ヶ谷地域ケアプラザ多目的ホール	32人
1月11日	「介護する人・される人の心構え」(敬和会)	帷子町2丁目会館	20人
3月3日	「介護保険制度について」(天王町サンハイツ)	天王町サンハイツ集会室	30人
合計	7回		262人

情報啓発等

介護予防、介護保険制度、権利擁護の周知、啓発等

来所が難しい地域住民に対して健康相談、生活相談等を受け、必要な制度資源につなげます。

開催日	内 容	場 所	参加人数
合計	0回		0人

Ⅱ．地域活動・交流事業 事業報告

令和6年3月末現在

地域活動事業は、子どもや高齢者、障がい者等、地域に暮らす全ての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせる地域づくりを推進できるよう努めています。住民主体の地域づくりが推進するよう、地域福祉保健計画を軸とした事業展開を行い、子育て、障がい、高齢、ボランティア等の福祉に関する事業を実施します。保土ヶ谷地域ケアプラザは6連合地区を担当しておりますが、そのうち4地区は他のケアプラザと協働にて担当しております。駅前という立地にありますが、地域ケアプラザでの実施だけではなく地域に出向いた形での出張講座を地域ケアプラザ主催もしくは関係機関等と共催にて実施し、様々な交流の場を提供致します。また、福祉保健活動拠点としての役割を更に活かすため、地域のボランティア団体・自治会・地区社協との連携を図り、活動団体へ向けた部屋利用促進も図っています。

(1) 地区支援取組状況

第4期地域福祉保健計画地区別計画の推進に向けて、所長および地域包括支援課、地域生活支援課と協働し、区役所、区社会福祉協議会とともに各地域の状況やニーズ把握に努めています。地域住民主体の活動を後押しできるよう、地域住民と地域の目指す姿を共有し、住民主体の地域づくりが更に推進するよう努めています。

地 区	頻度	参 加	内 容
保土ヶ谷地区	定例会は 2ヶ月に1回 (その他必要 に応じ随時)	13回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・保土ヶ谷地区ほっとなまちづくり実行委員会 (地区社会福祉協議会定例会) ・ご近助隊かりばスタッフ会議 ・みんなでキッチン
保土ヶ谷中地区	定例会は 3ヶ月に1回 (その他必要 に応じ随時)	6回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・わかば食堂
保土ヶ谷南部地区	定例会は 月1回程度 (その他必要 に応じ随時)	23回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会(南部地区社協運営委員会) ・認知症勉強会
保土ヶ谷東部地区	役員会は 2ヶ月に1回 (その他必要 に応じて参加)	12回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会役員会 ・ほっとなまちづくり委員会 ・あんしん訪問員研修 ・こひつじ食堂
岩間地区	定例会は 毎月1回 (その他必要 に応じ随時)	26回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・まごころホルダー実行委員会(まごころホルダー作業部会) ・あんしん訪問員研修 ・運動会参加 ・介護保険について
岩井町原地区	役員会は不定期 (その他必要 に応じ随時)	10回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・運動会参加 ・わくワク体操×とく講座参加 ・みんなの食堂

(2) ネットワーク関係

○子育て支援連絡会全体会

全体会は区域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げたり、他のエリアの事例を聞き勉強し、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数 1 回 参加者 50 名

・9月28日：【子育てアンケートの発表・講評】(参加者50名)

○岩崎・保土ヶ谷地域ケアプラザエリア子育て支援連絡会

子育て支援連絡会は地域で子育て支援を行っている施設や団体、個人のネットワークを広げ、地域の子育て支援を実施して行く目的で開催されています。

開催回数 2 回 参加者 54 名

- ・7月11日：【情報シートについてグループワーク他】(参加者25名)
- ・11月16日：【情報シートについてグループワーク他】(参加者29名)

※上記の連絡会に向けての協議や地域状況の共有等を目的とした事務局会議を適宜実施しています。

開催回数 5 回 参加者 46 名

- ・5月26日：【R4年度振り返り他】(参加者10名)
- ・7月6日：【連絡会に向けての打ち合わせ】(参加者9名)
- ・8月16日：【連絡会の振り返り他】(参加者10名)
- ・10月5日：【連絡会に向けての打ち合わせ】(参加者9名)
- ・12月26日：【子育て連絡会・今年度振り返り】(参加者8名)

(3) 自主事業 (当初計画および状況報告)

計 画 事 業 名	実 施 頻 度	講 師 など	参 加 者	内 容
親子のフリースペース	毎月第1水曜日	—	2	親子の居場所作り、交流の場
アーリーハロウィンリトミック	10月4日	柿崎 美也子	20	・リトミックを通じた発育促進を目的とする ・親子で集える場の提供と世代間交流 ・未就園児の子と保護者対象 ・会場：保土ヶ谷地域ケアプラザ(多目的ホール)
保土ヶ谷の宿場を知ろう	11月28日	近藤 博昭	20	・歴史に興味のある地域住民の集いの場づくり ・初回開催を皮切りに要望に応じ今後の開催を検討 ・将来的には、歴史サークルの自主化を目指す ・歴史に詳しい地域住民の方による保土ヶ谷宿場の講話
芸術の秋 ザ♪作品お披露目会	年1回	—	7	・貸館団体の作品や活動内容の鑑賞を通して地域住民にケアプラザを知ってもらう ・貸館団体の日頃の作品や活動内容をお披露目する場を設けることで、作品作りや活動への意欲を高めて頂く ・貸館団体の作品展示、楽器演奏/運動系の実施団体の活動映像を多目的ホールで流す ・地域住民の時間内出入りは自由にて鑑賞 ・習字/俳句などの作品は12月中旬までケアプラザ廊下掲示板に展示
特殊詐欺などからご自身やご家族の財産擁護を考える	12月11日	加藤 明彦	11	・地域住民(特に高齢者)が特殊詐欺被害にあわず、自身の財産が侵されず、守り抜く手立てを学ぶ ・元金融機関職員講師から、特殊詐欺の手口の紹介、詐欺を見抜く方法、被害にあわれた際の対応策を伝授 ・財産管理手法の一つである家族信託についての講話も実施

(4) 他ケアプラザ、関係機関等との共催事業(当初計画および状況報告)

計 画 事 業 名	開 催 日・頻 度	共 催	参 加 者	内 容
ほっとフレンズ2023夏	7月30日	・保土ヶ谷区役所 ・区内全域CP ・保土ヶ谷区社会福祉協議会 ・保土ヶ谷養護学校 ・地域活動ホームゆめ ・すみれ園 ・保土ヶ谷区役所	16	・障害児に「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ・障害に理解ある地域のボランティアや学生ボランティアの育成を図る ・関係諸学校及び団体との協力関係を深め、障害児の支援における地域ネットワークの形成に努める ・本事業の周知、報告及び地域ボランティア募集等を通じて、地域の方々の障害福祉に対する理解をより深めていただく機会とする
保土ヶ谷区民まつりの参加	10月28日	・保土ヶ谷区役所 ・区内全域CP	450	・福祉保健センター1区分を利用し、ケアプラザの周知を行う ・区民が多数参加する区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る ・そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる

わくワク体操×とくトーク講座	11月19日	地域交流・生活支援共催 ・岩井町原地区連合町内会 ・岩井町原地区保健活動推進員 ・保土ケ谷区役所健康づくり係 ・保土ケ谷区役所高齢・障害支援	24	・岩井町原地区における住民の健康意識の向上を図る 今後も住民主体で継続的に活動していくためのきっかけ作り ・岩井町原地区対象 ・会場:富士見台公園 ・年1回実施
福祉教育授業の参加	11月22日	・地域の方 ・保土ケ谷区社会福祉協議会 ・保土ケ谷地域ケアプラザ(亀山所長 社会福祉士 地活CO 生活支援CO)	77	瀬戸ケ谷小学校、4年生の「福祉教育」にて車椅子の操作、高齢者の疑似体験、ケアプラザの役割や高齢者の体の特徴の説明を実施
リブラ保土ケ谷 1周年記念イベント2023	3月20日	・地域交流スペース管理運営協議会 ・横浜市住宅供給公社	700	開設1年の節目としてイベントを開催し、リブラ保土ケ谷及び地域ケアプラザのさらなる普及、啓発につとめる。保土ケ谷地域ケアプラザは以下のイベントを実施。 ①公開空地:模擬店 ②多目的ホール:貸館団体による演奏会 ③情報コーナー:菓子釣り ほっとなまちづくり周知ブース 抽選会
ほっとフレンズ春2023 及び ボランティア研修	3月24日	・保土ケ谷区役所 ・区内全域CP ・保土ケ谷区社会福祉協議会 ・保土ケ谷養護学校 ・地域活動ホームゆめ ・すみれ園 ・保土ケ谷区役所	18	・学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する ・ほっとフレンズ実行委員会での共同開催 ・区内に在住・在学のハンディのある小学生～高校生の子と保護者を対象に和太鼓体験、玉ねぎ染め体験(3/24:参加者12名) 事前にボランティア研修(会場:上菅田地域ケアプラザ 3/9:参加者6名)

(5) 後方支援事業

自主事業等から発足した団体等の後方支援を行い、活動団体運営の安定化を図っております。

事業名等	実施日	頻度	内 容
ユーアイ・グループ (老人クラブ)	4月28日 5月26日 6月23日 7月21日 8月21日 9月22日 11月17日 12月21日 2月16日 3月22日	概ね 毎月1回	地域ケアプラザの説明 プログラムの構成の検討や提案・場所の確保

(6) 広報誌の発行

発行回数 隔月発行 発行部数 2,000部/月

各自治会への郵送のみならず、近隣の薬局や保育園等にも配架させて頂いております。

自主事業のチラシは、近隣自治会の掲示板、まちの休憩所にも掲示。

(7) 貸し館状況

・件数実績(R5.4-R6.3)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
多目的ホール	50件	118件	126件	126件	420件
調理室	0件	10件	20件	11件	41件
ボランティアルーム	39件	86件	86件	104件	315件
地域ケアルーム	27件	60件	84件	70件	241件
合計	116件	274件	316件	311件	1017件

・利用率 (R5.4-R6.3)

	多目的ホール			調理室			ボランティアルーム			地域ケアルーム		
	平日	土曜	日・祝	平日	土曜	日・祝	平日	土曜	日・祝	平日	土曜	日・祝
午前(9時～12時)	28.6%	18.0%	19.4%	5.2%	4.0%	6.0%	24.7%	14.0%	11.9%	19.5%	2.0%	11.9%
午後①(12時～15時)	51.1%	66.0%	65.7%	3.9%	4.0%	7.5%	36.4%	40.0%	22.4%	32.0%	14.0%	14.9%
午後②(15時～18時)	23.4%	42.0%	58.2%	1.3%	2.0%	1.5%	31.2%	48.0%	16.4%	25.5%	48.0%	11.9%
夜間(18時～21時)	3.0%	32.0%		0.9%	0.0%		2.2%	24.0%		0.9%	6.0%	
総稼働率	26.5%	39.5%	47.8%	2.8%	2.5%	5.0%	23.6%	31.5%	16.9%	19.5%	17.5%	12.9%

※小数点以下四捨五入

※日・祝は夜間利用はありません。

・利用団体内訳 (R5.4-R6.3)

団体種別	延べ利用件数	延べ利用人数	実利用団体数	登録団体数
団体Ⅰ (福祉保健活動団体)	793件	4931件	55件	72件
団体Ⅱ (福祉保健協力団体)	62件	204件	4件	4件
団体Ⅲ (目的外団体)	10件	77件	5件	5件
団体Ⅳ (法人(福祉保健目的))	2件	12件	1件	1件
団体Ⅴ (法人(目的外))	0件	0件	0件	0件
ケアプラザ自主事業	43件	488件		
ケアプラザその他 (会議等)	111件	1365件		
行政利用	2件	27件		

(8) ボランティア関係

令和6年3月31日現在でボランティアの登録はありません。

(9) その他 取組状況

項目名	日程・頻度	参加	内容
地域活動・交流Co連絡会	毎月1回	12回	区内他地域ケアプラザコーディネーターとの情報共有、共催事業についての協議・検討、研修会等の実施
地域交流研究会	隔月1回	3回	市内地域活動・交流コーディネーターが各区より代表者が参加し市内コーディネーターの情報共有及び研修等を計画することにより全体のスキルアップを目的としている
保土ケ谷区障害者 地域自立支援協議会全体会	6月1日	1回	保土ケ谷区内の障害のある児童・生徒やそのご家族が地域であんしんして暮らして行くために関係機関で意見交換や課題検討を実施
ほっとフレンズ実行委員会	6月14日 8月9日 11月8日 12月13日 2月14日 3月6日	6回	障害児余暇支援及びネットワーク構築の為に実施するほっとフレンズの為の実行委員会やその事前打ち合わせを実施
学生と地域をつなぐ プロジェクト	2月24日	1回	学生と連携を図り、学生が地域の取組に参加することにより地域の活性化を図る

Ⅲ. 生活支援体制整備事業 事業報告

令和6年3月末現在

担当区域の地区社協定例会や支援チーム会議、区社協主催の地区社協ヒアリングには極力参加し、其々の地区の特徴などの把握をいたしました。「交流・居場所作り」の視点から自主事業を企画・実施、「介護予防」の視点から保健師主催の事業に参加いたしました。

また、地域の方々に向けケアプラザ周知を目的とし、保土ヶ谷駅周辺の郵便局・薬局・病院へ広報誌の配架を実施しました。今年度は地域ケアプラザ開設に伴い、貸館団体登録も多く、団体活動の活性化を目的に作品展示や活動内容の披露会を設けました。

(1) 自主事業(生活支援課共催事業【他事業所共催含】)

事業名	実施日	講師など	参加者	内容	開催
音楽レクリエーションと脳トレで楽しくフレイル予防を	9月6日	柿崎 美也子	16名	・講師の指導のもと、音楽に合わせて楽しみながら体を動かしたり、歌唱による口腔トレーニングや脳トレを通して脳の活性化を図ったりすることで、フレイル予防を実施	【生活支援】 自主事業
コグニサイズを楽しもう	7月21日(参加)	高垣 茂子 (かながわ健康財団)	15名	・高齢者が楽しみながら健康づくりができるよう、コグニサイズの普及・啓発を行う ・また、地域活動のニーズやの担い手候補の発掘も目的とする	【生活支援】 【地域包括】 共催事業
Let's フラ♪	8月18日 9月15日 10月20日 11月17日 12月15日 1月19日 2月16日 3月15日	寺田 まり子	8名 8名 9名 5名 5名 7名 5名 7名	・地域住民が楽しみながら運動し、仲間づくりができる ・高齢者に対しては介護予防・認知症予防の効果も狙う ・次年度以降の自主化を目指す	【生活支援】 【地域包括】 共催事業
保土ヶ谷の宿場を知ろう	11月28日	近藤 博昭	20名	・歴史に詳しい近藤博昭様による保土ヶ谷宿場の講話	【生活支援】 【地域交流】 共催事業
秋の芸術祭	11月28日	-	7名	・貸館団体の作品展示 ・楽器演奏/運動系の実施団体の活動を事前にビデオ撮影し、映像を多目的ホールで流す ・障害者施設で焙煎しているコーヒーを常設 ・時間内出入りは自由にして鑑賞して頂く	【生活支援】 【地域交流】 共催事業
特殊詐欺などからご自身やご家族の財産擁護を考える	12月11日	加藤 明彦 (アワーズ所属)	11名	・元金融機関職員でお金に関する被害状況に詳しい講師から、特殊詐欺の手口を学び、詐欺を見抜く方法、詐欺に遭遇した際の対策を伝授と家族信託に關しての講話	【生活支援】 【地域交流】 【地域包括】 共催事業
3B体操体験会	2月13日	臼井 みさ (公益社団法人日本3B体操協会)	親子4名 成人16名	・「遊びの要素」「気がるに」「体に無理なく」をモットーに講師の方が、地域住民が3B体操を通して、健康であり続けるためのサークル活動を希望 ・どのような世代のニーズが高いのか、ニーズ調査も目的に開催	【生活支援】 自主事業
リブラ保土ヶ谷1周年記念イベント2023	3月20日		約700名	・開設1年の節目としてイベントを開催し、リブラ保土ヶ谷及び地域ケアプラザのさらなる普及、啓発につとめる。保土ヶ谷地域ケアプラザは以下のイベントを実施 ①公開空地:模擬店 ②多目的ホール:貸館団体による演奏会 ③情報コーナー:菓子釣り ほっとなまちづくり周知ブース 抽選会	【地域交流スペース管理運営協議会】 【横浜市住宅供給公社】 【保土ヶ谷地域ケアプラザ】 共催事業
わくワク体操×とくく講座	3月9日	神田 三枝子	24名	・岩井町原地区における住民の健康意識の向上を図る 今後住民主体で継続的に活動していくためのキッカケ作り ・岩井町原地区対象 ・会場:富士見台公園 ・年1回実施	【生活支援】 【地域交流】 【岩井町原地区連合町内会】 【岩井町原地区保健活動推進員】 【保土ヶ谷区役所健康づくり係】 【保土ヶ谷区役所高齢・障害支援課】 共催事業
瀬戸ヶ谷小学校4年生福祉教育授業の参加	11月22日	・地域の方 ・保土ヶ谷区社会福祉協議会 ・保土ヶ谷地域ケアプラザ(亀山所長 社会福祉士 地活CO)	77名	・瀬戸ヶ谷小学校、4年生の「福祉教育」にて車椅子の操作、高齢者の疑似体験、ケアプラザの役割や高齢者の体の特徴の説明を実施	【保土ヶ谷区社会福祉協議会】 【生活支援】 【地域交流】 【地域包括】 共催事業

(2) 地域活動・団体立ち上げ・継続支援(保土ヶ谷地域ケアプラザ以外での活動等)

団体・活動名	地区	運営	対象	内 容	支援
ご近助隊かりば	保土ヶ谷地区	保土ヶ谷地区 社会福祉協議会	保土ヶ谷 地区	生活支援ボランティア団体の運営(草刈り・ 家事・家具移動等)や活動内容の情報共有。	継続支援 運営支援
まごころホルダー	岩間地区	岩間地区 社会福祉協議会	岩間地区	まごころホルダー(見守りキーホルダー)の 継続から運営までを支援	継続支援 運営支援

(3) 後方支援事業

保土ヶ谷地域ケアプラザ自主事業から発足した団体の後方支援を行い、団体の安定化を図っております。

事 業 名	実 施 日	頻 度	内 容
ユーアイ・グループ (老人クラブ)	4月28日 5月26日 6月23日 7月21日 8月21日 9月22日 11月17日 12月21日 2月16日 3月22日	概ね 毎月1回	地域ケアプラザの説明 プログラムの構成の検討や提案・場所の確保
若生会3B体操	10月10日 11月21日 12月19日 1月16日 2月20日 3月12日	毎月1回	若生会(岩間地区老人会)会員の親睦と健康長寿を目的に、講師の指導による3B体操を毎月実施。継続支援のための場所の確保や開催時の講師補助

(4) 地区支援取組状況

地 区	頻 度	参 加	内 容
保土ヶ谷地区	定例会は 2ヶ月に1回 (その他必要 に応じ随時)	13回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・保土ヶ谷地区ほっとなまちづくり実行委員会 (地区社会福祉協議会定例会) ・ご近助隊かりばスタッフ会議 ・みんなでキッチン
保土ヶ谷中地区	定例会は 3ヶ月に1回 (その他必要 に応じ随時)	6回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・わかば食堂
保土ヶ谷南部地区	定例会は 月1回程度 (その他必要 に応じ随時)	23回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会(南部地区社協運営委員会) ・認知症勉強会
保土ヶ谷東部地区	役員会は 2ヶ月に1回 (その他必要に 応じて参加)	12回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会役員会 ・ほっとなまちづくり委員会 ・あんしん訪問員研修 ・こひつじ食堂
岩間地区	定例会は 毎月1回 (その他必要 に応じ随時)	26回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・地区社会福祉協議会定例会 ・まごころホルダー実行委員会(まごころホルダー作業部会) ・あんしん訪問員研修 ・運動会参加 ・介護保険について
岩井町原地区	役員会は不定期 (その他必要 に応じ随時)	10回	・区役所、区社会福祉協議会との地区支援チーム会議 ・運動会参加 ・わくワク体操×とくトク講座参加 ・みんなの食堂

(5)生活支援取組状況

生活支援関係のニーズ把握や、地域との関係作りの為、下記の取組を行って参りました。
また、地域包括支援センター、地域活動交流事業と連携を図り、地域からの講座依頼等には、積極的に参加や協力をしております。6地区担当をメリットと捉え、他地区の情報や知識を活かしながら、活動しております。

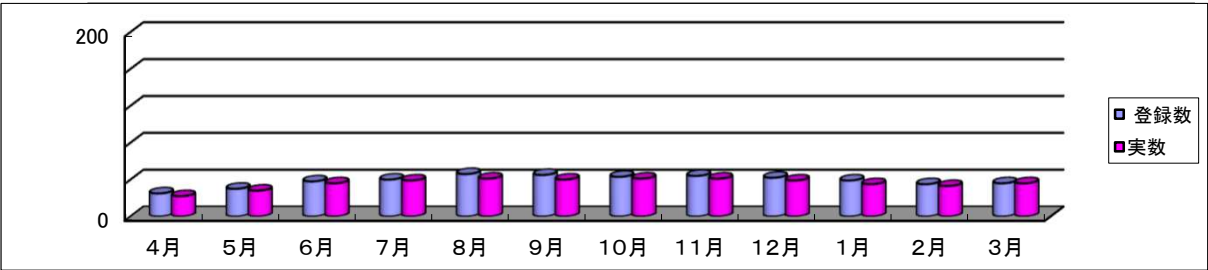
参加項目名	内容	頻度	参加
生活支援Co連絡会の開催	他のコーディネーターの取組の共有、研修報告、民間企業の見守り内容情報交換会等の実施。	毎月1回	12回
地域の取組への参加	岩間地区社協/あんしん訪問員研修の実施、保土ケ谷中地区/葵の会、一二三会視察、お祭り等への参加。	随時開催	必要に応じて
生活支援関係研修・説明会・生活支援研究会への参加	生活支援コーディネーター研修、コーディネーター共通研修、研究会開催の勉強会、高齢者等の移動支援にかかる情報提供(オンライン)説明会に参加。	随時開催	9回
区役所・区社会福祉協議会との合同カンファレンス	地域包括支援課3職種、地域活動・交流Co, 生活支援Co、区役所、区社協と生活支援についての合同カンファレンス	毎月1回	12回
コーディネーター会議への参加	地域活動事業課と合同で開催。貸館団体/物品発注に関わる業務の共有と検討。運営委員会の情報共有。	毎月1回	11回
所内6職種会議への参加	地域包括・地域活動・生活支援での合同会議により、各課の情報共有と業務の進捗状況の把握	毎月1回	12回
西久保町ほのぼのクラブ 転倒予防体操	保健師主催、介護予防事業に参加。西久保町公園ハイツに住む70～80代の高齢者20名程度に対して実施。住み慣れた自宅で、これからも自立してほのぼのクラブに通い続けられるように地域に住む高齢者に対して転倒予防体操を行う。講師の指導のもと、座ってできる転倒予防体操講座を開催。	7月13日	1回
やってみよう！体力測定への参加	保健師主催、介護予防事業に参加。高齢者が自身の体力を知ること、運動習慣の見直しや筋力・体力アップに取り組むきっかけづくりとする。また、約2か月後に再度測定を行うことで体力の変化を実感し、運動習慣継続への意識付けを行う。	9月7日 11月9日	2回
きらっと！輝きニコニコ塾	保健師主催、介護予防事業に参加。フレイル総論、ロコモ予防、口腔機能向上、低栄養予防の普及・啓発と実践の支援(3回連続講座)	10月12日 10月19日	2回
うきうき♪スリーA講座	保健師・生活支援共催事業。講師の指導のもと、楽しみながらスリーA方式の脳トレやゲームを行った。	3月22日 3月29日	2回

IV. 居宅介護支援事業 事業報告

令和6年3月末現在

1. サービス利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	25	30	38	40	46	45	43	44	42	39	35	36	463
実数	22	28	36	39	41	40	41	41	39	35	33	36	431
割合	88.0%	93.3%	8.4%	97.5%	89.1%	88.9%	95.3%	93.1%	92.8%	89.7%	94.2%	100.0%	93.1%
前年実数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

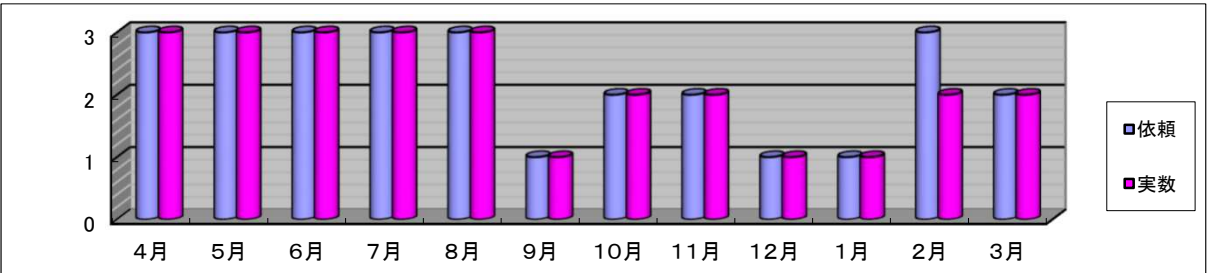


2. 新規サービス開始

令和6年3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
依頼	22	6	8	5	3	1	2	2	1	1	3	2	56
実数	22	6	8	5	3	1	2	2	1	1	2	2	55
割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%

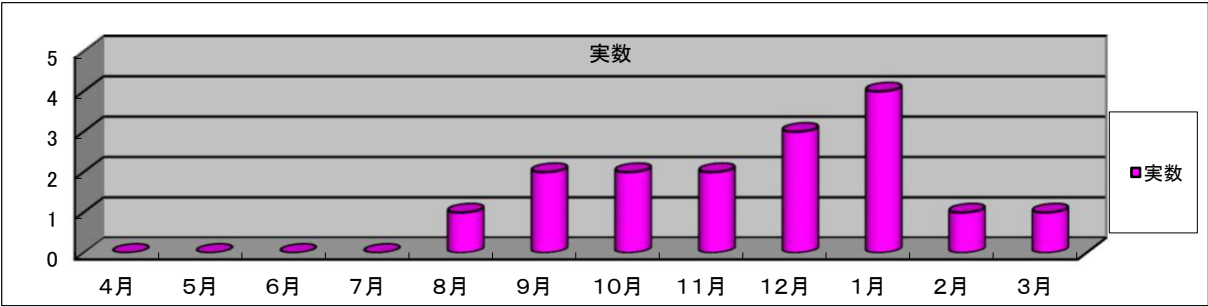
担当件数は、介護給付35件、予防給付8件とします。入院・入所者等の状況に合わせて件数を調整します。



3. サービス利用中止

令和6年3月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	25	30	38	40	46	45	43	44	42	39	35	36	463
実数	0	0	0	0	1	2	2	2	3	4	1	1	16

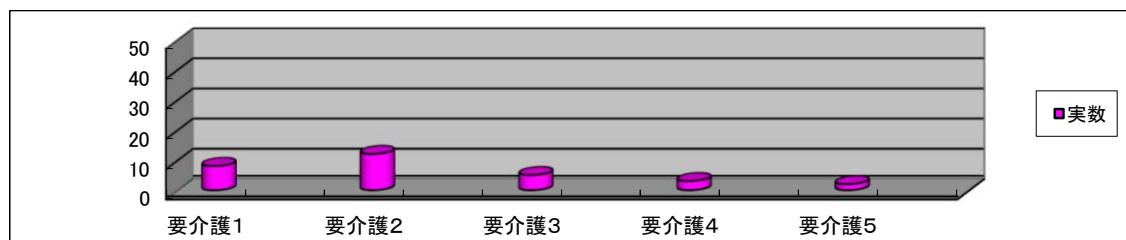


4. 介護度別実績

令和6年3月末現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実数	9	13	6	4	3	35

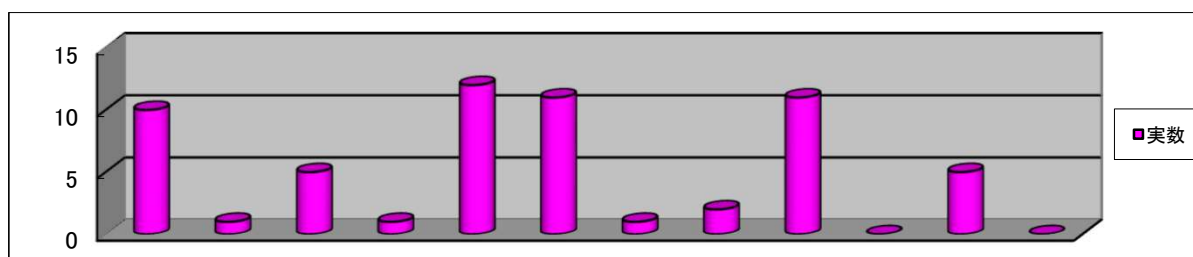
※月末日において認定結果が出ていない方は除いています。



5. サービス種類別分布

令和6年3月末現在

	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通所介護	通所地域	通所認知	通所リハ	福祉用具	療養管理	短期入所生活介護	短期入所療養介護	合計
業者数	10	1	5	1	12	11	1	2	11	0	5	0	59
実数	10	1	5	1	12	11	1	2	11	0	5	0	59
割合	16.9%	1.7%	8.5%	1.7%	20.3%	18.6%	1.7%	3.4%	18.6%	0.0%	8.5%	0.0%	100.0%

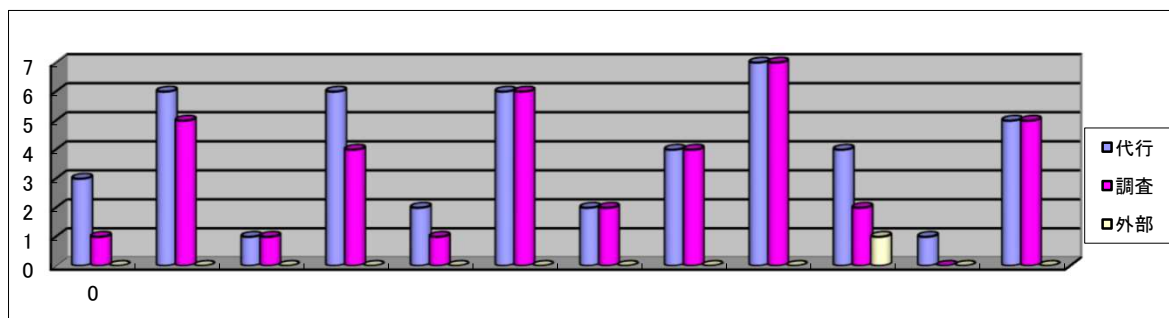


6. 認定調査申請代行件数・認定調査(調査:通常 外部:市外等)実施件数

令和6年3月末現在

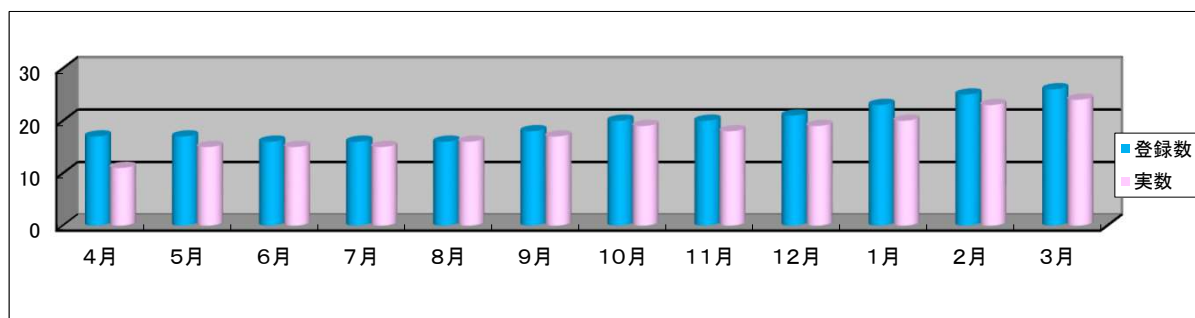
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
代行	3	6	1	6	2	6	2	4	7	4	1	5	47
調査	1	5	1	4	1	6	2	4	7	2	0	5	38
外部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

申請代行は、担当している件数です。認定調査は、担当者分＋地域包括支援課からの依頼分含みます。



7. 介護予防利用者実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	17	17	16	16	16	18	20	20	21	23	25	26	235
実数	11	15	15	15	16	17	19	18	19	20	23	24	212
割数	64.7%	88.2%	93.8%	93.8%	100.0%	94.4%	95.0%	90.0%	90.4%	86.9%	92.0%	92.3%	90.2%
前年実数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



8. まとめ

開所にあたり岩崎地域ケアプラザから引継ぎケースとして継続支援させていただくとともに新規のケアマネジメントの依頼を地域包括支援センターから受けています。要支援1・2の方が更新後要介護に認定されますが、その後の更新で要支援に戻るケースが多く要支援の担当件数が増える傾向にあります。家族からの依頼や病院の医療相談室や退院支援看護師からの依頼が多くなっています。

新型コロナウイルスの感染予防対策を引き続き継続し自宅訪問をしております。感染予防から外出を控えた為に体力筋力が低下してしまった方、認知症が進行してしまった方が多く見られます。今できる事を自分のペースで頑張るという利用者様が増えています。

認定調査は、更新申請後認定調査に伺い聞き取り内容をまとめて提出させていただいています。一人一人の更新に合わせる調査の為、月により認定調査数は増減があり1人～6人ほどです。ご利用者の介護保険更新手続きの代行のみならず他都市から依頼のあった認定調査をしています。

要介護度別に見ると、要介護1・2が多く、要介護4・5は入院、入所になり人数は減少しています。要支援の方は要支援2の方が多く、地域密着型通所介護等へ通い要介護状態にならないよう努力される方が増えています。

支援困難、介護の負担の大きい利用者支援のため、スキルアップや業務の効率化を図るようにしたいと考えております。定期的に会議を行いケースの把握や困難ケースの対応について共有しています。今後も様々な研修へ参加しスキルアップを図り、他法人のケアマネジャーと交流し制度改正後のケアマネジメントに努めてまいります。